

〔資料〕

惟宝蓮体『真言礦石集』翻刻と解題 (その二)

関口 静雄・寺津 麻理絵

〔解題4〕 蓮体と光明真言

1 光明真言

惟宝蓮体(二六六三一―七二六)が、その生涯にわたる衆庶への化導にあたって、ことに光明真言信仰の普及に熱心であったことはよく知られている。観音、地藏、光明真言信仰の普及に尽力した蓮体は、浄土往生に最易最勝の功德があるのは光明真言と宝篋印陀羅尼であると説き、その思想は『光明真言金壺集』(宝永五年(一七〇八)刊)、『宝篋印陀羅尼経和解秘略釈』(宝永七年(一七一〇)序)の上梓をもって示された。いずれも平易な和文で編集され、その対象が仏教初心の衆庶巷間にあったことは『宝篋印陀羅尼経和解秘略釈』の自序からも明白である。この他にも地藏菩薩の靈驗譚を中心に採録した『真言礦石集』(元禄六年(一六九三)刊)や、観音菩薩の御利益を集成した『観音冥応集』(第一―三巻は宝永二年(一七〇五)刊、第四―六巻は同三年刊)などの著作をもって庶民仏教家と評される蓮体ではあるが、その行状を辿れば生誕の地である撰河泉や、師である浄嚴の遺思を継いで中国・四国地方へ足を運び、折々に講經伝授の法筵を開くなど、あくまで真言僧としての布教家たらんとする、ゆるぎない信念を感じさせるのである。

光明真言は、一たび耳に聞き、これを尊ぶ心あれば、即ち一切の罪障が消滅するという万能の真言である。この光明真言を百八返唱えて加持した土砂を亡者の屍骸に散じれば死して悪趣に墮すことなく、あるいは土砂を飲めば病難は忽ち平癒するとされている。蓮体は、誰でもが簡単に唱えることができ、その利益が広大な光明真言の意義・功德を著作のみならず各地を遊行してさかんに民衆に説いた。宝永六年(一七〇九)三月に向野村紫雲寺、同年三月丹南郡池尻村、同八年七月備後尾道善勝寺で『光明真言金壺集』を講じている。

光明真言の意義と功德を普及させるためには、より人々の興味を引く必要がある。そのため、蓮体は光明真言にまつわる種々の靈驗譚を積極的に自著に取り入れた。とくに『真言礦石集』の続編たる『続礦石集』(享保十年(一七二五)刊)にはそれが最もよくあらわれており、上下巻全五十話のなかで光明真言を表題とする話が以下のように七話も収められている。

- ・「三二ハ弘法大師ノ御利生並ニ光明真言靈驗ノ事」(上本)
- ・「五二ハ光明真言ノ利益臨終正念ノ人ノ事」(上本)
- ・「十二ニハ光明真言加持土沙ノ利益ノ事」(上本)
- ・「四二ハ光明真言種々利益ノ事」(下本)
- ・「十七ニハ光明真言ノ法靈驗ノ事」(下末)

・「十九ニハ光明真言加持土沙ノ事」(下末)

・「二十四ニハ逆修日牌ノ靈驗並ニ光明真言利益ノ事」(下末)

『続鑛石集』は右に挙げたもの以外にも、全編を通じて光明真言の利益を説く箇所が多く、いわば「光明真言利益集」ともいうべき性格を有している。

しかし、注目すべきは、こうした光明真言の靈驗譚が正篇である『真言鑛石集』にはほとんど採録されていないことである。『続鑛石集』は蓮体の最晩年の最後の著作であり、自著の初めての公刊であった仏教説話集『真言鑛石集』を上梓してから三十年の時が流れていた。晩年の蓮体が教化にあたって光明真言を最も重要なものと考えていたことは、蓮体の思想の変遷と展開を理解するうえで極めて貴重な材料となりえよう。『続鑛石集』を寿梓した翌享保十一年八月二十二日、蓮体は自らが再興した河内の九華山地蔵寺でその生涯を終えた。六十四歳であった。

2 教化

『続鑛石集』には光明真言で加持をした土砂にまつわる靈驗譚がいくつ採録されている。中でも、たとえば右に表題を挙げたうちの「光明真言加持土沙ノ利益ノ事」には、蓮体の師である覚彦浄厳が加持した土砂の功德により、夜叉女を追い払うことに成功したという備後国の話が採録されているが、その文中に「此ハ是東都靈雲寺開山浄厳和尚ノ加持シ玉ヘル土沙ナリ。此ホド能キ守リハアルベカラズ」と記されるほどであった。浄厳の加持土砂のことは『真言鑛石集』三巻の「洛陽ノ繪師中西氏カ父地藏尊ノ加被ヲ蒙リテ往生ノ事」にも、浄厳が加持した光明真言の土砂を、絵師中西氏が父親の臨終の用意として頂戴したとあるように、その功德はまことに絶大であった。

勿論蓮体も光明真言加持土沙を人々に施しており、前掲の『続鑛石集』

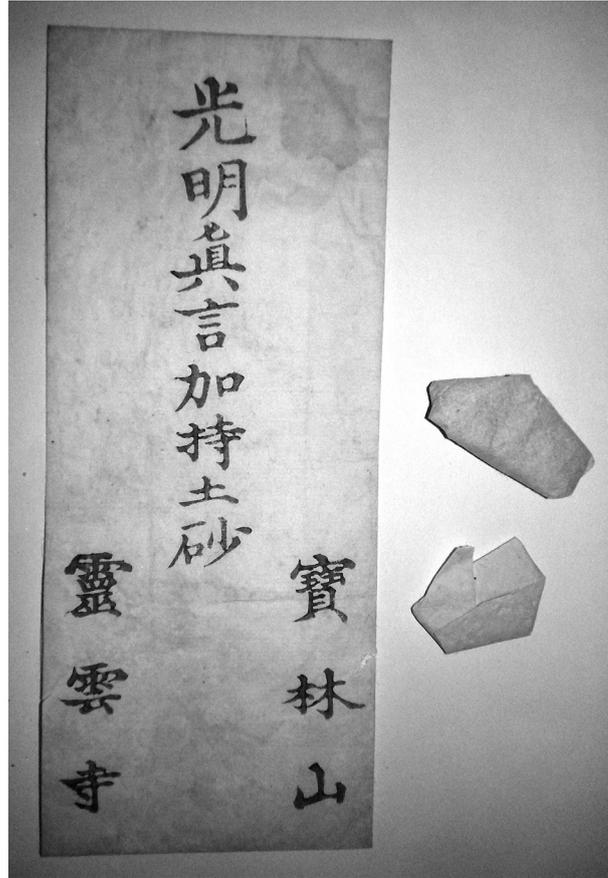
浄厳の靈驗譚に続いて自身の効験を載せている。

又備前^{ビセン}麴^{カウジヤ}薬屋アリ。麴^{カウジヤ}ヲ造ルニハ油虫^{アブラムシ}多ク生ジテ。花ヲ食フニ依テ損ズルコト多シ。故ニ数千ノ油虫^{アブラムシ}ヲ一所ニ掃集^{ハキアツメ}テ熱湯^{ニヘユ}ヲ灑^{カケ}テ殺ス。或夏^{アルナツ}ノ事ナルニ無量ノ油虫^{アブラムシ}生ゼルヲ一所ニ抔^{ハラ}ヒ集メ。大力ナル男赤裸ニテ熱湯^{ニヘユ}ヲ荷^{カケ}テ越^{コフ}ル時^{ツマツキ}跌倒^{ツケ}レ一桶^{ヲケ}ノ熱湯^{ニヘユ}ヲ自ラ沐^{ミツカ}ケレバ。赤色ニ爛^{クダ}レテ死ス。其^シ死骸^{ガイ}直^バ強^クテ入棺^{クワン}叶^{カナ}ハズ。一向宗ノ事ナレバ。如何ハセント大ニ歎^{オケ}クニ朋友ノ中ニ真言宗アリ。予ガ加持セル土沙ヲ持シテ。死骸^{ガイ}ニ灑^{カケ}ケレバ。忽^{ヤウ}ニ柔^{ユウ}キ活人ノ如シ。諸人驚^{オドロク}歎^{ツク}セズト云コトナシ。京^{キョウ}ニ惟^{タカ}ミレバ小虫ナリトイヘドモ多命ヲ害スル報ヒナレバ。却^{カヘツ}テ自ラ焼死^{ヤクシ}ヌ。其ノ業障^{ゴノノセ}広大ナルヲ。土沙ノ力消除^{ソゾク}セシメ玉フコト。貴^{ウツク}キコトニアラズヤ。

上田照遍師編『蓮体和尚行状記』は、正徳五年(一七一五)三月に備後福山南寿山観音寺において加持土沙を五百人に、翌享保元年(一七二六)四月には阿州徳島満福寺に赴き講經伝授の間を縫って人々に千二百裹を施したと伝える。満福寺には同年二月四日から四月晦日までの止住であったよう、二月九日より十五日まで光明真言經を講ずること七座、同十七日より四月晦日まで法華經を講ずること九十三座とあり、所化僧尼四百人、俗衆千人が参集したと伝える。また法筵中四月二十一日には、菩薩戒受者三百三十人、光明神呪受者六千人、加持土砂受者千二百裹、光明真言血脉受者一千余人、地藏尊像受者一千二百人、一日一夜斎戒受者二百余人、剃髮者十二人であったと『行状記』は伝えている。

こうした民衆教化活動の一方で、蓮体は遊行の先々であっても寸暇を惜しみ、真言僧として次第書の整備にも励んでいる。蓮体作「土砂加持作法私記」の奥書には「元禄八乙亥年十二月廿一日於備前岡山平医山弥勒院^{注2} 安流末資^{注2}必苜蓮体三十二」と記されている。以って真言僧としての蓮体の篤き至誠を感じることが出来る。

最後に年代は不明であるが、靈雲寺が衆庶に施した加持土砂を紹介しよう。寺津家蔵のもので、中央に「光明真言加持土砂」、左右に「宝林山」「靈雲寺」と刻された縦十八cm・横七cmばかりの包紙の中には、加持土砂が二裏封されている。白銀に光る清浄な土砂は、まさしく聖砂と称するに相応しく、浄厳や蓮体が衆庶に施した靈験あらたかな加持土砂そのものと言えよう。



注1 上田靈城師「近世真言宗の庶民教化―未来信仰」(『密教文化』九十九号、昭和四十一年十二月、密教研究会)

注2 田中海應師『光明真言集成』(昭和三十三年十二月、東方出版)

【付記】

『真言礦石集』第三冊目の読解と翻刻およびデータ入力に、次の歴史文化学科の現四年生諸氏が精励せられました。

岩城佑希 菊地えり 鈴木柚佳里

また、編集・校正作業に、次の日本語日本文学科・歴史文化学科の現三年生、二年生諸氏の助力をいただきました。

岡本夏奈 天利仁美 恩田寛子 伊藤奈海 岩田枝里香
川又 愛 三枝桃子 鈴木花 榎木晴香 山田ちひろ

御各位のお力添えに対し、心より御礼申し上げます。

(寺津麻理絵)

【凡例】

- 一、底本には宮島コレクション所蔵の元禄六年刊の四冊本を採った。
- 一、上段に写真影印を置き、下段に翻刻文を付した。
- 一、翻刻にあたって、漢字は可能な限り底本に近い字体を採った。よって複数の字体が混用されていても、あえて統一しなかった。ただし、仮名については、合略仮名を元に戻すなどした上で、すべて通行の字体に改めた。
- 一、清濁、句読点も原文のままにした。ただし、「叙」の読点は右に寄せた。
- 一、右ルビは原文のままに付したが、左ルビは()に入れ、当該下に置いた。
- 一、音訓および発音を示す記符号は省略した。
- 一、判読不能の箇所は□で示した。



共四

普照

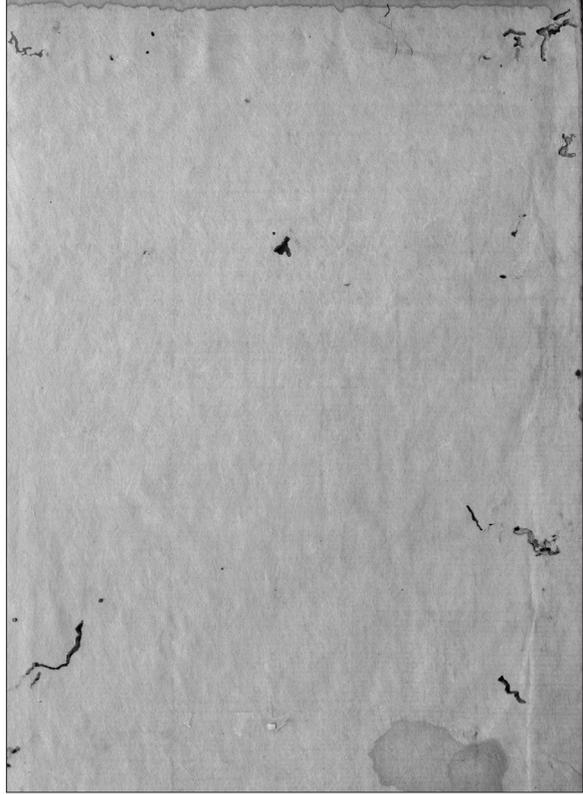
○

礦石集

三本

③表表紙

真言砮石集幢之卷目錄
 河州八尾ノ地藏ノ縁起並ニ種々利益ノ事
 同地藏尊ノ佛舍利ノ事
 同地藏尊ノ寶珠蓮池ヨリ出ル事
 同寺内ニ盜賊ノ難ナキ事
 同西郷ニ横死ノ難ナキ事
 大坂佐渡島屋地蔵尊ノ加被ニ依テ壽命ヲ延ル事
 同地藏尊火難ヲ告示ニ玉フ事
 大坂ノ童女母ノ壽命ヲ祈リテ感應ヲ得ル事
 同寺ノ看坊碩首座横死ヲ免ル、事
 大坂安道寺町油灌ノ地藏ノ事
 大坂天王寺西門通地藏尊利生ノ事



真言砮石集幢之卷目錄
 河州八尾ノ地藏ノ縁起並ニ種々利益ノ事
 同地藏尊ノ佛舍利ノ事
 同地藏尊ノ寶珠蓮池ヨリ出ル事
 同寺内ニ盜賊ノ難ナキ事
 同西郷ニ横死ノ難ナキ事
 大坂佐渡島屋地蔵尊ノ加被ニ依テ壽命ヲ延ル事
 同地藏尊火難ヲ告示ニ玉フ事
 大坂ノ童女母ノ壽命ヲ祈リテ感應ヲ得ル事
 同寺ノ看坊碩首座横死ヲ免ル、事
 大坂安道寺町油灌ノ地藏ノ事
 大坂天王寺西門通地藏尊利生ノ事

(白丁) ③表表紙見返

(印)

③目錄01才

和泉寶滿寺地藏尊ノ事

洛陽ノ繪師中西氏カ父地藏尊ノ加被ヲ蒙リテ往生ノ事
臨終用心ノ事 附タリ五条和光院ノ辭セノ事

南部岩手ノ想九郎カ子ノ事

陸奥國四十九院氏カ事

京ノ愚夫死シテ後モ女ノ方ヘ來リシ事

末

奥州馬槽大師ノ事 附タリ新羅國義湘法師ノ事

大坂ノ女生身ニ人ノ妻ヲ噉殺セル事 附タリ心法白色圓形ノ事

下總國般若塚ノ事 附タリ河内木ノ本ノタクク飯ノ事

長州三隅村ニ大師稻ヲ蒔玉フ事

河内ノ人高埜山ニ燈籠ヲ釣リシ事 附タリ高貴寺賊ノ事

河内ノ人大師ニ歸命シテ業病痊ル事

河内ノ人死シテ後ニ追福ヲ乞フ事

浪蒼ノ人死シテ後ニ夜々來ル事

幽靈現レテ回向ヲ望ム事

讃岐ノ人回向ヲ蒙リテ他化自在天ニ生ゼシ事

河内ノ人兄ヲ殺シテ現報ヲ受ル事

犬ヲ殺シテ生身ニ犬トナリシ事

犬能ク人ノ語ヲ知リ人ノ恩ヲ知ル事

犬ヲ殺シテ現報ヲ受シ事

蛇ヲ害シテ即時ニ報ヲ受ントセシ事

或人痲瘡ノ鬼ヲ追出ス事 痲瘡ノ符ノ事

或人疫神ニ逢テ談話セシ事

和泉寶滿寺地藏尊ノ事

洛陽ノ繪師中西氏カ父地藏尊ノ加被ヲ蒙リテ往生ノ事
臨終用心ノ事 附タリ五条和光院ノ辭セノ事

南部岩手ノ想九郎カ子ノ事

陸奥國四十九院氏カ事

京ノ愚夫死シテ後モ女ノ方ヘ來リシ事

末

奥州馬槽大師ノ事 附タリ新羅國義湘法師ノ事

大坂ノ女生身ニ人ノ妻ヲ噉殺セル事 附タリ心法白色圓形ノ事

下總國般若塚ノ事 附タリ河内木ノ本ノタクク飯ノ事

長州三隅村ニ大師稻ヲ蒔玉フ事

河内ノ人高埜山ニ燈籠ヲ釣リシ事 附タリ高貴寺賊ノ事

河内ノ人大師ニ歸命シテ業病痊ル事

河内ノ人死シテ後ニ追福ヲ乞フ事

浪蒼ノ人死シテ後ニ夜々來ル事

幽靈現レテ回向ヲ望ム事

讃岐ノ人回向ヲ蒙リテ他化自在天ニ生ゼシ事

河内ノ人兄ヲ殺シテ現報ヲ受ル事

犬ヲ殺シテ生身ニ犬トナリシ事

犬能ク人ノ語ヲ知リ人ノ恩ヲ知ル事

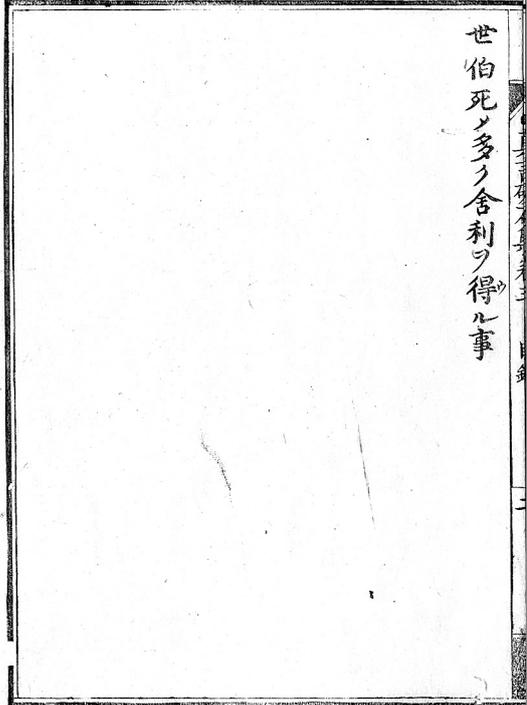
犬ヲ殺シテ現報ヲ受シ事

蛇ヲ害シテ即時ニ報ヲ受ントセシ事

或人痲瘡ノ鬼ヲ追出ス事 痲瘡ノ符ノ事

或人疫神ニ逢テ談話セシ事

世伯死シテ多ク舍利ヲ得ル事



礦石集第三本

河州八尾ノ地藏ノ縁起並二種々靈驗ノ事
河内ノ國若江郡八尾莊西郷村常光寺ノ地藏菩薩ハ弘
仁ノ聖朝ニ參議小野篁自手地藏尊六體ヲ刺ミテ扶
桑處々ノ名籃ニ安置セシ中ノ一軀ナリ立像六尺ノ尊容ニ
シテ六道ノ群迷ヲ濟度シ玉フコトヲ表ス八百餘霜ノ勢朽ズシテ
忍辱ノ膚濃ナリ三十二相ノ姿歴然トシテ哀悲ノ顔バセ糶ヲ
含ム満月ノ面ヲ仰ゲバ則チ妄執ノ雲忽チニ霽青蓮ノ
眸ヲ拜スレバ又罪障ノ露自ラ消掌上ニ顆ノ摩尼光ヲ
放テハ普ネク三千世界ノ有情ヲ度シ手中六環ノ金錫
聲ヲ振フテハ廣ク二十五有ノ受苦ヲ救フ余ノミナラズ名
藍ノ狀タルヤ闍提救世ノ春ノ風ニハ池面皴ヲ疊ンデ星霜

世伯死シテ多ク舍利ヲ得ル事

礦石集第三本

河州八尾ノ地藏ノ縁起並二種々靈驗ノ事
河内ノ國若江郡八尾莊西郷村常光寺ノ地藏菩薩ハ弘
仁ノ聖朝ニ參議小野篁自手地藏尊六體ヲ刺ミテ扶
桑處々ノ名籃ニ安置セシ中ノ一軀ナリ立像六尺ノ尊容ニ
シテ六道ノ群迷ヲ濟度シ玉フコトヲ表ス八百餘霜ノ勢朽ズシテ
忍辱ノ膚濃ナリ三十二相ノ姿歴然トシテ哀悲ノ顔バセ糶ヲ
含ム満月ノ面ヲ仰ゲバ則チ妄執ノ雲忽チニ霽青蓮ノ
眸ヲ拜スレバ又罪障ノ露自ラ消掌上ニ顆ノ摩尼光ヲ
放テハ普ネク三千世界ノ有情ヲ度シ手中六環ノ金錫
聲ヲ振フテハ廣ク二十五有ノ受苦ヲ救フ余ノミナラズ名
藍ノ狀タルヤ闍提救世ノ春ノ風ニハ池面皴ヲ疊ンデ星霜

ノ茲ニ古タルコトヲ頭ハシ。尸羅清涼ノ秋ノ月ニハ。對頭色ヲ凝
シテ感應ノ常ニ明カナルコトヲ示ス。爰ニ應永ノ末ノ比。新治ノ
西郷高田堂ニ油ヲ鬻ク處士又五郎太夫ト云者アリ。ハ
繼而立ノ比ヨリ此ノ地藏尊ヲ信シテ。常ニ寺ニ詣テ、觀ルニ。
物換リ星移テ堂塔大破ニ及ベリ。鳳覺傾ヒテ扉ソナシ。朝
霧僅カニ香煙ノ色ヲ侵ス。鴛瓦墜テ砌リニアリ。夕月獨リ
孤燈ノ光ヲ挑ゲタリ。見ニ淚ヲ催ヲシテ心中ニ願ヲ發シ。勤メテ
寶号ヲ唱ヘテ。再タビ伽藍ヲ修造センコトヲ祈リ。日日ニ香花
ヲ備ヘ。夜夜ニ燈明ヲ上ルコト。曾テ怠ルコトナシ。若シ暇ナクテ
他人ヲシテ燈明ヲ供養ゼシムル時ハ。屢消ユ。太夫自ラ挑ル時ハ
竟夜アキラカナリ。是ノゴトクシテ三十年ニ及ベリ。實ニ一ヘニ地藏
尊ノ内證ニ叶ヘルニヤト。諸人俱ニ羨ミ貴ミアヘリ。時ニ兵革未

止サレバ忽劇ノ中ナルニ。淨信怠ルコトナク。靈應ヲ蒙ルコト。
アゲテ計フベカラズ。若人太夫ニ賴ミテ。家中ノ吉凶病患。身
上ノ中天災難ヲ問ニ。自ラハ一文不通ノ身ナレトモ。地藏尊
ノ加被ニ任セテ。數珠ヲ回ラシテトナラヒ言ニ。掌ヲ指ガ如ク
ニ符合シケリ。又災ヲ攘コトヲ頼ムニ。所求満足スルコト響ノ應
ズルニ似タリ。經ニ或現居士身或現商人身ト説リ。太夫ハ正ニ
地藏尊ノ化身ナルベシト。諸人貴ミテ隣國マデモ。其ノ名隱
レナカリケリ。是ニ依テ公家ヨリ太夫ノ官ヲ賜ハリ。武家
乘馬ノ儀ヲ免セリ。康曆元年ノ春。郷内ニ瘡病流行スルニ。
地藏尊ヲ念ジ及ヒ太夫ニ祈願セシムレバ。即時ニ平愈セズ
ト云コトナシ。又至徳二年孟夏ノ比。國主頭風ヲ病テ百療皆
効シアラズ。依テ太夫ニ命シテ祈ラシムルニ。七日七夜ヲ經テ病々

ノ茲ニ古タルコトヲ頭ハシ。尸羅清涼ノ秋ノ月ニハ。對頭色ヲ凝
シテ感應ノ常ニ明カナルコトヲ示ス。爰ニ應永ノ末ノ比。新治ノ
西郷高田堂ニ油ヲ鬻ク處士又五郎太夫ト云者アリ。ハ
繼而立ノ比ヨリ此ノ地藏尊ヲ信シテ。常ニ寺ニ詣テ、觀ルニ。
物換リ星移テ堂塔大破ニ及ベリ。鳳覺傾ヒテ扉ソナシ。朝
霧僅カニ香煙ノ色ヲ侵ス。鴛瓦墜テ砌リニアリ。夕月獨リ
孤燈ノ光ヲ挑ゲタリ。見ニ淚ヲ催ヲシテ心中ニ願ヲ發シ。勤メテ
寶号ヲ唱ヘテ。再タビ伽藍ヲ修造センコトヲ祈リ。日日ニ香花
ヲ備ヘ。夜夜ニ燈明ヲ上ルコト。曾テ怠ルコトナシ。若シ暇ナクテ
他人ヲシテ燈明ヲ供養ゼシムル時ハ。屢消ユ。太夫自ラ挑ル時ハ
竟夜アキラカナリ。是ノゴトクシテ三十年ニ及ベリ。實ニ一ヘニ地藏
尊ノ内證ニ叶ヘルニヤト。諸人俱ニ羨ミ貴ミアヘリ。時ニ兵革未

止サレバ忽劇ノ中ナルニ。淨信怠ルコトナク。靈應ヲ蒙ルコト。
アゲテ計フベカラズ。若人太夫ニ賴ミテ。家中ノ吉凶病患。身
上ノ中天災難ヲ問ニ。自ラハ一文不通ノ身ナレトモ。地藏尊
ノ加被ニ任セテ。數珠ヲ回ラシテトナラヒ言ニ。掌ヲ指ガ如ク
ニ符合シケリ。又災ヲ攘コトヲ頼ムニ。所求満足スルコト響ノ應
ズルニ似タリ。經ニ或現居士身或現商人身ト説リ。太夫ハ正ニ
地藏尊ノ化身ナルベシト。諸人貴ミテ隣國マデモ。其ノ名隱
レナカリケリ。是ニ依テ公家ヨリ太夫ノ官ヲ賜ハリ。武家
乘馬ノ儀ヲ免セリ。康曆元年ノ春。郷内ニ瘡病流行スルニ。
地藏尊ヲ念ジ及ヒ太夫ニ祈願セシムレバ。即時ニ平愈セズ
ト云コトナシ。又至徳二年孟夏ノ比。國主頭風ヲ病テ百療皆
効シアラズ。依テ太夫ニ命シテ祈ラシムルニ。七日七夜ヲ經テ病々

チマチニ除愈シ。靈夢カタク多カリケレバ。國主大ニ悦ビテ膏
腴ノ田ヲ割テ。永ク地藏尊ニ上リ。同ジク七月廿二日ニ常光
寺ヘ參詣アリ。郷内耳目ヲ驚カシ。遠近共ニ貴ムコト諸國ニ隠レ
ナカリケリ。凡ソ燈陋癩癩ノ輩ヲモ地藏ニ歸スレバ。忽ニ起
居ヲ快クシ。聾盲瘡癩ノ類モ太夫ニ頼メバ。頓ニ清濁ヲ語ル
日日ノ奇特ハ耳目ニ舊タリトイヘトモ。人々ノ靈驗ハ猶心肝ニ
新タナリ。遂使シテ遐邇輻湊シテ貴賤男女老少僧俗ヲイハズ。雲
ノ如クニ集マリ星ノ如クニ列テ。地藏ノ寶号ヲ唱ヘ。太夫カ
靈驗ヲ仰クニ。諸願成就スルコト水ノ器ニ隨フガ如シ。靈感數
百アリトイヘトモ具ニ記スルニ及バズ。其ノ尤ナル者ヲ撰ンデ大綱
ヲ録スルニ。一百餘條アリ。別卷ニ記スルカ如シ。他處ノ佛神ハ化
儀ヲ讓テ眞如ノ扉ソヲ閉カト疑ヒ。自餘ノ菩薩ハ利物ヲ與

ヘテ無為ノ都ニ歸ルカト訝カル。是ニ依テ檀施山ノ如クニ積
テ終ニ修造ノ願ヲ果シ。至德三年二月二十八日ニ。十間四
面ノ堂ヲ建立シテ故佛ヲ安置シ上ル。未ダ一年ヲ越ザルニ
功コトク成ヌ。同十月十日ハ棟上ゲ。同十一月八日ニ安座ナ
リ伶人樂ヲ奏シ僧衆讚ヲ誦シテ迎佛ノ儀ヲ刷フ莊嚴ノ
美麗ナルコト往古ニモ優レリ。深更雲收テ滿月ノ威容ニ
從フカト怪シシ。明鏡燈ヲ含ンテ衆星モ本尊ヲ拱クカト
誤マル。池水幡蓋ノ色ヲ映シテ四十九院ノ糝ヲヒ眼ノ前ニ
現ジ。松風琴瑟ノ曲ニ和シテ九品往生ノ樂耳ノ底ニ明ラカ
ナリ。諸人參詣シテ市ヲ成ヌ。青鳧飛テ雨ノ如ク。精米降テ
電ニ似タリ。俄カニ堂上ニ堆キテ京ヲナセリ。寔ニ上古ニモ未
ダ聞ガル消息ナリ。ソノ、千鎮守殿。阿弥陀堂及ヒ寶塔。小

チマチニ除愈シ。靈夢カタク多カリケレバ。國主大ニ悦ビテ膏
腴ノ田ヲ割テ。永ク地藏尊ニ上リ。同ジク七月廿二日ニ常光
寺ヘ參詣アリ。郷内耳目ヲ驚カシ。遠近共ニ貴ムコト諸國ニ隠レ
ナカリケリ。凡ソ燈陋癩癩ノ輩ヲモ地藏ニ歸スレバ。忽ニ起
居ヲ快クシ。聾盲瘡癩ノ類モ太夫ニ頼メバ。頓ニ清濁ヲ語ル
日日ノ奇特ハ耳目ニ舊タリトイヘトモ。人々ノ靈驗ハ猶心肝ニ
新タナリ。遂使シテ遐邇輻湊シテ貴賤男女老少僧俗ヲイハズ。雲
ノ如クニ集マリ星ノ如クニ列テ。地藏ノ寶号ヲ唱ヘ。太夫カ
靈驗ヲ仰クニ。諸願成就スルコト水ノ器ニ隨フガ如シ。靈感數
百アリトイヘトモ具ニ記スルニ及バズ。其ノ尤ナル者ヲ撰ンデ大綱
ヲ録スルニ。一百餘條アリ。別卷ニ記スルカ如シ。他處ノ佛神ハ化
儀ヲ讓テ眞如ノ扉ソヲ閉カト疑ヒ。自餘ノ菩薩ハ利物ヲ與

ヘテ無為ノ都ニ歸ルカト訝カル。是ニ依テ檀施山ノ如クニ積
テ終ニ修造ノ願ヲ果シ。至德三年二月二十八日ニ。十間四
面ノ堂ヲ建立シテ故佛ヲ安置シ上ル。未ダ一年ヲ越ザルニ
功コトク成ヌ。同十月十日ハ棟上ゲ。同十一月八日ニ安座ナ
リ伶人樂ヲ奏シ僧衆讚ヲ誦シテ迎佛ノ儀ヲ刷フ莊嚴ノ
美麗ナルコト往古ニモ優レリ。深更雲收テ滿月ノ威容ニ
從フカト怪シシ。明鏡燈ヲ含ンテ衆星モ本尊ヲ拱クカト
誤マル。池水幡蓋ノ色ヲ映シテ四十九院ノ糝ヲヒ眼ノ前ニ
現ジ。松風琴瑟ノ曲ニ和シテ九品往生ノ樂耳ノ底ニ明ラカ
ナリ。諸人參詣シテ市ヲ成ヌ。青鳧飛テ雨ノ如ク。精米降テ
電ニ似タリ。俄カニ堂上ニ堆キテ京ヲナセリ。寔ニ上古ニモ未
ダ聞ガル消息ナリ。ソノ、千鎮守殿。阿弥陀堂及ヒ寶塔。小

地蔵堂等。太夫盛繼一生ノ間ニ建立スルコト居マナリ。後ニ
出家シテ明有ト号ス。明徳元年八月十四日ニ春秋六十四歳
ニシテ寂ス。縁起ノ趣キ大體カクノコトシ。一百餘條ノ靈驗
記ハ天正已來ノ亂ニ紛失シヌ。嗚呼惜ヒカナ。定メテ殊勝ノ
感應多カリケン。歎息シテモ尚餘リアリ。又五郎太夫ノ事ハ。能
ノ興言ニモ八尾ノ興言トテ昔ヨリ傳ヘテ。日本六十餘州ノ
人普テ知レリ。但シ八尾ヲ矢尾ト書リ。河州ノ八尾ノ事
ナルヲ人知ザリケリ。興言ニ既ニ作レルハ三百歳ノ先。太夫
ノ靈驗多カリシヲ傳ヘタルナルベシ。

同地蔵尊ノ佛舍利ノ事

常光寺ニ舍利堂アリ。昔ハ寶塔ニ佛舍利ヲ納メケルト
カヤ。抑此舍利ハ寛治二年ニ白河ノ法皇高野山ニ御

幸ノ時。地蔵尊ニ奉リ玉フ御舍利ナリ。法皇常光寺ノ
地蔵尊ノ靈驗アラタナルコトヲ聞シ召テ。鳳輦ヲ廻ラシテ
此ノ寺ニ入り尊像ヲ拜シテ後ニ。伽藍ヲ出ントシ下フニ
俄ニ雷電霹靂シテ大ナル氷リ降り降テ出玉フコトアタハズ。供奉
ノ月卿雲客モ。コハイカニト怪シミ恐レケリ。其ノ時ニ住持ノ
僧奏スラク。地蔵尊定メテ法皇ニ所望ノ事アルベシ。何ニ
テモ本尊ニ供養シ玉ハ。雷雨霽コトヲ得ベント。其ノ時ニ
法皇此ノ舍利一粒ヲ以テ地蔵尊ノ御手ニ安ジ玉フニ。ヤ
ガテ雨晴テ天色清朗ナリ。其ノ時ニ法皇又舍利ヲ取テ
曰ク。今高野山ニ詣センコトヲ企ツ。道中ノ守護ノ為ニ先今度
ハ預リテ持シ奉ルベシ。還ルサニ又地蔵尊ヘ奉ルベシト。即チ
山門ヲ出玉フニ雷電霹靂初ヨリモ倍セリ。法皇獻感アツテ。

地蔵堂等。太夫盛繼一生ノ間ニ建立スルコト居マナリ。後ニ
出家シテ明有ト号ス。明徳元年八月十四日ニ春秋六十四歳
ニシテ寂ス。縁起ノ趣キ大體カクノコトシ。一百餘條ノ靈驗
記ハ天正已來ノ亂ニ紛失シヌ。嗚呼惜ヒカナ。定メテ殊勝ノ
感應多カリケン。歎息シテモ尚餘リアリ。又五郎太夫ノ事ハ。能
ノ興言ニモ八尾ノ興言トテ昔ヨリ傳ヘテ。日本六十餘州ノ
人普テ知レリ。但シ八尾ヲ矢尾ト書リ。河州ノ八尾ノ事
ナルヲ人知ザリケリ。興言ニ既ニ作レルハ三百歳ノ先。太夫
ノ靈驗多カリシヲ傳ヘタルナルベシ。

同地蔵尊ノ佛舍利ノ事

常光寺ニ舍利堂アリ。昔ハ寶塔ニ佛舍利ヲ納メケルト
カヤ。抑此舍利ハ寛治二年ニ白河ノ法皇高野山ニ御

幸ノ時。地蔵尊ニ奉リ玉フ御舍利ナリ。法皇常光寺ノ
地蔵尊ノ靈驗アラタナルコトヲ聞シ召テ。鳳輦ヲ廻ラシテ
此ノ寺ニ入り尊像ヲ拜シテ後ニ。伽藍ヲ出ントシ下フニ
俄ニ雷電霹靂シテ大ナル氷リ降り降テ出玉フコトアタハズ。供奉
ノ月卿雲客モ。コハイカニト怪シミ恐レケリ。其ノ時ニ住持ノ
僧奏スラク。地蔵尊定メテ法皇ニ所望ノ事アルベシ。何ニ
テモ本尊ニ供養シ玉ハ。雷雨霽コトヲ得ベント。其ノ時ニ
法皇此ノ舍利一粒ヲ以テ地蔵尊ノ御手ニ安ジ玉フニ。ヤ
ガテ雨晴テ天色清朗ナリ。其ノ時ニ法皇又舍利ヲ取テ
曰ク。今高野山ニ詣センコトヲ企ツ。道中ノ守護ノ為ニ先今度
ハ預リテ持シ奉ルベシ。還ルサニ又地蔵尊ヘ奉ルベシト。即チ
山門ヲ出玉フニ雷電霹靂初ヨリモ倍セリ。法皇獻感アツテ。

即チ又地藏尊ノ御手ニ安シ玉フニ天色晴コト初ノ如シ。其ヨリ晴天ニテ供奉ノ人々モ逾淨信ヲ生シ。安穩ニ高野山ニ御幸ヲナシ奉レリ。シカツシヨリ此舍利當寺ニ傳ハリテ靈驗多カリキ。慶長ノ末ノ亂ニ。長曾我部ハ久寶寺ニ陣ヲ取り藤堂和泉殿ハ河東ニ旅ノ戰ヒシ時ニ。常光寺ハ戰場トナレリ。其時ノ住持ノ僧本尊ヲ和州ノ達磨寺ヘ移シ奉レリ。和泉殿幕下ノ兵士等。寺中ニ亂レ入りテ物取リシ中ニ。或者此ニ佛舍利コソマシマセ。此ヲ取テ歸リ信ズベシトテ。劫ミ取テ勢州ヘ歸リケリ。然ルニ彼ノ人ノ一家皆盲目トナリ。或ハ狂亂シ口バシリテ。早ク八尾ノ地藏ヘ歸ルベシトイヘリ。其外災殃多カリケレバ。八尾ノ佛舍利ノ崇リナルベシト驚キ覺リテ。忽キ八尾ヘ持參シケリ。常光寺ニハ何方ヘ失サセ玉フモ

シラデアリシニ。正保年中ニ看坊ノ僧ニ。夢中ニ地藏尊告至ハク。佛舍利歸ラセ玉フ西方ヘ迎ニ參レトアリケレバ。悦ビテ即チ大坂船ツキマデ行キ。如何行ベキト打案シテ居ケルニ。勢州ノ者舍利ヲ持參シテ。八尾ヘハ何方ヘ行キ候ゾト問ニ逢テ互相ニ由來ヲ語りテ。俱ニ歡喜ノ涙ヲ流シ。即チ受取り奉リテ。今ニ常光寺ニアリ。予元祿四年十一月十日ニ常光寺ヘ詣シテ。本尊及ヒ佛舍利ヲ拜シ奉ル。尤モ殊勝ノ御舍利ナリ

同地藏尊ノ寶珠蓮池ヨリ出ル事
慶長ノ亂ニ本尊ヲ和州達磨寺ヘ移シ奉ル時ニ。左ノ御手ノ寶珠紛失シヌ。後ニ本尊歸ラセ玉ヒテ。寶珠ナキカ故ニ新作リテ安置スルニ著ズ。幾度モ安ズルニ終ニ著ズシテ落ケリ。

即チ又地藏尊ノ御手ニ安シ玉フニ天色晴コト初ノ如シ。其ヨリ晴天ニテ供奉ノ人々モ逾淨信ヲ生シ。安穩ニ高野山ニ御幸ヲナシ奉レリ。シカツシヨリ此舍利當寺ニ傳ハリテ靈驗多カリキ。慶長ノ末ノ亂ニ。長曾我部ハ久寶寺ニ陣ヲ取り藤堂和泉殿ハ河東ニ旅シテ戰ヒシ時ニ。常光寺ハ戰場トナレリ。其時ノ住持ノ僧本尊ヲ和州ノ達磨寺ヘ移シ奉レリ。和泉殿幕下ノ兵士等。寺中ニ亂レ入りテ物取リシ中ニ。或者此ニ佛舍利コソマシマセ。此ヲ取テ歸リ信ズベシトテ。劫ミ取テ勢州ヘ歸リケリ。然ルニ彼ノ人ノ一家皆盲目トナリ。或ハ狂亂シ口バシリテ。早ク八尾ノ地藏ヘ歸ルベシトイヘリ。其外災殃多カリケレバ。八尾ノ佛舍利ノ崇リナルベシト驚キ覺リテ。忽キ八尾ヘ持參シケリ。常光寺ニハ何方ヘ失サセ玉フモ

シラデアリシニ。正保年中ニ看坊ノ僧ニ。夢中ニ地藏尊告至ハク。佛舍利歸ラセ玉フ西方ヘ迎ニ參レトアリケレバ。悦ビテ即チ大坂船ツキマデ行キ。如何行ベキト打案シテ居ケルニ。勢州ノ者舍利ヲ持參シテ。八尾ヘハ何方ヘ行キ候ゾト問ニ逢テ互相ニ由來ヲ語りテ。俱ニ歡喜ノ涙ヲ流シ。即チ受取り奉リテ。今ニ常光寺ニアリ。予元祿四年十一月十日ニ常光寺ヘ詣シテ。本尊及ヒ佛舍利ヲ拜シ奉ル。尤モ殊勝ノ御舍利ナリ

同地藏尊ノ寶珠蓮池ヨリ出ル事
慶長ノ亂ニ本尊ヲ和州達磨寺ヘ移シ奉ル時ニ。左ノ御手ノ寶珠紛失シヌ。後ニ本尊歸ラセ玉ヒテ。寶珠ナキカ故ニ新作リテ安置スルニ著ズ。幾度モ安ズルニ終ニ著ズシテ落ケリ。

諸人不思議ニ思ヒ其マ、ニテアリシニ。或時寺前ノ蓮池ニ蓮花盛リニ開ケタルニ。寶珠一顆花臺ニ現ジケリ。或人見テ此ヲ取り本尊ノ御手ニ安ズルニ。昔ノ寶珠ニテ能ク掌ニ著キ今ニアリ。又右ノ錫杖ノ御手ノ指損ジ玉ヒケルヲ。住持佛工ヲ頼ミテ續グトイヘトモ終ニ著ズ。佛師イヨクカラ入テ續ントシケレバ。即チ目マヒ絶入シテ續フアタハズ。寛永ノ初メ久審寺ノ住人。弓削屋ノ又右衛門ト云者。平生此ノ尊ヲ信シテ七日潔齋シテ曰ク。他人ノ續申サンハサモアリ又ベシ。我ハ殊ニ信ジ奉レバ續得ベシトテ。漆持テ佛壇ニ上リ。此ノ程ニテ能カルラント本尊ヲ見上ケ奉ルニ目眩テ壇ヨリ落ケリ。若シ古ノ篋ノ作り足セル指ナレバ著サルモ理ハリナリ。寶珠ト同ジ例

ナリ。靈像ノ不思議希有ナル事トモナリ

同寺内ニ盜賊ノ難ナキ事

或夜光棍堂内ニ入テ。戸帳ヲ盜ミ出ントシケルニ。出ル道ヲ忘レテ夜ノ明ルマデ堂内ヲ巡リテ居ケル。看坊見著テ捕ヘケレバ。光棍シカクノ由ヲ語りケリ。又或時ニ老棍入りテ看坊ノ僧ヲ捕ヘ縛リテ。既ニ害セントシケル處ニ。地藏菩薩一人ノ僧トナリ來ラセ玉ヒテ。繩ヲ解命ヲ助ケ玉ヘハ。盜賊モ恐レテ逃歸リケリ。寔ニ本願經ニ説玉ヘル二十八種ノ利益一モ違ハザリケリ

同西郷ニ横死ノ難ナキ事

古老傳ヘテ曰ク住古ヨリ。寺中及ビ西郷村ヘ。終ニ雷落ズ横難アルコトナシ。又門前ノ婦女ドモ。昔ヨリ難産アル。今ニ

諸人不思議ニ思ヒ其マ、ニテアリシニ。或時寺前ノ蓮池ニ蓮花盛リニ開ケタルニ。寶珠一顆花臺ニ現ジケリ。或人見テ此ヲ取り本尊ノ御手ニ安ズルニ。昔ノ寶珠ニテ能ク掌ニ著キ今ニアリ。又右ノ錫杖ノ御手ノ指損ジ玉ヒケルヲ。住持佛工ヲ頼ミテ續グトイヘトモ終ニ著ズ。佛師イヨクカラ入テ續ントシケレバ。即チ目マヒ絶入シテ續コトアタハズ。寛永ノ初メ久審寺ノ住人。弓削屋ノ又右衛門ト云者。平生此ノ尊ヲ信シテ七日潔齋シテ曰ク。他人ノ續申サンハサモアリ又ベシ。我ハ殊ニ信ジ奉レバ續得ベシトテ。漆持テ佛壇ニ上リ。此ノ程ニテ能カルラント本尊ヲ見上ケ奉ルニ目眩テ壇ヨリ落ケリ。若シ古ノ篋ノ作り足セル指ナレバ著サルモ理ハリナリ。寶珠ト同ジ例

ナリ。靈像ノ不思議希有ナル事トモナリ

同寺内ニ盜賊ノ難ナキ事

或夜光棍堂内ニ入テ。戸帳ヲ盜ミ出ントシケルニ。出ル道ヲ忘レテ夜ノ明ルマデ堂内ヲ巡リテ居ケル。看坊見著テ捕ヘケレバ。光棍シカクノ由ヲ語りケリ。又或時ニ老棍入りテ看坊ノ僧ヲ捕ヘ縛リテ。既ニ害セントシケル處ニ。地藏菩薩一人ノ僧トナリ來ラセ玉ヒテ。繩ヲ解命ヲ助ケ玉ヘハ。盜賊モ恐レテ逃歸リケリ。寔ニ本願經ニ説玉ヘル二十八種ノ利益一モ違ハザリケリ

同西郷ニ横死ノ難ナキ事

古老傳ヘテ曰ク住古ヨリ。寺中及ビ西郷村ヘ。終ニ雷落ズ横難アルコトナシ。又門前ノ婦女ドモ。昔ヨリ難産アル。今ニ

至ルマテ安産ヲ得トイヘリ。經中ニ主命鬼王發願シテ擁護スベシトアレバ。實ニシカルベシ。毎年七月二十四日ハ法克ナレバ。河内國中ノ貴賤男女集マリ。及ビ隣國ノ人マテ參詣シテ通夜シ。寶号ヲ唱ル者。幾百千人ト云コトヲ知ラズ。中ニ付テ男ハ少ク女ハ多シ。河内ノ諺ニ高野翁。矢田姥ト云テ。高野山ハ女人ヲ禁スレバ。老翁ノミ參詣結縁スベキ山。矢田及ビ八尾ハ女人ノ參詣シ結縁スベキ寺ナリトイヘリ。豈啻老婆ノミナランヤ。少艾ノ婦女ハ難産ノ恐レアレバ。イヨク參詣シテ歸依シ奉ルベシ。本願經ノ中ニ地藏尊ヲ歸依シ瞻禮シ奉レバ。諸願圓滿シテ安産ヲ得ト説リ。又地藏菩薩昔シ因地ニ光目女及ビ聖女トシテ母ノ苦患ヲ救ヒ玉ヘリ。サレバ女人ニ因縁深キコト亦宜ナラズヤ。又女人ハ五障三從ノ

身ナレバ出離ノ時モ遲シ。サレバイヨク大悲ノ菩薩ハ別テ救ヒ玉フナルヘシ。是又攝取ノ門ナリ。高野山ニ女人ヲ禁ズルハ。抑止ノ方便ナリ。

大坂佐渡嶋屋地藏尊ノ加被ニ依テ壽命ヲ延ル事

大坂新町ノ花衢ニ佐渡嶋屋ト云アリ。慶長年中ニ十八歳ニシテ頓死シヌ。親族會聚テ悲歎スレトモソノ甲斐ナカリケルカ。一日一夜ヲ經テ蘇生シテ語テ曰ク。我冥土ニ赴キテ忽チニ一ノ堂ニ至ルニ。一人ノ御僧來リ玉ヒテ。汝ハ末ダ是へ來ル者ニアラズ。今汝ニ八十三歳ノ壽命ヲ與フヘシ。閻浮ニ歸リナバ。イヨク佛ヲ念ズベシト教ヘ玉フ。彼ノ者喜ビテ問テ曰ク。御僧ハ何方ニ渡ラセ玉フヤト。僧ノ曰ク。汝未ダシラズヤ。我ハ即チ汝カ國八尾ノ地藏ナリ。汝年來我ヲ信ズルガ故ニ今度汝ガ壽命

至ルマテ安産ヲ得トイヘリ。經中ニ主命鬼王發願シテ擁護スベシトアレバ。實ニシカルベシ。毎年七月二十四日ハ法克ナレバ。河内國中ノ貴賤男女集マリ。及ビ隣國ノ人マテ參詣シテ通夜シ。寶号ヲ唱ル者。幾百千人ト云コトヲ知ラズ。中ニ付テ男ハ少ク女ハ多シ。河内ノ諺ニ高野翁。矢田姥ト云テ。高野山ハ女人ヲ禁スレバ。老翁ノミ參詣結縁スベキ山。矢田及ビ八尾ハ女人ノ參詣シ結縁スベキ寺ナリトイヘリ。豈啻老婆ノミナランヤ。少艾ノ婦女ハ難産ノ恐レアレバ。イヨク參詣シテ歸依シ奉ルベシ。本願經ノ中ニ地藏尊ヲ歸依シ瞻禮シ奉レバ。諸願圓滿シテ安産ヲ得ト説リ。又地藏菩薩昔シ因地ニ光目女及ビ聖女トシテ母ノ苦患ヲ救ヒ玉ヘリ。サレバ女人ニ因縁深キコト亦宜ナラズヤ。又女人ハ五障三從ノ

身ナレバ出離ノ時モ遲シ。サレバイヨク大悲ノ菩薩ハ別テ救ヒ玉フナルヘシ。是又攝取ノ門ナリ。高野山ニ女人ヲ禁ズルハ。抑止ノ方便ナリ。

大坂佐渡嶋屋地藏尊ノ加被ニ依テ壽命ヲ延ル事

大坂新町ノ花衢ニ佐渡嶋屋ト云アリ。慶長年中ニ十八歳ニシテ頓死シヌ。親族會聚テ悲歎スレトモソノ甲斐ナカリケルカ。一日一夜ヲ經テ蘇生シテ語テ曰ク。我冥土ニ赴キテ忽チニ一ノ堂ニ至ルニ。一人ノ御僧來リ玉ヒテ。汝ハ末ダ是へ來ル者ニアラズ。今汝ニ八十三歳ノ壽命ヲ與フヘシ。閻浮ニ歸リナバ。イヨク佛ヲ念ズベシト教ヘ玉フ。彼ノ者喜ビテ問テ曰ク。御僧ハ何方ニ渡ラセ玉フヤト。僧ノ曰ク。汝未ダシラズヤ。我ハ即チ汝カ國八尾ノ地藏ナリ。汝年來我ヲ信ズルガ故ニ今度汝ガ壽命

ヲ延與フトアリテ。即チ失玉ヒヌ。サテ我ハ蘓ヘレリアリガタシ
トテ。歡喜ノ袂ヲ霑シケレバ。諸人一同ニ驚歎シテ南無地藏
ト唱ヘケリ。ソレヨリ諸方ニ聞傳ヘテ八尾ヘ多ク參詣シケリ。
佐渡島屋モ毎年怠ラズ。七月廿四日ニ參詣シ。寶号ヲ唱ヘ
テ恩ヲ謝シ上ル。サレバ凡夫ノアサマシサハ。八十三マデト告ア
リシ事ヲモ打忘レテ。津ノ國ノ存命フベクモアラヌ難波
人。短キ葦ノ世ヲ。百歳マデモ生ント思ヒテアリシニ。八十二
歳ノ七月ニ例ノ如ク八尾ヘ詣リケレバ。毎年ノ事トイヒ。殊ニ
頭ベニ南山ノ雪ヲ戴キ。額ニ北海ノ波ヲヨコタヘ。腰背ハ梓
ノ弓ヲ張。箭ノ如クナル。光陰既ニ迫リヌレバ。茶店ノ者モ能見
知テ翁様ノ定ノ命モ今一年ニテ候ヨ。後生ヲ願ヒ玉ヘト言
ケレバ。八十二ニアマルウツセミノカラ。猶フシクヤアリケン。喜コバヌ氣

色ニテ歸リケリ。サテ定メノ如ク寛文ノ初メニ八十三ニテ死シ
ケリ。彼ノ茶店ノ主ジ羊ノ歩ミ近キシコトヲ教ヘ勵マセシモ。尚地
藏ノ方便ニヤ。アリガタカリケル事トモナリ

同地藏尊火難ヲ告示シ玉フ事

常光寺ノ僕或時火ヲ疎慢ニシテ寐タルニ。アヤマチテ然アガリ
既ニ大事ニ及ブ所ニ。地藏尊一人ノ僧ト成テ來リ玉ヒ。彼ノ
男ヲ踏ミ起シ。ヤレ火事ヨ何トテユルノトハ眠ルゾト仰アリ
ケレバ僕驚キ起テ即チ火ヲ消シテ。大事ニハナサザリケリ。今ニ
至ルマデ常光寺ニ焼柱有リテ。諸人普ネク知レリ。地藏尊火
難ヲ救ヒ玉フコト靈驗記等ニ。多クノセタリトイヘトモ。近代ニカク
ノゴトキ明カナル示現ハ希有ナル事ナリ

大坂ノ童女母ノ壽命ヲ祈リテ感應ヲ得ル事

ヲ延與フトアリテ。即チ失玉ヒヌ。サテ我ハ蘓ヘレリアリガタシ
トテ。歡喜ノ袂ヲ霑シケレバ。諸人一同ニ驚歎シテ南無地藏
ト唱ヘケリ。ソレヨリ諸方ニ聞傳ヘテ八尾ヘ多ク參詣シケリ。
佐渡島屋モ毎年怠ラズ。七月廿四日ニ參詣シ。寶号ヲ唱ヘ
テ恩ヲ謝シ上ル。サレトモ凡夫ノアサマシサハ。八十三マデト告ア
リシ事ヲモ打忘レテ。津ノ國ノ存命フベクモアラヌ難波
人。短キ葦ノ世ヲ。百歳マデモ生ント思ヒテアリシニ。八十二
歳ノ七月ニ例ノ如ク八尾ヘ詣リケレバ。毎年ノ事トイヒ。殊ニ
頭ベニ南山ノ雪ヲ戴キ。額ニ北海ノ波ヲヨコタヘ。腰背ハ梓
ノ弓ヲ張。箭ノ如クナル。光陰既ニ迫リヌレバ。茶店ノ者モ能見
知テ翁様ノ定ノ命モ今一年ニテ候ヨ。後生ヲ願ヒ玉ヘト言
ケレバ。八十二ニアマルウツセミノカラ。猶フシクヤアリケン。喜コバヌ氣

色ニテ歸リケリ。サテ定メノ如ク寛文ノ初メニ八十三ニシテ死シ
ケリ。彼ノ茶店ノ主ジ羊ノ歩ミ近キシコトヲ教ヘ勵マセシモ。尚地
藏ノ方便ニヤ。アリガタカリケル事トモナリ

同地藏尊火難ヲ告示シ玉フ事

常光寺ノ僕或時火ヲ疎慢ニシテ寐タルニ。アヤマチテ然アガリ
既ニ大事ニ及ブ所ニ。地藏尊一人ノ僧ト成テ來リ玉ヒ。彼ノ
男ヲ踏ミ起シ。ヤレ火事ヨ何トテユルノトハ眠ルゾト仰アリ
ケレバ僕驚キ起テ即チ火ヲ消シテ。大事ニハナサザリケリ。今ニ
至ルマデ常光寺ニ焼柱有リテ。諸人普ネク知レリ。地藏尊火
難ヲ救ヒ玉フコト靈驗記等ニ。多クノセタリトイヘトモ。近代ニカク
ノゴトキ明カナル示現ハ希有ナル事ナリ

大坂ノ童女母ノ壽命ヲ祈リテ感應ヲ得ル事

延寶年中ニ大坂何ノ町トカヤニ一人アリ。久シク病テ百療効ナカリケリ。其ノ子ニ童女アリ生年十四歳ナリ。天性至孝ニシテ正直柔和ナリ。本ヨリ八尾ノ地藏尊ヲ信ジケルマ、母ノ病ニ侍スル時ニモ偏ヘニ地藏尊ニ祈リ。願クハ此度母ノ病ヲ愈シ壽命ヲ延サセ玉ハ、我必ズ骸ニテ八尾ヘ參詣シ。御恩ヲ謝シ奉ルベシ。若又定業必死ノ病ナラバ。願クハ菩薩ノ大悲神力。我命ヲトリテ母ノ壽ヲ延カヘサセ玉ヘト。丹誠ヲ抽デ、誓ヒケル。誠ニ菩薩童女ガ祈念ヲ納受ヤシ玉ヒケン。程ナク母ノ病ヒ平愈シケリ。童女喜ビテ即チ正月十八日。餘寒猶甚シクテ指ヲ墮シ膚ヲ裂。冽風ニ赤裸ニテ八尾ヘ參リケリ。諸人怪ミテ意趣ヲ尋ヌルニ。上件ノ子細ナレバ聞人感涙ヲ落サズト云フナシ。誠ニ地藏尊ノ内證ニ能ク叶フ故ナルベシ。況ヤ躰ヲ苦

行ヲ忍ブヲヤ。今ノ人病苦甚ハダシキ時。或ハ横難ニ逢シ時ハ。心中ニ佛神ニ祈誓シテ。此病ヲ痊シ玉ハ、何ヲ供養ジ奉ルベシ。此難ヲ免レシメ玉ハ、幾度三十三所ヲ巡禮スベシ。四國ヲ巡禮スベシ。伊勢熊野ヘ參ルベシナド、誓ヒナガラ。病ヒ痊難除キテ後ハ。再ビ思モ出サズ。或ハ儻憶ヒ出セトモ來年詣ルベシ。此ノ事ヲ畢テ詣ルベシ。我が娘ヲ縁ニ付テ後。我子ニ家督ヲ譲リテ後。入道シテ後ナド、言テ終ニ願ヲ果サス。其内ニハ死シテ悔メトモ甲斐ナキハ。今時ノ人ノ風俗ナルニ。此ノ童女ノ時刻ヲ移サズ。母ノ病愈ルト即チ參詣セシ。心ノ中思ヒヤラレテ殊勝ナリ。但シ躰ノ行跣ノ行ナド、云ハ佛法ニナキ事ナレトモ。吾朝ニ昔ヨリイヒナラハセル事ナレバ。善事カト思テ愚ナル人多ク誓フ事ナリ。然レトモ釋迦如來ノ因位ニモ法ノ為ニハ身ヲ

延寶年中ニ大坂何ノ町トカヤニ一人アリ。久シク病テ百療効ナカリケリ。其ノ子ニ童女アリ生年十四歳ナリ。天性至孝ニシテ正直柔和ナリ。本ヨリ八尾ノ地藏尊ヲ信ジケルマ、母ノ病ニ侍スル時ニモ偏ヘニ地藏尊ニ祈リ。願クハ此度母ノ病ヲ愈シ壽命ヲ延サセ玉ハ、我必ズ骸ニテ八尾ヘ參詣シ。御恩ヲ謝シ奉ルベシ。若又定業必死ノ病ナラバ。願クハ菩薩ノ大悲神力。我命ヲトリテ母ノ壽ヲ延カヘサセ玉ヘト。丹誠ヲ抽デ、誓ヒケル。誠ニ菩薩童女ガ祈念ヲ納受ヤシ玉ヒケン。程ナク母ノ病ヒ平愈シケリ。童女喜ビテ即チ正月十八日。餘寒猶甚シクテ指ヲ墮シ膚ヲ裂。冽風ニ赤裸ニテ八尾ヘ參リケリ。諸人怪ミテ意趣ヲ尋ヌルニ。上件ノ子細ナレバ聞人感涙ヲ落サズト云コトナシ。誠ニ地藏尊ノ内證ニ能ク叶フ故ナルベシ。況ヤ躰ニシテ苦

行ヲ忍ブヲヤ。今ノ人病苦甚ハダシキ時。或ハ横難ニ逢シ時ハ。心中ニ佛神ニ祈誓シテ。此病ヲ痊シ玉ハ、何ヲ供養ジ奉ルベシ。此難ヲ免レシメ玉ハ、幾度三十三所ヲ巡禮スベシ。四國ヲ巡禮スベシ。伊勢熊野ヘ參ルベシナド、誓ヒナガラ。病ヒ痊難除キテ後ハ。再ビ思モ出サズ。或ハ儻憶ヒ出セトモ來年詣ルベシ。此ノ事ヲ畢テ詣ルベシ。我が娘ヲ縁ニ付テ後。我子ニ家督ヲ譲リテ後。入道シテ後ナド、言テ終ニ願ヲ果サス。其内ニハ死シテ悔メトモ甲斐ナキハ。今時ノ人ノ風俗ナルニ。此ノ童女ノ時刻ヲ移サズ。母ノ病愈ルト即チ參詣セシ。心ノ中思ヒヤラレテ殊勝ナリ。但シ躰ノ行跣ノ行ナド、云ハ佛法ニナキ事ナレトモ。吾朝ニ昔ヨリイヒナラハセル事ナレバ。善事カト思テ愚ナル人多ク誓フ事ナリ。然レトモ釋迦如來ノ因位ニモ法ノ為ニハ身ヲ

火坑ニナゲ或ハ身ニ千燈ヲ然シ。千ノ釘ヲ打玉ヒシ事アリ。今ノ世ニ益ナキ事ニ思ヘ。苦行ヲモ能ク忍ビテ法ノ為ニシ下フハ。唯心ノ勇猛至誠ナルヲ表セリ。今ノ童女モ本ヨリ邪正ヲ分ツ程ノ智慧ナケレバ。驟ノ行ハ善事ナリトノミ思テ。寒風ニ能ク其ノ苦行ヲ忍ビシハ。至孝ノ作ス所。口至誠勇猛ノ善心ナリ。サレバ其心操ヲ取テ。其ノ行ヲ學ブベカラズ。

同寺看坊碩首座横死ヲ免ル、事

常光寺看坊ノ一代ニ碩首座ト云人アリ。本ハ西國ノ武士ナリシガ。因縁アリテ出家シ。久シク常光寺ニ住セリ。隨分ノ信者ニテ無欲慈忍ノ沙門ナリケリ。平生地藏尊ヲ信ジ奉リテ。我身世出世ノ事。皆ナ地藏尊ニ任セ奉ル由常ニモ口占マレケル。後ニ和州王子村達磨寺ノ看坊ト成テ往レ

ケリ。或時郡山ノ城主。本多内記殿。咬獵ニ出テ達磨寺ニ來リ。碩首座ト相語り。蓋ヲ傾ケテ舊キガ如シ。碩首座。富貴高官ノ人ニモ諂ラハズ。平坐シテ古今ノ談話セラレケレバ。逾本多氏ノ心ニモ叶ヒ。在城ノ時ハ一月二兩三度ハ。定メテ達磨寺ヘ來リテ。竟日談話セラレケル。大凡常ナリケリ。寛文ノ初達磨寺ノ伽子久三郎。博奕ノ負寺領ノ納金五兩ヲ掠メケルガ。事ノ露レニテ恐レテ圖ク。碩首座ヲ殺シ我罪ヲ碩首座ニ蒙ベシト。或日碩首座晨朝ニ起テ盥嗽セントセラレケル。久三後ヨリ來リテ斧ヲ以テ腰ヲ打ケレバ。八十ノ老僧ナレバ。即時ニ倒レテ絶入セラレタリ。其ノ時ニ久三思ハク。身中ニ金瘡アラバ。後ノ僉議ムツカシ。只繩ニテシメコロサンニハシカジト。即チ麻繩ヲ尋ネ出シ。頸ニ織ヒシメントセシニ。何チトモナク七八歳

火坑ニナゲ或ハ身ニ千燈ヲ然シ。千ノ釘ヲ打玉ヒシ事アリ。今ノ世ニ益ナキ事ニ思ヘトモ。苦行ヲモ能ク忍ビテ法ノ為ニシ下フハ。唯心ノ勇猛至誠ナルコトヲ表セリ。今ノ童女モ本ヨリ邪正ヲ分ツ程ノ智慧ナケレバ。驟ノ行ハ善事ナリトノミ思テ。寒風ニ能ク其ノ苦行ヲ忍ビシハ。至孝ノ作ス所。口至誠勇猛ノ善心ナリ。サレバ其心操ヲ取テ。其ノ行ヲ學ブベカラズ。

同寺看坊碩首座横死ヲ免ル、事

常光寺看坊ノ一代ニ碩首座ト云人アリ。本ハ西國ノ武士ナリシガ。因縁アリテ出家シ。久シク常光寺ニ住セリ。隨分ノ信者ニテ無欲慈忍ノ沙門ナリケリ。平生地藏尊ヲ信ジ奉リテ。我身世出世ノ事。皆ナ地藏尊ニ任セ奉ル由常ニモ口占マレケル。後ニ和州王子村達磨寺ノ看坊ト成テ往レ

ケリ。或時郡山ノ城主。本多内記殿咬獵ニ出テ達磨寺ニ來リ。碩首座ト相語り。蓋ヲ傾ケテ舊キガ如シ。碩首座。富貴高官ノ人ニモ諂ラハズ。平坐シテ古今ノ談話セラレケレバ。逾本多氏ノ心ニモ叶ヒ。在城ノ時ハ一月二兩三度ハ。定メテ達磨寺ヘ來リテ。竟日談話セラレケルコト大凡常ナリケリ。寛文ノ初達磨寺ノ伽子久三郎。博奕シテ負寺領ノ納金五兩ヲ掠メケルガ。事ノ露レニテ恐レテ圖ク。碩首座ヲ殺シ我罪ヲ碩首座ニ蒙ベシト。或日碩首座晨朝ニ起テ盥嗽セントセラレケル。久三後ヨリ來リテ斧ヲ以テ腰ヲ打ケレバ。八十ノ老僧ナレバ。即時ニ倒レテ絶入セラレタリ。其ノ時ニ久三思ハク。身中ニ金瘡アラバ。後ノ僉議ムツカシ。只繩ニテシメコロサンニハシカジト。即チ麻繩ヲ尋ネ出シ。頸ニ織ヒシメントセシニ。何チトモナク七八歳

③本12オ

③本11ウ

可ナ小僧ノ高貴キガ来リテ。手ヲ取り足ヲトリ繩ヲ解テ。縊リコソコトヲ得ズ。叱リテ追ニ寺ノ香積ヘ行ト見ヘテ消失ス。又縊ラントスレバ忽ニ先ノ小僧来リテ障トナリ半時バカリモ隙ヲ入レケル處ニ。門外ニ衆人ノ聲シテ内記殿入来ニテ候ト白シケレバ。久三狼狽ノ寺ノ後圃ノ藪ノ藩ヲ潛リ堀ヲ踰テ逃ケリ。武士ドモ寺中ニ入テ碩首座ヲ尋ヌルニ。繩ヲ以テ縊ラントセシ消息。斧ニテ腰ヲ打シ斧痕血ノ出タルアリ。コハイカニ盜賊ノ入タルニヤト。久三ヲ尋ヌルニ。見ヘズ。後圃ノ藪藩ヲ潛リテ逃シ跡アリケレバ。内記殿入り来リテ先ツ氣付ノ神藥ヲ碩首座ニアタヘ服セシメ。武士及ビ中間百姓等ニ仰セテ久三郎ヲ追シムルニ。國分ニテ捕ヘ歸リケリ。サテ碩首座ヲ内記殿ヨリ。外科及ビ醫師ニ命メ療治サセ玉ヘバ。程ナク瘡モ瘰

可ナル小僧ノ高貴キガ来リテ。手ヲ取り足ヲトリ繩ヲ解シテ。縊リコソコトヲ得ズ。叱リテ追ニ寺ノ香積ヘ行ト見ヘテ消失ス。又縊ラントスレバ忽ニ先ノ小僧来リテ障トナリ半時バカリモ隙ヲ入レケル處ニ。門外ニ衆人ノ聲シテ内記殿入来ニテ候ト白シケレバ。久三狼狽ノ寺ノ後圃ノ藪ノ藩ヲ潛リ堀ヲ踰テ逃ケリ。武士ドモ寺中ニ入テ碩首座ヲ尋ヌルニ。繩ヲ以テ縊ラントセシ消息。斧ニテ腰ヲ打シ斧痕血ノ出タルアリ。コハイカニ盜賊ノ入タルニヤト。久三ヲ尋ヌルニ。見ヘズ。後圃ノ藪藩ヲ潛リテ逃シ跡アリケレバ。内記殿入り来リテ先ツ氣付ノ神藥ヲ碩首座ニアタヘ服セシメ。武士及ビ中間百姓等ニ仰セテ久三郎ヲ追シムルニ。國分ニテ捕ヘ歸リケリ。サテ碩首座ヲ内記殿ヨリ。外科及ビ醫師ニ命メ療治サセ玉ヘバ。程ナク瘡モ瘰

ケリ。久三ヲ禁獄ノ鞫問ケレバ。上件ノ趣キ有ノマ、ニ白狀シケリ。此者ハ後ニ南都ニテ刑セラレ磔トナレリ。碩首座ハ河内久寶寺ノ安井氏ト舊知ナリケレバ。來リテ此ノ事ノ始末ヲ具ニ語リ。此モ偏ニ地藏尊ノ加被力ナリト歡喜ノ袖ヲ濡ラサレケリ。寔ニ時コソアレ諸侯ノ來レル時ニ當リ。又地藏尊小僧ノ身ヲ現ジ來ラセ玉ヒテ難ヲ救ヒ玉フ事。希有奇特ノ利益末世トイヘテアリカタキ靈應ナリ。安井氏ハ予ガ知己ナレバ。面會此ノ事ヲ聞ルマ、具サニ書付侍ルナリ。又頃載地藏尊ノ靈驗。多ク利益記利益集等ニ記シテ世ニ行ナルトイヘトモ。何ナル故ニヤ八尾ノ地藏尊ハ。木ノ下。矢田。壬生ノ尊ニモ劣ラザル靈像ナガラ。世ニ人ノ知ラザルコトヲ恨ミ。結縁ノ普ネカラザルコトヲ歎キテ。辛未ノ十一月十日ニ八尾ヘ詣テ。具サニ

ケリ。久三ヲ禁獄シテ鞫問ケレバ。上件ノ趣キ有ノマ、ニ白狀シケリ。此者ハ後ニ南都ニテ刑セラレ磔トナレリ。碩首座ハ河内久寶寺ノ安井氏ト舊知ナリケレバ。來リテ此ノ事ノ始末ヲ具ニ語リ。此モ偏ニ地藏尊ノ加被力ナリト歡喜ノ袖ヲ濡ラサレケリ。寔ニ時コソアレ諸侯ノ來レル時ニ當リ。又地藏尊小僧ノ身ヲ現ジ來ラセ玉ヒテ難ヲ救ヒ玉フ事。希有奇特ノ利益末世トイヘトモアリカタキ靈應ナリ。安井氏ハ予ガ知己ナレバ。面會此ノ事ヲ聞ルマ、具サニ書付侍ルナリ。又頃載地藏尊ノ靈驗。多ク利益記利益集等ニ記シテ世ニ行ナルトイヘトモ。何ナル故ニヤ八尾ノ地藏尊ハ。木ノ下。矢田。壬生ノ尊ニモ劣ラザル靈像ナガラ。世ニ人ノ知ラザルコトヲ恨ミ。結縁ノ普ネカラザルコトヲ歎キテ。辛未ノ十一月十日ニ八尾ヘ詣テ。具サニ

縁起ヲ拜見シ。寺僧ノ口説及ビ安井氏ノ説ヲ聞テ。粗記
スルコト件ノゴトシ。又五郎太夫一百餘條ノ靈驗。今ノ世ニ傳
ハラザルコト千恨万憾ナリ。若シ後ノ人蠹編斷簡ノ中ニモ。此
ヲ得バ請梓行シテ世ニ傳ヘヨ

大坂安道寺町油灌ノ地藏ノ事

浪華ノ邑安道寺町。一町目筋ノ四辻ニ地藏尊ノ石像アリ。
何レノ代ヨリアリトイフコトヲシラズ。人馬ノ塵ニマミレ。狗鶏ノ
屎尿ニ汚レ玉ヘリ。或ハ騾子ナド馬ノ沓ヲ挂タリ。若人病ア
レハ此ノ石像ニ祈リテ油ヲ灌奉ルベシ。病ヲ愈シ玉ヘトイヘバ。
即時ニ平復スルコト神ノ如シ。衆人ヒタスラニ油ヲ灌ケルマ、
色黒ク汚レ玉ヒケリ。俗此ヲ油灌ノ地藏ト号シ奉ル。近比
堂ヲ建テ安置シ奉ルベシトテ。近處ノ人々議シケレトモ。四衢

道中ニテ普チ利益ヲ施シ玉フ本誓タルニヤ。種々ニ障ア
リテ成就セズナリス。瓦屋ノ淨信叟ハ名實相稱ヒタル。淨信
決定ノ人ナリ。此地藏ノ靈像ナガラ。路邊ニ塵ニマミレ玉フコトヲ
歎キ。其ノ町ノ宿老ニ語リテ迎ヘトリ奉リ。我宅ノ前栽ニ
瓦葺ノ小堂ヲ造シテ安置シ奉レリ。サレバ尊像ハ淨所ニ移リ
玉ヘトモ。諸人自由ニ結縁スルコトアタハザレバ。地藏ノ御意ニモ
叶ハザリケン種々ノ災殃アリ。又淨信ノ銀鹿ガ夢ニ。我ヲ
早く本ノ所ヘ送り歸セト御告アリ。此ニ驚キテ忽ギ初ノ
所ヘ送り奉ルニ。初メ迎ヘシ時八十餘人シテ擔ヒシニ送り奉
ル時ハ僅ニ三三人ニテ輕々ト昇擡ケリ。諸人一同ニ驚歎セ
ズトイフコトナシ。又大坂ノ風俗七月二十四日ニハ地藏祭ト
号シテ。童男童女集リ飲食菓子糍粩ナドヲ以テ。彼ノ油灌

縁起ヲ拜見シ。寺僧ノ口説及ビ安井氏ノ説ヲ聞テ。粗記
スルコト件ノゴトシ。又五郎太夫一百餘條ノ靈驗。今ノ世ニ傳
ハラザルコト千恨万憾ナリ。若シ後ノ人蠹編斷簡ノ中ニモ。此
ヲ得バ請梓行シテ世ニ傳ヘヨ

大坂安道寺町油灌ノ地藏ノ事

浪華ノ邑安道寺町。一町目筋ノ四辻ニ地藏尊ノ石像アリ。
何レノ代ヨリアリトイフコトヲシラズ。人馬ノ塵ニマミレ。狗鶏ノ
屎尿ニ汚レ玉ヘリ。或ハ騾子ナド馬ノ沓ヲ挂タリ。若人病ア
レハ此ノ石像ニ祈リテ油ヲ灌奉ルベシ。病ヲ愈シ玉ヘトイヘバ。
即時ニ平復スルコト神ノ如シ。衆人ヒタスラニ油ヲ灌ケルマ、
色黒ク汚レ玉ヒケリ。俗此ヲ油灌ノ地藏ト号シ奉ル。近比
堂ヲ建テ安置シ奉ルベシトテ。近處ノ人々議シケレトモ。四衢

道中ニテ普チ利益ヲ施シ玉フ本誓タルニヤ。種々ニ障ア
リテ成就セズナリス。瓦屋ノ淨信叟ハ名實相稱ヒタル。淨信
決定ノ人ナリ。此地藏ノ靈像ナガラ。路邊ニ塵ニマミレ玉フコトヲ
歎キ。其ノ町ノ宿老ニ語リテ迎ヘトリ奉リ。我宅ノ前栽ニ
瓦葺ノ小堂ヲ造シテ安置シ奉レリ。サレバ尊像ハ淨所ニ移リ
玉ヘトモ。諸人自由ニ結縁スルコトアタハザレバ。地藏ノ御意ニモ
叶ハザリケン種々ノ災殃アリ。又淨信ノ銀鹿ガ夢ニ。我ヲ
早く本ノ所ヘ送り歸セト御告アリ。此ニ驚キテ忽ギ初ノ
所ヘ送り奉ルニ。初メ迎ヘシ時八十餘人シテ擔ヒシニ送り奉
ル時ハ僅ニ三三人ニテ輕々ト昇擡ケリ。諸人一同ニ驚歎セ
ズトイフコトナシ。又大坂ノ風俗七月二十四日ニハ地藏祭ト
号シテ。童男童女集リ飲食菓子糍粩ナドヲ以テ。彼ノ油灌

ノ地藏ノ前ニテ供養シ上ル。又餘ノ町ニハ各四辻ニ出テ夥シク供具ヲ儲供養シ上ル。或年餘リ大勢羣リ聚リテ喧嘩アリシカバ。奉行ヨリ制セラレテ。今ハ事隱便ニナレリ。サレモ毎年七月廿四日ニハ小兒ドモ各各ニ店ノ上或ハ座敷ニテ。小像ノ觀音ニテモ。或ハ餘尊ニテモ。土作ノ佛像ニシテ。人形ニマレ。皆コレヲ地藏尊ト号シテ供養ジタテマツル。貧兒ハ地藏ノ勸進トテ門々ヲ巡リテ。錢米等ヲ乞ヒ祭リ奉ル。此モ地藏尊利生ノ百千ノ中ノ一ナリ。法花ニハ乃至童子戲聚沙為佛塔如是諸人等皆已成佛道トモ説ケリ。今ハ現ニ地藏ノ尊像ニ對シテ供養シ奉ル。凡ソ戲レニ似タリトイヘトモ。中ニハ又正真ノ供養モアリヌベシ。未來ノ得脱タノモシキコトナリ。

大坂天王寺西門通地藏尊利益ノ事
天王寺西門スチニ四尺餘ノ石地藏アリ。誰人ノ造立安置セリト云フヲシラス。一人ノ信士アリ。一間半四方ノ瓦葺ノ小堂ヲ造シテ安シ奉レリ。彼ノ信士四十餘ノ時俄ニ死ス。一日ヲ經テ又蘇テ曰ク。二人ノ大ナル男來テ我ヲ引立テ、行恐ロシト云ハカリナシ。我心中ニ誰人カ我ヲ助ケテ此ノ苦ヲ救ハントオモフニ。忽ニ彼ノ石地藏走り來リ玉ヒテ我手ヲ取テ我ヲ背ニ負ヒ。二人ノ男ヲ追ヒ拂ヒ歸ヘラセ玉フト等シク甦生セリ。此偏ニ地藏尊ノ御利生ナリト喜ケリ。サテ地藏尊ノ取玉ヘル手。十日程ノ間異香薰シテ止ザリケリ。其ヨリマス〜寶号ヲ唱ヘテ信人トナレリトゾ。コレ無下ニ近キ貞享年中ノ事ナリ。

ノ地藏ノ前ニテ供養シ上ル。又餘ノ町ニハ各四辻ニ出テ夥シク供具ヲ儲供養シ上ル。或年餘リ大勢羣リ聚リテ喧嘩アリシカバ。奉行ヨリ制セラレテ。今ハ事隱便ニナレリ。サレトモ毎年七月廿四日ニハ小兒ドモ各各ニ店ノ上或ハ座敷ニテ。小像ノ觀音ニテモ。或ハ餘尊ニテモ。土作ノ佛像ニマレ。人形ニマレ。皆コレヲ地藏尊ト号シテ供養ジタテマツル。貧兒ハ地藏ノ勸進トテ門々ヲ巡リテ。錢米等ヲ乞ヒ祭リ奉ル。此モ地藏尊利生ノ百千ノ中ノ一ナリ。法花ニハ乃至童子戲聚沙為佛塔如是諸人等皆已成佛道トモ説ケリ。今ハ現ニ地藏ノ尊像ニ對シテ供養シ奉ル。凡ソ戲レニ似タリトイヘトモ。中ニハ又正真ノ供養モアリヌベシ。未來ノ得脱タノモシキコトナリ。

大坂天王寺西門通地藏尊利益ノ事
天王寺西門スチニ四尺餘ノ石地藏アリ。誰人ノ造立安置セリト云コトヲシラス。一人ノ信士アリ。一間半四方ノ瓦葺ノ小堂ヲ造シテ安シ奉レリ。彼ノ信士四十餘ノ時俄ニ死ス。一日ヲ經テ又蘇テ曰ク。二人ノ大ナル男來テ我ヲ引立テ、行恐ロシト云ハカリナシ。我心中ニ誰人カ我ヲ助ケテ此ノ苦ヲ救ハントオモフニ。忽ニ彼ノ石地藏走り來リ玉ヒテ我手ヲ取テ我ヲ背ニ負ヒ。二人ノ男ヲ追ヒ拂ヒ歸ヘラセ玉フト等シク甦生セリ。此偏ニ地藏尊ノ御利生ナリト喜ケリ。サテ地藏尊ノ取玉ヘル手。十日程ノ間異香薰シテ止ザリケリ。其ヨリマス〜寶号ヲ唱ヘテ信人トナレリトゾ。コレ無下ニ近キ貞享年中ノ事ナリ。

和泉寶滿寺地藏尊ノ事

泉州泉郡。吾孫子郷。豐中村寶滿寺ノ地藏尊ハ御長一尺二寸ノ尊像ナリ。何ノ代誰人ノ作ト云フヲシラス。世ニ子安ノ地藏ト号シ奉ル。往昔ハ大伽藍アリテ靈驗殊ニ揭焉ナリ。慶長ノ末ノ亂ニ伴野段右衛門ト云者紀州勢ヲ禦シガ為ニ向ヒケルガ此ノ邊ノ民屋伽藍一宇モ殘サス燒却シヌ。嗚呼寶滿寺モ佛殿僧坊剎那ニ灰塵トナレリ。万人悲泣シテ我が舍宅ノ燒亡セルコトヲ顧ミズ。偏ヘニ靈像ノ失セ玉ヒヌランコトヲ歎キケリ。寺前ニ放生池アリ翌日風モナキニ波立コト常ナラス。或人怪ミ入りテ見ルニ尊像池中ニマシクケリ。諸人歡喜シテ小堂ヲ造シ安置シ奉レリ。シカツヨリ今ニ靈驗アラタナリ。夜々光明ヲ放チ玉フコトアリ。有信ノ人ハ此ヲ

和泉寶滿寺地藏尊ノ事

泉州泉郡。吾孫子郷。豐中村寶滿寺ノ地藏尊ハ御長一尺二寸ノ尊像ナリ。何ノ代誰人ノ作ト云コトヲシラス。世ニ子安ノ地藏ト号シ奉ル。往昔ハ大伽藍アリテ靈驗殊ニ揭焉ナリ。慶長ノ末ノ亂ニ伴野段右衛門ト云者紀州勢ヲ禦シガ為ニ向ヒケルガ此ノ邊ノ民屋伽藍一宇モ殘サス燒却シヌ。嗚呼寶滿寺モ佛殿僧坊剎那ニ灰塵トナレリ。万人悲泣シテ我が舍宅ノ燒亡セルコトヲ顧ミズ。偏ヘニ靈像ノ失セ玉ヒヌランコトヲ歎キケリ。寺前ニ放生池アリ翌日風モナキニ波立コト常ナラス。或人怪ミ入りテ見ルニ尊像池中ニマシクケリ。諸人歡喜シテ小堂ヲ造シ安置シ奉レリ。シカツヨリ今ニ靈驗アラタナリ。夜々光明ヲ放チ玉フコトアリ。有信ノ人ハ此ヲ

拜見セリ。現ニ拜シタル者數十人ナルベシ。或ハ安産ヲ祈リ。或ハ除病攘災ヲ祈ルニ求願ヲ滿ズルコト如意珠ノゴトシ。審滿寺ノ稱宗ニ空シカラザルヤ。彼ノ放生池今ニアリ。俗此ラ地藏ノ淵ト号ス。又段右衛門ハ次ノ日ニ討レタリ。紀州ノ武士ニ龜田大隅ト云者アリ。太閤ノ時ニ高麗ヘモ入りテ比類ナキハタラキセル大剛ノ者ナリ。大隅伴野ニ渡シ逢テ組既ニアヤウカリシヲ。伽藍ヲ燒シ罰ニヤアリケン。上田宗古ト云者ツゞキ來テ伴野ガ首ヲ討取りケリ。後ニ大隅宗古ニ人ハタラキノ勝劣ヲ論ジケルトカヤ。國治テ後横田源兵衛ト云者。伽藍ノ地ヲ開キテ田ツクラント思ヒ。鋤ヲ下シケレバ。忽ニ目クラミ一時バカリテ即チ死シヌ。罰利生攝取抑止ノ二門相ヒハナレズシテ利益ヲ施シ玉フコト實ニ貴ヒカキ。抑子安ノ地藏

拜見セリ。現ニ拜シタル者數十人ナルベシ。或ハ安産ヲ祈リ。或ハ除病攘災ヲ祈ルニ求願ヲ滿ズルコト如意珠ノゴトシ。審滿寺ノ稱宗ニ空シカラザルヤ。彼ノ放生池今ニアリ。俗此ラ地藏ノ淵ト号ス。又段右衛門ハ次ノ日ニ討レタリ。紀州ノ武士ニ龜田大隅ト云者アリ。太閤ノ時ニ高麗ヘモ入りテ比類ナキハタラキセル大剛ノ者ナリ。大隅伴野ニ渡シ逢テ組既ニアヤウカリシヲ。伽藍ヲ燒シ罰ニヤアリケン。上田宗古ト云者ツゞキ來テ伴野ガ首ヲ討取りケリ。後ニ大隅宗古ニ人ハタラキノ勝劣ヲ論ジケルトカヤ。國治テ後横田源兵衛ト云者。伽藍ノ地ヲ開キテ田ツクラント思ヒ。鋤ヲ下シケレバ。忽ニ目クラミ一時バカリニシテ即チ死シヌ。罰利生攝取抑止ノ二門相ヒハナレズシテ利益ヲ施シ玉フコト實ニ貴ヒカキ。抑子安ノ地藏

ト号ニ奉ル。安産ヲ祈レバ難ナキガユヘナリ。且ツ此尊ハ本
一子ノ為ニ生死ニ入り今此ノ吾孫子ノ郷ニアトヲタル。安産
ノ利益亦宜ナラズヤ。弘誓甚深ノ海ハ奥津ノ海モ磯ゾカシ。
聞提救世ノ方便ハ不盡ヨリモ猶高石ノ濱ノ眞砂モ喩トス
ルニタラズ。況ヤ經中ニ堅牢善女及ビ主命鬼王ノ誓約アル
ヲヤ。

洛陽ノ繪師中西氏カ父地藏尊ノ加被ヲ蒙リテ往生ノ事
京麴屋町通松原上ル町ニ。中西善之丞ト云繪師アリ。近代
隨分ノ上手ナリ。且信アリテ當時ノ名徳ニ見ヘケリ。其ノ父ヲ
中西善右衛門ト云。此者心善直信ヲ柔和温順ナリ。淨土宗
ニテ若年ヨリ名アル僧ニハ自他宗ヲ簡ハス必ズ歸依シケリ。已ニ
半百ノ齡ヒモ過ケレバ。朝露電光ノ世ヲ悟リ。元祿二年ニ剃髮シ

テ圓室休西ト号ス。ソレヨリ三十三所ヲ巡禮シ。歸リテ後福王
寺ノ慈門和尚ヨリ念佛ノ日課ヲ受テ日夜ニ怠ルコトナシ。同
四年五月ノ末ヨリ少シ心地例ナラズアリケルガ。次第ニ衰ヘ
テアタシ野ノ露ト消ナシ。今日ニヤ明日ニヤト待バカリナリ。
休西イヨク今般ハ命ヲ延ベカラザルコトヲ知りテ八月朔ニ孫
ヲ連テ生土明神ヘ暇乞ノ為ニテ詣リ。偏ニ臨終正念往
生極樂ノ事ヲ祈リケリ。同シク六日ヨリ所勞重クナリテ床
ニ著キ卧シケリ。子善之丞種々ニ藥餌ヲ進ムトイヘトモ。休西ハ
唯十二棘園ノ劇苦ヲ厭ヒテ少モ此世ニ存命ント云心ナク。偏ヘ
ニ九品蓮臺ノ妙樂ヲ欣ツテ早く彼ノ國ニ往生セント喜ビケリ。
九月朔日ニナリヌレバ九ノ數ハ九品往生ノ願便アリトテ。一日
ヨリ臨終ノ用意ノ同シク三日ニ光明真言加持ノ土砂ヲ頂戴

ト号シ奉ルコト。安産ヲ祈レバ難ナキガユヘナリ。且ツ此尊ハ本
一子ノ為ニ生死ニ入り今此ノ吾孫子ノ郷ニアトヲタル。安産
ノ利益亦宜ナラズヤ。弘誓甚深ノ海ハ奥津ノ海モ磯ゾカシ。
聞提救世ノ方便ハ不盡ヨリモ猶高石ノ濱ノ眞砂モ喩トス
ルニタラズ。況ヤ經中ニ堅牢善女及ビ主命鬼王ノ誓約アル
ヲヤ。

洛陽ノ繪師中西氏カ父地藏尊ノ加被ヲ蒙リテ往生ノ事
京麴屋町通松原上ル町ニ。中西善之丞ト云繪師アリ。近代
隨分ノ上手ナリ。且信アリテ當時ノ名徳ニ見ヘケリ。其ノ父ヲ
中西善右衛門ト云。此者心善直信ニシテ柔和温順ナリ。淨土宗
ニテ若年ヨリ名アル僧ニハ自他宗ヲ簡ハス必ズ歸依シケリ。已ニ
半百ノ齡ヒモ過ケレバ。朝露電光ノ世ヲ悟リ。元祿二年ニ剃髮シ

テ圓室休西ト号ス。ソレヨリ三十三所ヲ巡禮シ。歸リテ後福王
寺ノ慈門和尚ヨリ念佛ノ日課ヲ受テ日夜ニ怠ルコトナシ。同
四年五月ノ末ヨリ少シ心地例ナラズアリケルガ。次第ニ衰ヘ
テアダシ野ノ露ト消ナシ。今日ニヤ明日ニヤト待バカリナリ。
休西イヨク今般ハ命ヲ延ベカラザルコトヲ知りテ八月朔ニ孫
ヲ連テ生土明神ヘ暇乞ノ為ニテ詣リ。偏ニ臨終正念往
生極樂ノ事ヲ祈リケリ。同シク六日ヨリ所勞重クナリテ床
ニ著キ卧シケリ。子善之丞種々ニ藥餌ヲ進ムトイヘトモ。休西ハ
唯十二棘園ノ劇苦ヲ厭ヒテ少モ此世ニ存命ント云心ナク。偏ヘ
ニ九品蓮臺ノ妙樂ヲ欣ツテ早く彼ノ國ニ往生セント喜ビケリ。
九月朔日ニナリヌレバ九ノ數ハ九品往生ノ願便アリトテ。一日
ヨリ臨終ノ用意シテ同シク三日ニ光明真言加持ノ土砂ヲ頂戴

シケリ。此ノ土砂ハ江府湯島ノ靈雲寺老和尚ノ數度加持シ玉ヘルナリトテ。值遇ノ想ヲナセリ。同シク五日ノ朝。曹子善之丞ニ語ラク。吾カ臨終ハ弥近シ。四五日ノ内ナルベシ。イヨク左様ニ心得ヨ。恩愛深シトイヘトモ一度ハ必ず相ヒ離ルベシ。悲泣スルコトナカレ。唯俱ニ念佛シテ往生ノ業ヲ助ケヨ。世間ノ雜事ヲ以テ正念ヲ亂ルコトナカレト。曹子ハ此ヲ聞テ絶入ル心地シテ悲シキレド。孝養ノ志シ深クテ。面ニハ父ノ命ニ順ストイヘトモ。背カニ佛神ニ祈リテ今般ノ壽ヲ延タマヘト願ヒ。名醫ヲ迎ヘテ種々ニ藥餌ヲ進メケリ。同日ノ午ヨリ次第ニ氣力衰ヘケリ。六日ニ或比丘僧料ラザルニ來リ玉ヘハ。休西喜ビテ即チ五戒ヲ受ク。尚三拜等ヲモ作セリ。若ハ出家若ハ在家ノ病ヲ問ニ來ル人アレバ。皆合掌シテ十念ヲ請受ケリ。九月朔日ノ夜夢ニ。王宮ノ如キ所ニ

シケリ。此ノ土砂ハ江府湯島ノ靈雲寺老和尚ノ數度加持シ玉ヘルナリトテ。值遇ノ想ヲナセリ。同シク五日ノ朝。曹子善之丞ニ語ラク。吾カ臨終ハ弥近シ。四五日ノ内ナルベシ。イヨク左様ニ心得ヨ。恩愛深シトイヘトモ一度ハ必ず相ヒ離ルベシ。悲泣スルコトナカレ。唯俱ニ念佛シテ往生ノ業ヲ助ケヨ。世間ノ雜事ヲ以テ正念ヲ亂ルコトナカレト。曹子ハ此ヲ聞テ絶入ル心地シテ悲シキレド。孝養ノ志シ深クテ。面ニハ父ノ命ニ順ストイヘトモ。背カニ佛神ニ祈リテ今般ノ壽ヲ延タマヘト願ヒ。名醫ヲ迎ヘテ種々ニ藥餌ヲ進メケリ。同日ノ午ヨリ次第ニ氣力衰ヘケリ。六日ニ或比丘僧料ラザルニ來リ玉ヘハ。休西喜ビテ即チ五戒ヲ受ク。尚三拜等ヲモ作セリ。若ハ出家若ハ在家ノ病ヲ問ニ來ル人アレバ。皆合掌シテ十念ヲ請受ケリ。九月朔日ノ夜夢ニ。王宮ノ如キ所ニ

至リ中ニ入りシカバ。諸佛菩薩羅列シ玉ヘリ。此ゾ淨土ナラント私カニ喜ビケリ。同七日ノ夜丑ノ時ニ繪像ニモアラズ木像ニモアラズ。霧ノ如ク煙ノ如クニシテ地藏菩薩東南方ヨリ來リ休西ニ立向ヒ玉ヘリ。休西歡喜ノ淚禁アヘズ。一心ニ寶号ヲ唱ヘケリ。又同夜寅ノ刻ニ五尺有餘ノ地藏尊現ジ玉ヲ拜ミテ往生疑ヒナシト悦ビ。イヨク勇ミテ念佛セシマ。八日ニハ却テ氣モ爽カニナリケリ。兼テヨリ。一間ヲ清淨ニ掃除シ。阿弥陀ノ三尊ヲ挂奉レリ。不動尊。地藏尊。紅顏黎色ノ弥陀。其ノ外繪師ナレバ所有ノ繪像ヲ懸テ。二十五ノ菩薩アル臨終ノ屏風ヲ立テ。香ヲ燒キ花ヲ供シ。燈明ヲ挑ゲテ念佛怠ラザリケリ。八日ノ申ノ刻ニ曹子一人傍ニアリシニ休西語テ曰ク。臨終前ノ念佛ハ三石六斗目スルト兼テ聞ケリ。我が今ノ念佛ハ一遍唱ルモ甚

至リ中ニ入りシカバ。諸佛菩薩羅列シ玉ヘリ。此ゾ淨土ナラント私カニ喜ビケリ。同七日ノ夜丑ノ時ニ繪像ニモアラズ木像ニモアラズ。霧ノ如ク煙ノ如クニシテ地藏菩薩。東南方ヨリ來リ休西ニ立向ヒ玉ヘリ。休西歡喜ノ淚禁アヘズ。一心ニ寶号ヲ唱ヘケリ。又同夜寅ノ刻ニ五尺有餘ノ地藏尊現ジ玉ヲ拜ミテ往生疑ヒナシト悦ビ。イヨク勇ミテ念佛セシマ。八日ニハ却テ氣モ爽カニナリケリ。兼テヨリ。一間ヲ清淨ニ掃除シ。阿弥陀ノ三尊ヲ挂奉レリ。不動尊。地藏尊。紅顏黎色ノ弥陀。其ノ外繪師ナレバ所有ノ繪像ヲ懸テ。二十五ノ菩薩アル臨終ノ屏風ヲ立テ。香ヲ燒キ花ヲ供シ。燈明ヲ挑ゲテ念佛怠ラザリケリ。八日ノ申ノ刻ニ曹子一人傍ニアリシニ休西語テ曰ク。臨終前ノ念佛ハ三石六斗目スルト兼テ聞ケリ。我が今ノ念佛ハ一遍唱ルモ甚

ハダ太儀ナリ。我が死モ今夜ノ内ヲイデジト。然ル處へ休西ガ
舊知ナリシ僧。二十年モ相見セザルガ。洛西ノ槇尾山寺ヨリ
來ラレシマ。休西悦ビテ即チ此ノ僧ヲ臨終ノ善知識ト頼ミ
テ。倍怠ラズ念佛シケリ。八日ノ夜亥ノ刻ニ正シク阿彌陀
如來諸菩薩トトモニ來迎シ玉ヒ。光明赫奕トシテ十方ヲ照シ
玉フヲ拜ス。休西高聲ニ念佛シテ善之丞ニ告テ曰ク。今如來
來迎シ玉ヒテ光明赫奕タリ。蠟燭ノ火ヲ消セ汝等皆拜メ
トテ。イヨク高聲ニ念佛セシガ。聲次第ニ靜ニナリテ頭北面
西ニ眠ルガ如クニ往生シケリ。サテ餘人ハ業障ノ雲厚ク蔽フ
ガ故ニ。來迎ヲ拜見スルコトアタハザリケリ。臨終ノ後法ニ任セテ
廿四時置テ。彼ノ僧ヲ頼ミテ讀經誦咒怠ラズ回向シケリ。九
日ニ宇治ノ比丘僧來リ玉ヒシマ。善之丞亡父ニ代リテ歸戒

ヲ受ケ。大衣ヲ借りテ死骸ノ上ニ覆ヘリ。六日ノ夜モ臨終ノ
為ニ同行ノ信士ヲ誘ヒテ百万遍ノ念佛ヲ唱ヘ。九日ノ夜モ
同シク百万遍ヲ唱ヘテ追福シケリ。近代希有ナル臨終ナ
リ。是モ偏ヘニ地藏尊ノ加被力ナリ。中西氏平生地藏尊
ヲ信シテ印版トナシ。有信ノ人ニハ施シケリ。此等ノ功積リテ
コソ。地藏尊ノ無邊身ヲ拜シ奉リ。如來ノ來迎ニモ預カレリ。
中西氏父子ハ予ガ知己ナレバ面會リ此ノ事ヲ聞テ書付侍
ルナリ

臨終用心ノ事

問中西氏臨終ニ種々ノ繪像ヲ懸ルコト是ナリトヤセン將爲
非ナルカ。且ツ臨終ハ一期ノ大要ナリ。如何ガ用心スベキヤ。答臨
終ニ佛菩薩ノ形像ヲ懸ルコト其理然ナリ。本穢土ヲ厭ヒ淨

臨終用心ノ事

ハダ太儀ナリ。我が死モ今夜ノ内ヲイデジト。然ル處へ休西ガ
舊知ナリシ僧。二十年モ相見セザルガ。洛西ノ槇尾山寺ヨリ
來ラレシマ。休西悦ビテ即チ此ノ僧ヲ臨終ノ善知識ト頼ミ
テ。倍怠ラズ念佛シケリ。八日ノ夜亥ノ刻ニ正シク阿彌陀
如來諸菩薩トトモニ來迎シ玉ヒ。光明赫奕トシテ十方ヲ照シ
玉フヲ拜ス。休西高聲ニ念佛シテ善之丞ニ告テ曰ク。今如來
來迎シ玉ヒテ光明赫奕タリ。蠟燭ノ火ヲ消セ汝等皆拜メ
トテ。イヨク高聲ニ念佛セシガ。聲次第ニ靜ニナリテ頭北面
西ニシテ眠ルガ如クニ往生シケリ。サテ餘人ハ業障ノ雲厚ク蔽フ
ガ故ニ。來迎ヲ拜見スルコトアタハザリケリ。臨終ノ後法ニ任セテ
廿四時置テ。彼ノ僧ヲ頼ミテ讀經誦咒怠ラズ回向シケリ。九
日ニ宇治ノ比丘僧來リ玉ヒシマ。善之丞亡父ニ代リテ歸戒

ヲ受ケ。大衣ヲ借りテ死骸ノ上ニ覆ヘリ。六日ノ夜モ臨終ノ
為ニ同行ノ信士ヲ誘ヒテ百万遍ノ念佛ヲ唱ヘ。九日ノ夜モ
同シク百万遍ヲ唱ヘテ追福シケリ。近代希有ナル臨終ナ
リ。是モ偏ヘニ地藏尊ノ加被力ナリ。中西氏平生地藏尊
ヲ信シテ印版トナシ。有信ノ人ニハ施シケリ。此等ノ功積リテ
コソ。地藏尊ノ無邊身ヲ拜シ奉リ。如來ノ來迎ニモ預カレリ。
中西氏父子ハ予ガ知己ナレバ面會リ此ノ事ヲ聞テ書付侍
ルナリ

臨終用心ノ事

問中西氏臨終ニ種々ノ繪像ヲ懸ルコト是ナリトヤセン將爲
非ナルカ。且ツ臨終ハ一期ノ大要ナリ。如何ガ用心スベキヤ。答臨
終ニ佛菩薩ノ形像ヲ懸ルコト其理然ナリ。本穢土ヲ厭ヒ淨

③本19オ

③本18ウ

土ニ生ジテ諸佛菩薩ト同會ニ處セント欲ス。故ニ平生恙ナキ時ニモ常恒ニ佛前ニ住シテ禮拜懺悔スベキナリ。況ヤ臨終ノ時ヲヤ。サレバ諸尊ヲ挂奉ルベシ。若シ所狹クバ我カ平生ノ本尊ノミヲ安ズベシ。又南山ノ行事抄ニ依ラバ天竺ノ祇洹精舎ニモ西北ノ隅。日光ノ没處ニ無常院ヲ造シテ。病人ノ必死ノ人ヲ此中ニ安置ス。堂ヲ無常堂ト号シテ。中ニ金色ノ阿弥陀佛ノ立像ヲ安ジ。面ヲ西ニ向フ。其像右ノ手ハ舉左ノ手ニハ五色ノ幡ヲ持シ玉フ。幡脚垂テ地ニ曳。病者ヲ安シテ佛ノ後ニ住セシメ。左ノ手ニ幡ノ脚ヲ執リ。佛ニ從テ淨土ニ往クノ意ヲ作シム。看病人諸ノ香ヲタキ名花ヲ散ジ。燈明ヲ供養シテ。諸ノ不淨臭氣ヲ除クトイヘリ。サレバ祇洹精舎既ニ阿弥陀佛ヲ安ゼリ。然ラハ臨終ニハ阿弥陀佛ヲ安ズベシ。

③本19ウ

若シ都率往生ヲ願フ人ナラバ。弥勒菩薩ノ像地藏菩薩。不動明王。及ビ弘法大師ヲ安ズベシ。淨土ヲ願フ人ナラバ。阿弥陀佛ノ三尊二十五ノ菩薩。及ビ不動明王。地藏菩薩等ヲ安ズベシ。不動地藏ハ内證阿弥陀佛ニ同ナルノミニアラズ。不動ハ大日如來ノ智慧ノ至極。忿怒ノ明王ヲ。四魔ヲ降伏シ玉フ抑止門ノ尊主ナリ。臨終ニハ死魔トテ無量ノ魔來テ。惡道ヘ引落サントスルガ故ニ降魔ノ為ニ安ズルナリ。又千犯不捨離ノ誓ヒ持戒破戒頼ミアリ。生々而加護ノ力ヲ有罪無罪ノ隔テナシ。慧心僧都ノ妹。安養ノ尼ノ靈應思ヒ合スベシ。又地藏菩薩ハ大日如來慈悲ノ至極ニシテ柔軟ノ相ヲ現シ玉フ。攝取門ノ尊主ナリ。況ヤ復佛切利天宮ニ於テ。娑婆世界ノ一切衆生ヲ地藏尊ニ付囑シテ。弥勒ノ出世ニ至ルマテ一

③本20オ

土ニ生ジテ諸佛菩薩ト同會ニ處セント欲ス。故ニ平生恙ナキ時ニモ常恒ニ佛前ニ住シテ禮拜懺悔スベキナリ。況ヤ臨終ノ時ヲヤ。サレバ諸尊ヲ挂奉ルベシ。若シ所狹クバ我カ平生ノ本尊ノミヲ安ズベシ。又南山ノ行事抄ニ依ラバ天竺ノ祇洹精舎ニモ西北ノ隅。日光ノ没處ニ無常院ヲ造シテ。病人ノ必死ノ人ヲ此中ニ安置ス。堂ヲ無常堂ト号シテ。中ニ金色ノ阿弥陀佛ノ立像ヲ安ジ。面ヲ西ニ向フ。其像右ノ手ハ舉左ノ手ニハ五色ノ幡ヲ持シ玉フ。幡脚垂テ地ニ曳。病者ヲ安シテ佛ノ後ニ住セシメ。左ノ手ニ幡ノ脚ヲ執リ。佛ニ從テ淨土ニ往クノ意ヲ作シム。看病人諸ノ香ヲタキ名花ヲ散ジ。燈明ヲ供養シテ。諸ノ不淨臭氣ヲ除クトイヘリ。サレバ祇洹精舎既ニ阿弥陀佛ヲ安ゼリ。然ラハ臨終ニハ阿弥陀佛ヲ安ズベシ。

若シ都率往生ヲ願フ人ナラバ。弥勒菩薩ノ像地藏菩薩。不動明王。及ビ弘法大師ヲ安ズベシ。淨土ヲ願フ人ナラバ。阿弥陀佛ノ三尊二十五ノ菩薩。及ビ不動明王。地藏菩薩等ヲ安ズベシ。不動地藏ハ内證阿弥陀佛ニ同ナルノミニアラズ。不動ハ大日如來ノ智慧ノ至極。忿怒ノ明王ヲ。四魔ヲ降伏シ玉フ抑止門ノ尊主ナリ。臨終ニハ死魔トテ無量ノ魔來テ。惡道ヘ引落サントスルガ故ニ降魔ノ為ニ安ズルナリ。又千犯不捨離ノ誓ヒ持戒破戒頼ミアリ。生々而加護ノ力ヲ有罪無罪ノ隔テナシ。慧心僧都ノ妹。安養ノ尼ノ靈應思ヒ合スベシ。又地藏菩薩ハ大日如來慈悲ノ至極ニシテ柔軟ノ相ヲ現シ玉フ。攝取門ノ尊主ナリ。況ヤ復佛切利天宮ニ於テ。娑婆世界ノ一切衆生ヲ地藏尊ニ付囑シテ。弥勒ノ出世ニ至ルマテ一

日一夜モ三惡道ニ墮セシムルコトナカレト救シ玉ヘリ。其時ニ地藏尊不以為慮ト云テ。付囑ヲ受玉ヒシヨリコノカタ。我等衆生ハ皆地藏尊ノ所化トシテ。身ヲ地藏尊ニ任セ奉ルナレバ。一日片時モ忘ルベカラズ。況ヤ臨終ノ時ニ此尊ヲ安ゼザランヤ。又本願經ノ説ニ依ルニ臨終ノ人ヲ攝取シ玉フ大悲本誓。此ノ菩薩ニシクハナシ。必ス安置シ寶号及ビ真言ヲ誦シテ往生淨土ヲ頼ミ奉ルベシ。サテ病人ノ屎尿吐唾アラバ。速ニ除去シテ名香ヲ燒キ。不淨ノ氣アラシムルコトナカレ。不淨ナレバ惡鬼便リヲ得。清淨ナレバ諸天影向スルガ故ナリ。次ニ臨終ノ用心ヲ具サニ明スニ二アリ。○初メニ病人ノ用心ヲイハバ。經中ノ所説ノ如ク。今此ノ娑婆世界ハ三毒十惡ノ煩惱ノ火熾リニ然テ。生老病死ノ苦シシ。怨憎會苦。愛別離苦。求不得苦。

日夜ニ身心ヲクルシムレバ一モ樂ムコトナシ。サレバ法花ニハ三界ヲ火宅ニ喩ヘ玉ヘリ。故ニ死シテ此ノ世ヲ去ルコトヲ少モ悲シマザレ。只死ヲ喜ブベシ。我早ク三界ノ火宅ヲイデ、安養淨土ニ往生シ。無生忍ヲ證シテ身ヲ百億ニ分チ。普ネク二十五有ノ中ニ入テ自在ニ受苦ノ衆生ヲ濟度スベシト喜ヒ願求スベシ。財害衣物等ノ人ニ譲リ與フベキ物ハ兼テ堅固ノ時ニ書置シテ。臨終ニ心ノ亂レヌ覺悟スベシ。世間ニ頓死多シ。出ル息入ル息待又世ノ中ナレバ。平生臨終ノ用心アルベシ。或武士七月ニ頓死セラレケリ。継子ナケレバ如何ト人怪ミケルヲバ。知己ノ人言ケルハ。彼人ハ平生能心得タル人ナリ。毎年正月四日ニ書置シテ其年一年養ヒ使フ奴婢マテニ遺物ヲセラルヨシ。兼テ聞リ。定メテ亂ル、コトアラジト。果シテ書置出デ、家

日一夜モ三惡道ニ墮セシムルコトナカレト救シ玉ヘリ。其時ニ地藏尊不以為慮ト云テ。付囑ヲ受玉ヒシヨリコノカタ。我等衆生ハ皆地藏尊ノ所化トシテ。身ヲ地藏尊ニ任セ奉ルナレバ。一日片時モ忘ルベカラズ。況ヤ臨終ノ時ニ此尊ヲ安ゼザランヤ。又本願經ノ説ニ依ルニ臨終ノ人ヲ攝取シ玉フ大悲本誓。此ノ菩薩ニシクハナシ。必ス安置シ寶号及ビ真言ヲ誦シテ往生淨土ヲ頼ミ奉ルベシ。サテ病人ノ屎尿吐唾アラバ。速ニ除去シテ名香ヲ燒キ。不淨ノ氣アラシムルコトナカレ。不淨ナレバ惡鬼便リヲ得。清淨ナレバ諸天影向スルガ故ナリ。次ニ臨終ノ用心ヲ具サニ明スニ二アリ。○初メニ病人ノ用心ヲイハバ。經中ノ所説ノ如ク。今此ノ娑婆世界ハ三毒十惡ノ煩惱ノ火熾リニ然テ。生老病死ノ苦シシ。怨憎會苦。愛別離苦。求不得苦。

日夜ニ身心ヲクルシムレバ一モ樂ムコトナシ。サレバ法花ニハ三界ヲ火宅ニ喩ヘ玉ヘリ。故ニ死シテ此ノ世ヲ去ルコトヲ少モ悲シマザレ。只死ヲ喜ブベシ。我早ク三界ノ火宅ヲイデ、安養淨土ニ往生シ。無生忍ヲ證シテ身ヲ百億ニ分チ。普ネク二十五有ノ中ニ入テ自在ニ受苦ノ衆生ヲ濟度スベシト喜ヒ願求スベシ。財害衣物等ノ人ニ譲リ與フベキ物ハ兼テ堅固ノ時ニ書置シテ。臨終ニ心ノ亂レヌ覺悟スベシ。世間ニ頓死多シ。出ル息入ル息待又世ノ中ナレバ。平生臨終ノ用心アルベシ。或武士七月ニ頓死セラレケリ。継子ナケレバ如何ト人怪ミケルヲバ。知己ノ人言ケルハ。彼人ハ平生能心得タル人ナリ。毎年正月四日ニ書置シテ其年一年養ヒ使フ奴婢マテニ遺物ヲセラルヨシ。兼テ聞リ。定メテ亂ル、コトアラジト。果シテ書置出デ、家

能ク治マレケリ。沙門ハ此ニ類スマジケレド。韓非子ニモ刺
削之道。鼻莫如大目。莫如小トイヘリ。此意ハ木像ヲ作ル
ニハ鼻ハ大ニ作り。目ハ小ニ作レト云コトナリ。如何トナレバ鼻ノ
大ナルハ何時削リテ小ニスルモヤスシ。小ナルヲ大ニセントスル時
ハ。木ヲ加ヘザレバナラザルガ故ナリ。目ノ小キハ何時大ニセン
モ自由ナリ。若シ初ヨリ大ニ鑿タレバ。小ニスルコトナリガタキガ
故ナリ。サレバ一切ノ人兼テ臨終ノ覺悟シテ書置セバ。何時
死ストモ其跡亂ル、コトナカルベシ。若シ長命ナレバ何時書改メン
モ自由ナリ。鼻ノ削リヤスク目ノ廣ゲヤスキガ如シ。若シ平
生油断シテ臨終ニ遺言セント思フ時ハ。或ハ病苦ニ逼ラレ。或ハ
頓死スレバ事皆ナ空シクナレリ。小ナル鼻ハ尚大ニモナリスベシ。
大ナル目ハ尚小ニモ成シツベシ。此ノ人ハ悔トモ甲斐アラジ。寔ニ

能ク治マレケリ。沙門ハ此ニ類スマジケレド。韓非子ニモ刺
削之道。鼻莫如大ナル目。莫如小ナルトイヘリ。此意ハ木像ヲ作ル
ニハ鼻ハ大ニ作り。目ハ小ニ作レト云コトナリ。如何トナレバ鼻ノ
大ナルハ何時削リテ小ニスルモヤスシ。小ナルヲ大ニセントスル時
ハ。木ヲ加ヘザレバナラザルガ故ナリ。目ノ小キハ何時大ニセン
モ自由ナリ。若シ初ヨリ大ニ鑿タレバ。小ニスルコトナリガタキガ
故ナリ。サレバ一切ノ人兼テ臨終ノ覺悟シテ書置セバ。何時
死ストモ其跡亂ル、コトナカルベシ。若シ長命ナレバ何時書改メン
モ自由ナリ。鼻ノ削リヤスク目ノ廣ゲヤスキガ如シ。若シ平
生油断シテ臨終ニ遺言セント思フ時ハ。或ハ病苦ニ逼ラレ。或ハ
頓死スレバ事皆ナ空シクナレリ。小ナル鼻ハ尚大ニモナリスベシ。
大ナル目ハ尚小ニモ成シツベシ。此ノ人ハ悔トモ甲斐アラジ。寔ニ

③本21ウ

此ノ言ハ一切ニ通ゼリ。今臨終ノ一ニ付テイハ。平生死ハ人
免カレヌ道ナリ。善惡ノ因果空シカラザルコト空谷ノ響ノ如
シト知テ。持戒清淨ニシテ經ヲ誦ジ佛ヲ禮シ真言ヲ持念シ。
施戒忍精進禪定智慧ヲ修メ。後生善處ノ業ヲ積リ利益
衆生ノ事ヲ作ハ。鼻ヲ大ニ目ヲ小ニスルガ如シ。若シ平生放
逸ニシテ後生善處ノ行ハ老後ニ修スベシト思ヒ。或ハ死後ニ
追福ヲ修セヨト言テ。自ラ行ゼザルハ。目ヲ大ニシ鼻ヲ小ニ
削レルガ如シ。後ニ悔トモ如何センヤ。寧ロ子孫及ヒ我が弟子ニ
追福ヲ頼マシヨリハ。自ラ健カナル時ニ善ヲ修スベシ。故ニ灌頂
經ニハ逆修ノ事ヲ説リ。莫レ道老來テ初學道古墳多ク是少年
人ト古人モ誠メタレバ。老後ニ善ヲ修セント思ハ。大愚癡ノ至リナリ。
一日再ビ晨ナリガタク。一期再ヒ壯年ナリガタク。何ゾ修善ヲ

此ノ言ハ一切ニ通ゼリ。今臨終ノ一ニ付テイハ。平生死ハ人
免カレヌ道ナリ。善惡ノ因果空シカラザルコト空谷ノ響ノ如
シト知テ。持戒清淨ニシテ經ヲ誦ジ佛ヲ禮シ真言ヲ持念シ。
施戒忍精進禪定智慧ヲ修シテ。後生善處ノ業ヲ積リ利益
衆生ノ事ヲ作ハ。鼻ヲ大ニ目ヲ小ニスルガ如シ。若シ平生放
逸ニシテ後生善處ノ行ハ老後ニ修スベシト思ヒ。或ハ死後ニ
追福ヲ修セヨト言テ。自ラ行ゼザルハ。目ヲ大ニシ鼻ヲ小ニ
削レルガ如シ。後ニ悔トモ如何センヤ。寧ロ子孫及ヒ我が弟子ニ
追福ヲ頼マンヨリハ。自ラ健カナル時ニ善ヲ修スベシ。故ニ灌頂
經ニハ逆修ノ事ヲ説リ。莫レ道老來テ初學道古墳多ク是少年
人ト古人モ誠メタレバ。老後ニ善ヲ修セント思ハ。大愚癡ノ至リナリ。
一日再ビ晨ナリガタク。一期再ヒ壯年ナリガタク。何ゾ修善ヲ

③本22オ

老後ノ事ト怠ランヤ。兼テ多ク福ヲ植兼テ書置テ臨終ニ
心怯弱ナラズ。遺言遺物等ノ事ニ心ヲ勞セズ。此ノ世ヲ去
牢獄ヲ出ルヤウニ思テ悦ブベシ。但シ万事ヲ放下シテ無相無
念ニ住スルモ亦善ルベシ。若シ在家ナラバ。吾妻子兄弟等ノ心
ノ止ルベキ人ヲ近ケズ。淨信ノ僧及ビ同行ノ人ヲ頼ミテ。常ニ
側ニ住テ時々ニ我が心ヲ勵マサシメ。必ズ世間ノ雜事ヲ我カ
耳ニ聞セ玉フコトナカレ。淨土ノ妙樂ヲ説キ聞セヨト頼ムベシ。
是病人ノ用心ナリ。○次ニ看病人ノ用心ト者。病人ノ心ニ違
ハヌ搯ニ看病シテ。定業必死ノ人ト見ハ。ヨリヨリ勵マシテ今般ハ必
ズ死ナルベシ。設ヒ死セズトモ用心シテアシキコトハアラジ。此ノ世ニ
心ヲ止メズ住生淨土ヲ願ヒ玉ヘト。轉語ヲ以テ曉諭スベシ。
アラク言テ病人ヲシテ瞋恚ヲ生ゼシムルコトナカレ。又淨土ヲ願フ

人ナラバ。觀經ノ三輩九品ノ往生ノ文。及ビ淨土ノ莊嚴受樂
ノ事ヲ説聞スベシ。都率上生ヲ願フ人ナラバ。上生經等ニ
依テ内院ノ妙樂等ヲ説聞スベシ。又其ノ人ノ一代ノ修善ヲ
舉テ。歡喜勇進ノ心ヲ生ゼシメヨ。怯弱ノ心ヲ生ゼシムルコト
ナカレ。若シ頭陀ノ行人ナラバ。頭陀ハ佛ノ讚歎シ玉フ所口
佛ノ大弟子迦葉好テ行シ玉フニ。佛讚歎ノ半座ヲ分テ與
ヘ坐セシメ玉ヘリ。君其ノ行ヲ作ス。必ズ善處ニ生ズベシト讚
歎スベシ。若シ誦經ノ人ナラバ。君常ニ經ヲ誦ス功德無量ナリ。
鸚鵡ハ四諦ヲ聞テ天ニ生シ。小品ニハ經耳品アリ。涅槃經ニハ
常住ノ二字ヲ聞クニ惡道ニ墮セスト説ク。況ヤ轉讀大乘
ハ往生ノ正業ナリ。必ズ淨土ニ生ジ玉フベシト言ヘ。若シ持律ノ人
ナラバ。君持戒堅固ニシテ三寶ヲ住持ス。一日一夜ノ齋戒猶中

老後ノ事ト怠ランヤ。兼テ多ク福ヲ植。兼テ書置シテ。臨終ニ
心怯弱ナラズ。遺言遺物等ノ事ニ心ヲ勞セズ。此ノ世ヲ去コト
牢獄ヲ出ルヤウニ思テ悦ブベシ。但シ万事ヲ放下シテ無相無
念ニ住スルモ亦善ルベシ。若シ在家ナラバ。吾妻子兄弟等ノ心
ノ止ルベキ人ヲ近ケズ。淨信ノ僧及ビ同行ノ人ヲ頼ミテ。常ニ
側ニ住テ時々ニ我が心ヲ勵マサシメ。必ズ世間ノ雜事ヲ我カ
耳ニ聞セ玉フコトナカレ。淨土ノ妙樂ヲ説キ聞セヨト頼ムベシ。
是病人ノ用心ナリ。○次ニ看病人ノ用心ト者。病人ノ心ニ違
ハヌ搯ニ看病シテ。定業必死ノ人ト見ハ。ヨリヨリ勵マシテ今般ハ必
ズ死ナルベシ。設ヒ死セズトモ用心シテアシキコトハアラジ。此ノ世ニ
心ヲ止メズ住生淨土ヲ願ヒ玉ヘト。轉語ヲ以テ曉諭スベシ。
アラク言テ病人ヲシテ瞋恚ヲ生ゼシムルコトナカレ。又淨土ヲ願フ

人ナラバ。觀經ノ三輩九品ノ往生ノ文。及ビ淨土ノ莊嚴受樂
ノ事ヲ説聞スベシ。都率上生ヲ願フ人ナラバ。上生經等ニ
依テ内院ノ妙樂等ヲ説聞スベシ。又其ノ人ノ一代ノ修善ヲ
舉テ。歡喜勇進ノ心ヲ生ゼシメヨ。怯弱ノ心ヲ生ゼシムルコト
ナカレ。若シ頭陀ノ行人ナラバ。頭陀ハ佛ノ讚歎シ玉フ所口
佛ノ大弟子迦葉好テ行シ玉フニ。佛讚歎ノ半座ヲ分テ與
ヘ坐セシメ玉ヘリ。君其ノ行ヲ作ス。必ズ善處ニ生ズベシト讚
歎スベシ。若シ誦經ノ人ナラバ。君常ニ經ヲ誦ス功德無量ナリ。
鸚鵡ハ四諦ヲ聞テ天ニ生シ。小品ニハ經耳品アリ。涅槃經ニハ
常住ノ二字ヲ聞クニ惡道ニ墮セスト説ク。況ヤ轉讀大乘
ハ往生ノ正業ナリ。必ズ淨土ニ生ジ玉フベシト言ヘ。若シ持律ノ人
ナラバ。君持戒堅固ニシテ三寶ヲ住持ス。一日一夜ノ齋戒猶中

品中生ノ正因ナリ。況ヤ一生ノ持戒ヲヤ。必ズ淨土ニ生ジ玉ハ
ンコト疑ヒナシト言ヘシ。若シ説法師ナラバ。大徳説法教化シテ
衆人ニ惡ヲ止メ善ヲ修セシム。功德廣大ナリトイヘ。若シ禪者
ナラバ。佛法ハ如説ノ行ヲ貴ム多讀多誦ヲ貴ムズ。君説ノ
如ク禪ヲ修ス功德無量ナリト歎セヨ。若シ佐助衆事ノ人
ナラバ。汝僧事ヲ經營ノ聖ト同儔ナリ。沓婆ハ王種ナレトモ
羅漢ノ身ヲ屈シテ僧ノ知事トナル。迦葉ハ泥ヲ踏テ五精舎
ヲ造リ。祇夜ハ薪ヲ破テ僧ノ受用ニ供ズ。身子ハ地ヲ掃ヒ
目連ハ燈ヲ然ス。皆是大羅漢ナリ。汝ガ功德無邊ナリト
イヘ。若シ眞言ヲ持誦シ。入壇灌頂。行法等ヲナセル人ナラバ。
一度灌頂壇ニ入ル者ハ万億劫ヲ經テモ惡趣ニ墮セズ。況ヤ
祕密ノ行法ヲ修セシヲヤ。況ヤ平生ニ眞言ヲ念誦セシヲヤ。

一タビ陀羅尼ヲ耳ニ聞スラ必ズ天ニ生ズ。況ヤ自ら多ク誦セ
ンヲヤ。君カ功德正ニ金剛薩埵菩薩ト等シ。往生淨土疑ヒナ
シト讚歎セヨ。若シ念佛者ナラバ。念佛スル者ハ人中ノ芬陀
利花ナリ。一遍南無阿彌陀佛ト唱念スルスラ。八十億劫ノ
生死ノ重罪ヲ滅ス。況ヤ一生ノ唱名ヲヤ。決定往生疑ヒアル
ベカラズトイヘ。又佛ヲ圖繪シ。或ハ木佛銅像ヲ造リ。經ヲ書
シ。施ヲ行シ。伽藍ヲ造營シ。古寺ヲ修補セシ等ノ善事。各
所應ニ隨テ功德ヲ讚歎セヨ。凡ソ一生ノ善事ヲ擧テ。病人
ノ心ニ勇進歡喜ノ心ヲ生ゼシメヨ。智度論ニ説ク。一生修善ノ
人モ臨終ニ惡念アレバ。便チ惡道ニ生ズ。一生造惡ノ人モ臨
終ニ善念アレバ。天上ニ生ズト。問臨終ハ少時ナリ何ゾ一生ノ行
業ニ勝ルヤ。答臨終ノ念ハ猛利ニ決徹ノ第二念ヲ續ザルガ

品中生ノ正因ナリ。況ヤ一生ノ持戒ヲヤ。必ズ淨土ニ生ジ玉ハ
ンコト疑ヒナシト言ヘシ。若シ説法師ナラバ。大徳説法教化シテ
衆人ニ惡ヲ止メ善ヲ修セシム。功德廣大ナリトイヘ。若シ禪者
ナラバ。佛法ハ如説ノ行ヲ貴ム多讀多誦ヲ貴ムズ。君説ノ
如ク禪ヲ修ス功德無量ナリト歎セヨ。若シ佐助衆事ノ人
ナラバ。汝僧事ヲ經營シテ聖ト同儔ナリ。沓婆ハ王種ナレトモ
羅漢ノ身ヲ屈シテ僧ノ知事トナル。迦葉ハ泥ヲ踏テ五精舎
ヲ造リ。祇夜ハ薪ヲ破テ僧ノ受用ニ供ズ。身子ハ地ヲ掃ヒ
目連ハ燈ヲ然ス。皆是大羅漢ナリ。汝ガ功德無邊ナリト
イヘ。若シ眞言ヲ持誦シ。入壇灌頂。行法等ヲナセル人ナラバ。
一度灌頂壇ニ入ル者ハ万億劫ヲ經テモ惡趣ニ墮セズ。況ヤ
祕密ノ行法ヲ修セシヲヤ。況ヤ平生ニ眞言ヲ念誦セシヲヤ。

一タビ陀羅尼ヲ耳ニ聞スラ必ズ天ニ生ズ。況ヤ自ら多ク誦セ
ンヲヤ。君カ功德正ニ金剛薩埵菩薩ト等シ。往生淨土疑ヒナ
シト讚歎セヨ。若シ念佛者ナラバ。念佛スル者ハ人中ノ芬陀
利花ナリ。一遍南無阿彌陀佛ト唱念スルスラ。八十億劫ノ
生死ノ重罪ヲ滅ス。況ヤ一生ノ唱名ヲヤ。決定往生疑ヒアル
ベカラズトイヘ。又佛ヲ圖繪シ。或ハ木佛銅像ヲ造リ。經ヲ書
シ。施ヲ行シ。伽藍ヲ造營シ。古寺ヲ修補セシ等ノ善事。各
所應ニ隨テ功德ヲ讚歎セヨ。凡ソ一生ノ善事ヲ擧テ。病人
ノ心ニ勇進歡喜ノ心ヲ生ゼシメヨ。智度論ニ説ク。一生修善ノ
人モ臨終ニ惡念アレバ。便チ惡道ニ生ズ。一生造惡ノ人モ臨
終ニ善念アレバ。天上ニ生ズト。問臨終ハ少時ナリ何ゾ一生ノ行
業ニ勝ルヤ。答臨終ノ念ハ猛利ニ決徹ニシテ第二念ヲ續ザルガ

其言磬石身卷三
故ナリ。又矢ノ弦ヲ離ル、時ニ一分ノ斜アレバ、的ニアタラザルガ如シ。故ニ臨終ノ一念ヲ第一トス。是以十惡五逆ノ人モ臨終ニ善知識ノ教ニ隨テ十念スレバ、淨土ニ生ズトハ説レタリ。又万年ノ暗室モ一燈ニ能ク破シ、千年ノ積薪モ小火ヲ以テ燒キ盡スカ如ク。臨終ノ一念能ク多生ノ罪ヲ滅シ無量ノ功德ヲ生ス。是ニ依テ看病人ハ死期ヲ能ク知テ、上ノ如クニ佛菩薩明王等ノ像ヲ安シ。名香ヲタキ。燈明ヲ然シテ。一人ハ不動ノ眞言ヲ念誦シテ境界ヲ作。一人ハ微音ニ光明眞言或ハ念佛。病人ノ心ニ任セテ同音ニ唱ヘヨ。若シ病人苦痛切ニシテ唱ルコトアタハズバ、病人ノ耳ニ入ホドニ唱フベシ。又時々ニ無常ノ聲ヲ打ベシ。昔シ天台大師臨終ニ維那ニ告テ曰ク。人ノ命終セントスル時鐘磬ヲ聞ハ正念ヲ増ス。唯シ久シク長ク打テ

氣ノ盡ルヲ期トスベシト。サレバ磬ヲ打ベキナリ。甚ダ大ニ打ズ又小ニモ打ザレ。中分ニ打ベシ乃至念佛及ビ眞言ヲ誦シテ。病人未後ノ息風ノ出ルト等シク唱ヘ合セヨ。然ラバ決定シテ淨土ニ生ズベシ。若シ臨終ノ印明ヲ傳授セル人ナラバ、兼テ鹽嗽セシメ塗香ヲ手ニ塗テ印ニ住シ明ヲ唱ヘシメヨ。臨終ノ印明ハ祕密ノ大事ナリ。明師ニ隨テ傳授スベシ。昔シ眞如親王ノ弟子隆海ハ端坐シ印ヲ結テ死セシニ。茶毗ノ後マデ印壞セズ。澄海律師モ耶旬ノ後ニ至ルマデ印壞セズ。勝尾ノ證如モ定印壞セズトイヘリ。全身壞セザルハ上ナリ。印壞セズ舌壞セザルハ其次ナリ。舍利ヲ得ルハ復其ノ次ナリ。千箇經ニ曰ク若人命終ニ定印ヲ結ハ當ニ知ベシ初地ニ入レリト。故ニ必ズ印ヲ結バシメヨ。諸人集リテ末後ノ水ヲ

故ナリ。又矢ノ弦ヲ離ル、時ニ一分ノ斜アレバ、的ニアタラザルガ如シ。故ニ臨終ノ一念ヲ第一トス。是以十惡五逆ノ人モ臨終ニ善知識ノ教ニ隨テ十念スレバ、淨土ニ生ズトハ説レタリ。又万年ノ暗室モ一燈ニ能ク破シ、千年ノ積薪モ小火ヲ以テ燒キ盡スカ如ク。臨終ノ一念能ク多生ノ罪ヲ滅シ無量ノ功德ヲ生ス。是ニ依テ看病人ハ死期ヲ能ク知テ、上ノ如クニ佛菩薩明王等ノ像ヲ安シ。名香ヲタキ。燈明ヲ然シテ。一人ハ不動ノ眞言ヲ念誦シテ境界ヲ作。一人ハ微音ニ光明眞言或ハ念佛。病人ノ心ニ任セテ同音ニ唱ヘヨ。若シ病人苦痛切ニシテ唱ルコトアタハズバ、病人ノ耳ニ入ホドニ唱フベシ。又時々ニ無常ノ聲ヲ打ベシ。昔シ天台大師臨終ニ維那ニ告テ曰ク。人ノ命終セントスル時鐘磬ヲ聞ハ正念ヲ増ス。唯シ久シク長ク打テ

氣ノ盡ルヲ期トスベシト。サレバ磬ヲ打ベキナリ。甚ダ大ニ打ズ又小ニモ打ザレ。中分ニ打ベシ乃至念佛及ビ眞言ヲ誦シテ。病人未後ノ息風ノ出ルト等シク唱ヘ合セヨ。然ラバ決定シテ淨土ニ生ズベシ。若シ臨終ノ印明ヲ傳授セル人ナラバ、兼テ鹽嗽セシメ塗香ヲ手ニ塗テ印ニ住シ明ヲ唱ヘシメヨ。臨終ノ印明ハ祕密ノ大事ナリ。明師ニ隨テ傳授スベシ。昔シ眞如親王ノ弟子隆海ハ端坐シ印ヲ結テ死セシニ。茶毗ノ後マデ印壞セズ。澄海律師モ耶旬ノ後ニ至ルマデ印壞セズ。勝尾ノ證如モ定印壞セズトイヘリ。全身壞セザルハ上ナリ。印壞セズ舌壞セザルハ其次ナリ。舍利ヲ得ルハ復其ノ次ナリ。千箇經ニ曰ク若人命終ニ定印ヲ結ハ當ニ知ベシ初地ニ入レリト。故ニ必ズ印ヲ結バシメヨ。諸人集リテ末後ノ水ヲ

手向及ヒ病人ノ身ニアラク觸レ。或ハ喧スシク啼哭スルヲ
ナカレ。一モ益ナラフシテ只大ナル魔障トナルガ故ナリ。唯光明真
言。不動真言。念佛及ヒ地藏ノ寶号眞言等ヲ微音ニ唱ヘ。
或ハ音ヲ出サズ唱ヘテ。往生淨土ヲ祈ルベシ。但シ地藏本
願經ニハ高聲ニ誦セトイヘリ。又諸事ノ儀則偏ヘニ覺鉸
上人ノ一期大要集ニ依ルベシ。是レ通途看病人及ビ同朋等
ノ用心ナリ。若復本不生ノ深理ヲ解セル人ナラバ。安樂都史
本來胸中等ノ義ヲ説聞シメ。又六大平等不生而生。不滅
而滅ノ理ヲ互相ニ談ズベシ。臨終ニ及テ辭世ノ頌ヲ作り或ハ
歌或ハ發句ヲトスル者アルヲ。世人多ク讚歎シ羨ムハ。甚ダ愚
癡虛頭ノ至リナリ。必ズ作スヲナカレ。能ク頌ヲ作テハ傲ル意アリ。
兼テヨリ工夫シテ戲論ノ心ニ住ス。甚ダ哀ムニ足レリ。○京五條

ノ和光院行泉房ト云人歌ヲ好ム。平生改字觀ヲ擬シテ松
島ノ雲居和尚ヲモ詰レル人ナリ。世人ノ辭世ノ頌ヲ好ミテ
戲論ニ走ルヲ呵シテ。自ラハ健ナル時ニ辭世ト号シテ語ヲ書
レケリ。是モ自ラ好ムニハアラザレトモ。世人ヲ驚覺セン為ナリ
トゾ其詞曰
生死自在ナレバ辭世亦常ナリ。サレバコソ行泉房ハ死レ
タリ。我身ナガラモ哀レナリケリ。
ト是寔ニ綺語ナレトモ志ノ程貴カリケリ。○又世ニ一等ノ人
アリ。盡形壽ノ持齋ヲ受ナガラ。少ノ病緣ニ託シテ齋ヲ破シ戒
ヲ破ス。多クハ臨終ニ戒ヲ破スルアリ。是大愚癡ノ至リナリ。定
業ナレバ頓死スル者アリ。雷ニ撃ル、者アリ。刀兵ニ害セラレ。毒
ニ中ラレ。食ニ中ラレテ死スルアリ。然ルヲ少時ノ命ヲ延シガ為ニ

手向。及ヒ病人ノ身ニアラク觸レ。或ハ喧スシク啼哭スルコト
ナカレ。一モ益ナラフシテ只大ナル魔障トナルガ故ナリ。唯光明真
言。不動真言。念佛及ヒ地藏ノ寶号眞言等ヲ微音ニ唱ヘ。
或ハ音ヲ出サズ唱ヘテ。往生淨土ヲ祈ルベシ。但シ地藏本
願經ニハ高聲ニ誦セトイヘリ。又諸事ノ儀則偏ヘニ覺鉸
上人ノ一期大要集ニ依ルベシ。是レ通途看病人及ビ同朋等
ノ用心ナリ。若復本不生ノ深理ヲ解セル人ナラバ。安樂都史
本來胸中等ノ義ヲ説聞シメ。又六大平等不生而生。不滅
而滅ノ理ヲ互相ニ談ズベシ。臨終ニ及テ辭世ノ頌ヲ作り或ハ
歌或ハ發句ヲトスル者アルヲ。世人多ク讚歎シ羨ムハ。甚ダ愚
癡虛頭ノ至リナリ。必ズ作スコトナカレ。能ク頌ヲ作テハ傲ル意アリ。
兼テヨリ工夫シテ戲論ノ心ニ住ス。甚ダ哀ムニ足レリ。○京五條

ノ和光院行泉房ト云人歌ヲ好ム。平生改字觀ヲ擬シテ松
島ノ雲居和尚ヲモ詰レル人ナリ。世人ノ辭世ノ頌ヲ好ミテ
戲論ニ走ルヲ呵シテ。自ラハ健ナル時ニ辭世ト号シテ語ヲ書
レケリ。是モ自ラ好ムニハアラザレトモ。世人ヲ驚覺セン為ナリ
トゾ其詞曰
生死自在ナレバ辭世亦常ナリ。サレバコソ行泉房ハ死レ
タリ。我身ナガラモ哀レナリケリ。
ト是寔ニ綺語ナレトモ志ノ程貴カリケリ。○又世ニ一等ノ人
アリ。盡形壽ノ持齋ヲ受ナガラ。少ノ病緣ニ託シテ齋ヲ破シ戒
ヲ破ス。多クハ臨終ニ戒ヲ破スルアリ。是大愚癡ノ至リナリ。定
業ナレバ頓死スル者アリ。雷ニ撃ル、者アリ。刀兵ニ害セラレ。毒
ニ中ラレ。食ニ中ラレテ死スルアリ。然ルヲ少時ノ命ヲ延シガ為ニ

永劫ノ苦患ヲ召ク亦哀カラズヤ。世ノ庸醫多クハ勸メテ破セシム。是亦魔事ナリ。齒切テ肯フコトナカレ。堅固ニ戒ヲ持シナバ佛天ノ擁護ヲモ蒙リテ。定業ヲモ延ルコトアルベシ。設ヒ即チ死スモ早ク如來ノ法身ヲ拜スベシ戒ヲ破シナバ延ベキ命ナリトモ。惡鬼使リヲ得テ却テ死センコト明ケシ設命ヲ延ヒ何ノ益カアラシ。沐頭畜生ト異ナルコトナシ。彼ノ飢渴ノ死セシ比兵早ク如來ノ法身ヲ禮シ。蟲水ヲ飲ミテ命ヲ延シ比兵呵嘖ヲ蒙リシガ如シ。慎マサルベケンヤ。昔シ晉ノ廬山ノ慧遠法師。持律堅固ニシテ中ヲ過テハ蜜漿ヲモ飲ズ病ヒ厚キニ及テ諸人蜜漿ヲ進メケレバ。遠法師ノ曰ク。諸律部ノ中ニ開セル文アラバ飲ムベシトテ。衆僧ニ命シテ勸ヘシム開文未ダ出ザルニ遷化セリトイヘリ。實ニ貴キ心羨シキコトナリ。又或律

僧好テ蕎麥湯葛湯等ヲ用ユ。律ノ中ニ文アルコトナシ。實ニ洋銅汁熱鐵丸ナリ。恐レザルベケンヤ。○又上ニ言所ノ臨終ニハ妻子兄弟ヲ近ケザレト云フ昔シ天竺ニ夫妻アリ。厚ク三寶ニ歸依シテ五戒ノ清信士女ナリシガ。夫先死スルニ妻別ヲ惜ミケレバ夫執ヲ生シテ死シテ妻ガ鼻ノ中ニ生シテ黑色ノ蟲トナルトイヘリ。又頃載或人ノ妻死スル時ニ夫傍ニ居シテ別ヲ惜ミケル。妻手ヲ以テ夫ノ腕ヲ握テ即チ死ス。死シテ後ニ其ノ手ヲ離タントスルニ終ニハナレズ。為方ナクテ利刀ヲ以テ妻カ手ヲ切テ。五指ヲ一指ツ、切りテ取りハナチケレドモ。其ノ處陷ミテ輪子ノ如クニナリケリ。夫甚ダ恐レテ。妻ノ執心深カリケルヲ悲シミ出家トナレリ。慎マズンバアルベカラズ。恐レズンバアルベカラズ。

ヤウゴフノ苦患ヲ召ク亦哀カラズヤ。世ノ庸醫多クハ勸メテ破セシム。是亦魔事ナリ。齒切テ肯フコトナカレ。堅固ニ戒ヲ持シナバ佛天ノ擁護ヲモ蒙リテ。定業ヲモ延ルコトアルベシ。設ヒ即チ死スモ早ク如來ノ法身ヲ拜スベシ戒ヲ破シナバ延ベキ命ナリトモ。惡鬼使リヲ得テ却テ死センコト明ケシ設命ヲ延ヒ何ノ益カアラシ。沐頭畜生ト異ナルコトナシ。彼ノ飢渴シテ死セシ比兵早ク如來ノ法身ヲ禮シ。蟲水ヲ飲ミテ命ヲ延シ比兵呵嘖ヲ蒙リシガ如シ。慎マサルベケンヤ。昔シ晉ノ廬山ノ慧遠法師。持律堅固ニシテ中ヲ過テハ蜜漿ヲモ飲ズ病ヒ厚キニ及テ諸人蜜漿ヲ進メケレバ。遠法師ノ曰ク。諸律部ノ中ニ開セル文アラバ飲ムベシトテ。衆僧ニ命シテ勸ヘシム開文未ダ出ザルニ遷化セリトイヘリ。實ニ貴キ心羨シキコトナリ。又或律

僧好テ蕎麥湯葛湯等ヲ用ユ。律ノ中ニ文アルコトナシ。實ニ洋銅汁熱鐵丸ナリ。恐レザルベケンヤ。○又上ニ言所ノ臨終ニハ妻子兄弟ヲ近ケザレト云フ昔シ天竺ニ夫妻アリ。厚ク三寶ニ歸依シテ五戒ノ清信士女ナリシガ。夫先死スルニ妻別ヲ惜ミケレバ夫執ヲ生シテ死シテ妻ガ鼻ノ中ニ生シテ黑色ノ蟲トナルトイヘリ。又頃載或人ノ妻死スル時ニ夫傍ニ居シテ別ヲ惜ミケル。妻手ヲ以テ夫ノ腕ヲ握テ即チ死ス。死シテ後ニ其ノ手ヲ離タントスルニ終ニハナレズ。為方ナクテ利刀ヲ以テ妻カ手ヲ切テ。五指ヲ一指ツ、切りテ取りハナチケレドモ。其ノ處陷ミテ輪子ノ如クニナリケリ。夫甚ダ恐レテ。妻ノ執心深カリケルヲ悲シミ出家トナレリ。慎マズンバアルベカラズ。恐レズンバアルベカラズ。

長生集卷之本

三

③本27オ

③本26ウ

南部岩手ノ想九郎ガ子ノ事

頃載南部ノ岩手ニ想九郎ト云者アリ。一子アリ想九郎殊
ニ此子ヲ憐レミテ。妹キ女ヲ娶リテ與ヘケリ。比翼連理ノ
昵シ借老同穴ノ契リ淺カラザリケリ。然レモ無常ノ殺鬼ハ
時處ヲ擇ハザレバ。二三年アリテ彼ノ妻死シケリ。死スル時
ニ夫別ヲ惜ミテ汝ガ死セバ我モ亦後妻ヲ娶ラジ。必ズ出
家シテ汝ガ菩提ヲ資ケント言ケレバ。妻死苦ノ切ナル中ニモ
世ニウレシゲニテ死シケリ。其後一兩月ノ間ハ愁思切ナレバ。
父ニ請テ出家ヲ求メシカトモ。一子ノコトナレバ輒ク出家ヲ許サ
ザリケリ。サル程ニ昨日マデハ身ヲ墨染ニ改メント思ヒシガ。
飛鳥川ノ淵ハ瀬ニナル世ノ習ヒ。寂寞ノ閨ノ中寒燈ノ光
ノ陰ニ萱艸生テ。隻枕夢回ル朝夕孤影鏡ニ向フ夕忘憂ノ

南部岩手ノ想九郎ガ子ノ事

頃載南部ノ岩手ニ想九郎ト云者アリ。一子アリ想九郎殊
ニ此子ヲ憐レミテ。妹キ女ヲ娶リテ與ヘケリ。比翼連理ノ
昵シ借老同穴ノ契リ淺カラザリケリ。然レトモ無常ノ殺鬼ハ
時處ヲ擇ハザレバ。二三年アリテ彼ノ妻死シケリ。死スル時
ニ夫別ヲ惜ミテ汝ガ死セバ我モ亦後妻ヲ娶ラジ。必ズ出
家シテ汝ガ菩提ヲ資ケント言ケレバ。妻死苦ノ切ナル中ニモ
世ニウレシゲニテ死シケリ。其後一兩月ノ間ハ愁思切ナレバ。
父ニ請テ出家ヲ求メシカトモ。一子ノコトナレバ輒ク出家ヲ許サ
ザリケリ。サル程ニ昨日マデハ身ヲ墨染ニ改メント思ヒシガ。
飛鳥川ノ淵ハ瀬ニナル世ノ習ヒ。寂寞ノ閨ノ中寒燈ノ光
ノ陰ニ萱艸生テ。隻枕夢回ル朝夕孤影鏡ニ向フ夕忘憂ノ

物ヲ嗜ミケレバ。程ナク娥孀ヲ慕ノ心ホノメキ出タリシ折シモ。
父後妻ヲ逐ヘケレバ。昔日ミ牽牛星ヲ笑テ私語セシ婉孌ノ
盟モ。今ハ早晩シカ忘レ果テ。色ヲ好ムノ情深カリケリ。サテ
後妻來リテ閨中ニ入り。粉粧セントテ鸞鏡ヲ尋ニ忽チ
ニ失テ見ヘザリケリ。家ニハ賓客多ク來リテ今ヤ膳ヲ出ス
トヒシメキケルニ。何クトモナクチンノト鳴ル聲シケリ。正
シク金ノ聲ナレバ。上座ノ老宿ドモ怪シミテ。人ヲ外ニ出シ
見セシムルニ磬打人モナシ。然ルニイヨク聲近ヅキテ正シク
其ノ家ノ極ト思ヒケレバ。天井ヲ見ルニ彼ノ後妻ガ失ヒシ
鏡ミヲ。繩ヲ以テ結ヒ棟ニ倒ニ鈎リテ。旋轉スル速ニシテ陶
家輪ノ如シ。誰打トモナケレトモ此ノ鏡ノ鳴ニテゾアリケル。一
坐ノ人々身毛豎テ恐レケリ。後妻ハ此ノ怪異ニ驚キ怖レテ

物ヲ嗜ミケレバ。程ナク娥孀ヲ慕ノ心ホノメキ出タリシ折シモ。
父後妻ヲ逐ヘケレバ。昔日ミ牽牛星ヲ笑テ私語セシ婉孌ノ
盟モ。今ハ早晩シカ忘レ果テ。色ヲ好ムノ情深カリケリ。サテ
後妻來リテ閨中ニ入り。粉粧セントテ鸞鏡ヲ尋ニ忽チ
ニ失テ見ヘザリケリ。家ニハ賓客多ク來リテ今ヤ膳ヲ出ス
トヒシメキケルニ。何クトモナクチンノト鳴ル聲シケリ。正
シク金ノ聲ナレバ。上座ノ老宿ドモ怪シミテ。人ヲ外ニ出シ
見セシムルニ磬打人モナシ。然ルニイヨク聲近ヅキテ正シク
其ノ家ノ極ト思ヒケレバ。天井ヲ見ルニ彼ノ後妻ガ失ヒシ
鏡ミヲ。繩ヲ以テ結ヒ棟ニ倒ニ鈎リテ。旋轉スル速ニシテ陶
家輪ノ如シ。誰打トモナケレトモ此ノ鏡ノ鳴ニテゾアリケル。一
坐ノ人々身毛豎テ恐レケリ。後妻ハ此ノ怪異ニ驚キ怖レテ

親ノ家ニ歸リシガ再度來ラザリケリ。夫モ此ニ少シ目醒テ昔日ノ約束ヲ思ヒ出シ。發リモセ又道心ヲ發シテ出家トゾナリケル。此事延壽年中ノコトニテ能知タル人予ニ語ラレケリ。サレバ男女俱ニ愛執深ケレド。殊ニ女人ノ多欲ナルコト男子ニ百倍セリト經ニモ説レタレバ。女人ノ愛執ヲバ恐ルベキナリ。故ニ法花ニハ諸苦所因貪欲為本トモ説キ。癡愛故生惱以諸欲因緣墜三惡道トモ説レタリ。聲聞戒ニ姪盜殺妄ト次第シテ愛縛ヲ離ル、ヲ第一トスルハ。此道輪回生死ノ根本ナレバナリ。校嚴經ハ大乘ノ秘密教ナレド。若シ姪ヲ斷ゼズ禪定ヲ得ント思ハ。沙ヲ蒸シテ飯トナサンコトヲ求ムルガ如シ是ノ處リアルコトナシトイヘリ。

陸奥國四十九院氏カ事

奥州ノ住人吉村治左衛門ト云武士アリ。累代將帥ノ材アリテ。李廣李陵カ勇ミヲモ凌ギ孫子吳起ガ謀リヲモ誑ムク譽アリ。治左衛門妻ヲ娶テ後ハ深ク色ニ迷フコト義經ノ上古ニモ踰。義貞ノ中葉ニモ過タリ。春景長シトイヘトモ花ノ前ニ盃ヲ舉テハ猶日ノ短キコトヲ歎キ。秋色悲シトイヘトモ月下ニ床ヲ對スレバ曾テ夜ノ長キコトヲ知ラズ。然レトモ春ノ花モ發ケバ必ス散リ。秋ノ月モ盈レバ必ス虧ル習ヒナレバ。忽ニ無常ノ風ニサソハレテ。三十チニモ足又花ノ貌チ。千里ニ耀ル月ノ顔バセ。終ニ朝ノ露ト消ニケリ。吉村氏モ俱ニ消ナン心地ニケレド。定業各別ナレバ。徒ラニ空房ヲ守リケリ。鴛鴦ノ衾冷カニ魚燈ノ影荒ジクテ。或時ハ音ヲ揚テモ哭セントスレド。流艸ニ武夫ナレバ深ク慎ミケルゾ一哀ナル。愛ニ不思議ノ事

親ノ家ニ歸リシガ再度來ラザリケリ。夫モ此ニ少シ目醒テ昔日ノ約束ヲ思ヒ出シ。發リモセ又道心ヲ發シテ出家トゾナリケル。此事延壽年中ノコトニテ能知タル人予ニ語ラレケリ。サレバ男女俱ニ愛執深ケレド。殊ニ女人ノ多欲ナルコト男子ニ百倍セリト經ニモ説レタレバ。女人ノ愛執ヲバ恐ルベキナリ。故ニ法花ニハ諸苦所因貪欲為本トモ説キ。癡愛故生惱以諸欲因緣墜三惡道トモ説レタリ。聲聞戒ニ姪盜殺妄ト次第シテ愛縛ヲ離ル、ヲ第一トスルハ。此道輪回生死ノ根本ナレバナリ。校嚴經ハ大乘ノ秘密教ナレド。若シ姪ヲ斷ゼズ禪定ヲ得ント思ハ。沙ヲ蒸シテ飯トナサンコトヲ求ムルガ如シ是ノ處リアルコトナシトイヘリ。

陸奥國四十九院氏カ事

奥州ノ住人吉村治左衛門ト云武士アリ。累代將帥ノ材アリテ。李廣李陵カ勇ミヲモ凌ギ孫子吳起ガ謀リヲモ誑ムク譽アリ。治左衛門妻ヲ娶テ後ハ。深ク色ニ迷フコト義經ノ上古ニモ踰。義貞ノ中葉ニモ過タリ。春景長シトイヘトモ花ノ前ニ盃ヲ舉テハ猶日ノ短キコトヲ歎キ。秋色悲シトイヘトモ月下ニ床ヲ對スレバ曾テ夜ノ長キコトヲ知ラズ。然レトモ春ノ花モ發ケバ必ス散リ。秋ノ月モ盈レバ必ス虧ル習ヒナレバ。忽ニ無常ノ風ニサソハレテ。三十チニモ足又花ノ貌チ。千里ニ耀ル月ノ顔バセ。終ニ朝ノ露ト消ニケリ。吉村氏モ俱ニ消ナン心地ニケレド。定業各別ナレバ。徒ラニ空房ヲ守リケリ。鴛鴦ノ衾冷カニ魚燈ノ影荒ジクテ。或時ハ音ヲ揚テモ哭セントスレド。流艸ニ武夫ナレバ深ク慎ミケルゾ一哀ナル。愛ニ不思議ノ事

アリ。妻死ノヨリ夫深ク戀ケレバ。中陰ノ中ヨリ妻夜々夫カ
方へ來リケリ。夢カト思ヘト亦夢ニモアラズ。病ヒカト見トモ
自ラ苦シムコトナケレバ。コハ故ニ一魂神來ルニヤト。一タビハ喜ビ
一ハ恐レテ膠漆ノ友ニモ此ノ事ヲ語ラザリケリ。左右スルホド
ニ早三年ニゾナリニケル。其ノ比天下餓餒ノ者多カリシマ、
吉村氏モ糜粥ヲ煮テ餓人ヲ救ヒケルニ家僕乞人ヲ普ク
見ル中ニ手巾ヲ以テ深ク面ヲ蒙フテ日ニ來ル女人アリ。
侂子熟見ルニ亡ゼシ主人ノ北ノ方ニ能ク似タレバ。即チ吉村
氏ニ白サク。人心同ジカラザルコト其ノ面ノ如ト云テ。千万人ノ
中ニモ面相肖タルハナシト曾テ承リシニ。世ニハ又能ク肖タ
ル人モ侍リ。日日来ル乞人ノ中ニ殿ノ北ノ方ニ露モ違ハズ肖
タル人アリ願クハ見玉ヘト。吉村氏驚キテ隙ヨリ觀見ルニ正

シク我が妻ナリ。マス〜怪ミテ侂子ニ命シテ還ル跡ヲ認シムル
ニ。亡妻ヲ葬リシ寺ノ四十九院ノ中へ入ルカト見レハ忽チニ消ヌ。
僕身ノ毛豎テ戰戰歸リテ有ノマ、ニ申シケリ。吉村氏少シモ
騒ガズ。サテハ三年來我が方へ來ルモ。イヨク實ナリトオモヘリ
サテ其夜例ノ如ク妻來リテ涙ヲ流シテ曰ク。今ハ皆ナ顯レ
候ヒ又明晩ヨリハ來ラジ。三年ノ契ニ一人ノ男子ヲ生ゼリ。此ヲ
養ハシガ為淺間シク恥ヲ忘レ。乞人トナリテ粥ヲ乞ヘリ。明日
我が墓ヲ見玉ヘ君ニ子ヲ與フベシト言テ。書消スヤウニ失ニ
ケリ。吉村氏悲泣シテ夜ノ旦ルヲ遲シト待テ即チ寺へ走り
行ケレバ。上人出合テ此ヨリコソ申シ入ルベク存ジ候ニ。嬉シク
モ來リ玉ヘリ。今朝未明ニ四十九院ノ中ニ子ノ啼ク聲セシカ
バ。怪ミテ此ヲ見ルニ中ニ赤子アリ。四方密シク閉テ鍵關固ク

アリ。妻死シテヨリ夫深ク戀ケレバ。中陰ノ中ヨリ妻夜々夫カ
方へ來リケリ。夢カト思ヘトモ亦夢ニモアラズ。病ヒカト見トモ
自ラ苦シムコトナケレバ。コハ故ニ一魂神來ルニヤト。一タビハ喜ビ
一ハ恐レテ膠漆ノ友ニモ此ノ事ヲ語ラザリケリ。左右スルホド
ニ早三年ニゾナリニケル。其ノ比天下餓餒ノ者多カリシマ、
吉村氏モ糜粥ヲ煮テ餓人ヲ救ヒケルニ。家僕乞人ヲ普ク
見ル中ニ手巾ヲ以テ深ク面ヲ蒙フテ日ニ來ル女人アリ。
侂子熟見ルニ亡ゼシ主人ノ北ノ方ニ能ク似タレバ。即チ吉村
氏ニ白サク。人心同ジカラザルコト其ノ面ノ如ト云テ。千万人ノ
中ニモ面相肖タルハナシト曾テ承リシニ。世ニハ又能ク肖タ
ル人モ侍リ。日日来ル乞人ノ中ニ殿ノ北ノ方ニ露モ違ハズ肖
タル人アリ願クハ見玉ヘト。吉村氏驚キテ隙ヨリ觀見ルニ正

シク我が妻ナリ。マス〜怪ミテ侂子ニ命シテ還ル跡ヲ認シムル
ニ。亡妻ヲ葬リシ寺ノ四十九院ノ中へ入ルカト見レハ忽チニ消ヌ。
僕身ノ毛豎テ戰戰歸リテ有ノマ、ニ申シケリ。吉村氏少シモ
騒ガズ。サテハ三年來我が方へ來ルモ。イヨク實ナリトオモヘリ
サテ其夜例ノ如ク妻來リテ涙ヲ流シテ曰ク。今ハ皆ナ顯レ
候ヒ又明晩ヨリハ來ラジ。三年ノ契ニ一人ノ男子ヲ生ゼリ。此ヲ
養ハシガ為淺間シク恥ヲ忘レ。乞人トナリテ粥ヲ乞ヘリ。明日
我が墓ヲ見玉ヘ君ニ子ヲ與フベシト言テ。書消スヤウニ失ニ
ケリ。吉村氏悲泣シテ夜ノ旦ルヲ遲シト待テ即チ寺へ走り
行ケレバ。上人出合テ此ヨリコソ申シ入ルベク存ジ候ニ。嬉シク
モ來リ玉ヘリ。今朝未明ニ四十九院ノ中ニ子ノ啼ク聲セシカ
バ。怪ミテ此ヲ見ルニ中ニ赤子アリ。四方密シク閉テ鍵關固ク

封せり。誰人ノ入ルベキ方ナシト語りモ畢ヌ。吉村氏其ニ付テ
コソ我忽ギ來レリトテ。三年來件ノ事ヲ委細ニ語ラレケレバ
上人手ヲ拍テ彼赤子ヲ與ヘラレケリ。サテ此事世ニ隠レナケ
レバ。大守聞テ不思議ノ思ヲナシ。即チ其子ヲ氏ヲ改メテ四
十九院氏ト賜リケリ。今現ニ四十九院治左衛門トテ奥州ニ
住セリ。此ノ事親族吉村氏カ物語ヲ予ガ法弟面會リ聞テ
予ニ語りケリ。是モ女ノ愛執深クシテ死後マデモ夫ノ方へ來レル
ナリ。甲斐ノ信玄公ノ家臣。原加賀守ノ妻モ死シテ後ニ來レル
コト。妙幢禪師ノ撰セル地藏菩薩利生記ニ見タリ。此ノ事ト頗ル
相似タリ

京ノ愚夫死シテ後モ女ノ方へ來リシ事

邇比洛陽ニ一人ノ男アリ。東山八坂ノ花衢ニ行テ或ル遊女ト

深ク契リケリ。サテ程ナク病テ死シケルニ。死後ニモ猶彼ノ遊女
カ方へ時々ニ行テ遊ビケリ。遊女問ク君此ノ比ハ御所勞ノ由
ヲ聞ツルニ。今ハ平愈シ玉フヤ尚憔悴シ玉ヘリトイヘバ。彼ノ男
大半ハ平愈シケレドモ未ダ全分快カラス。君ニ會フモ久シカラ
ビトカコチ泣テ。凡ソ毎度此ノ如クナリケレバ遊女モ怪シミケリ。
其後半年バカリ過テ。彼ノ男ガ朋輩八坂へ行テ遊ビ戯レケ
ルガ。遊女ニ語テ曰ク君ガ淺カラス契リシ男モ。久シク病テ此ノ
三月ニ死シヌト言ケレバ。遊女心得ヌ其ノ人コソ時々來リ玉フ
ナリ如何ニ説謊ヲ宣フゾト言。時ニ彼ノ人イヨク死シタル子
細ヲ語りケリ。其言バ未ダ訖ラザルニ彼ノ死セシ男又來リテ。
我が朋輩ヲ見ルト即チ逃テ。後ノ東司へ往ケリ。遊女驚キ
テ東司へ走り行キ尋ルニ見ヘズ。身ノ毛豎テ歸リケレバ。彼ノ

京ノ愚夫死シテ後モ女ノ方へ來リシ事

邇比洛陽ニ一人ノ男アリ。東山八坂ノ花衢ニ行テ或ル遊女ト

深ク契リケリ。サテ程ナク病テ死シケルニ。死後ニモ猶彼ノ遊女
ガ方へ時々ニ行テ遊ビケリ。遊女問ク君此ノ比ハ御所勞ノ由
ヲ聞ツルニ。今ハ平愈シ玉フヤ尚憔悴シ玉ヘリトイヘバ。彼ノ男
大半ハ平愈シケレドモ未ダ全分快カラス。君ニ會フモ久シカラ
ジトカコチ泣テ。凡ソ毎度此ノ如クナリケレバ遊女モ怪シミケリ。
其後半年バカリ過テ。彼ノ男ガ朋輩八坂へ行テ遊ビ戯レケ
ルガ。遊女ニ語テ曰ク君ガ淺カラス契リシ男モ。久シク病テ此ノ
三月ニ死シヌト言ケレバ。遊女心得ヌ其ノ人コソ時々來リ玉フ
ナリ如何ニ説謊ヲ宣フゾト言。時ニ彼ノ人イヨク死シタル子
細ヲ語りケリ。其言バ未ダ訖ラザルニ彼ノ死セシ男又來リテ。
我が朋輩ヲ見ルト即チ逃テ。後ノ東司へ往ケリ。遊女驚キ
テ東司へ走り行キ尋ルニ見ヘズ。身ノ毛豎テ歸リケレバ。彼ノ

朋輩モ臆ヲ潰シケリ。サテ彼ノ遊女ハソレヨリ二月程ハ病ミケル。其ノ後ハ彼ノ男モ來ラザリケルトナン此モ無下ニ近キヲナリ。愛執ノ深キヲ女人ノミニアラス。男子モカク深キ例ニ多シ。恥ズンバアルベカラズ。

礦石集第三末

奥州馬槽大師ノ事

高祖弘法大師ハ高野山ニ入定ノ全身散ゼズ今現ニ住レ玉ヘリ。昔シ延喜帝ノ夢ニ見玉ヒテ衣ヲ乞ヒ玉ヒシカバ。觀賢僧正ヲ勅使トシテ衣ヲ贈リ玉ヒシヨリコノカタ。毎年三月二十一日ニ御衣ヲ更上ル。山上山下ノ士俗傳ラク。毎年改メ更ル衣ノ裳ニ土著ケリト。是レ全身今ニ住メ十方ニ往來シ。有縁ヲ救濟シ玉フ徴シナリ。設ヒ其ノ衣ノ裳ニハ土著ズトモ。身ヲ百億ニ分チ變化等流ノ身。十方世界ニ現ジ玉フコト何ゾ疑ハシヤ。爰ニ中葉沙門ノ身ヲ現シテ奥州ヲ巡リ有縁ヲ度シ玉フ時。一ノ家ニ至テ宿シ玉フニ。一リノ處女アリ。妹好シテ人多ク慕ヒケリ。沙門ノ威儀閑雅ナルヲ見テ心ニ悦ビ。

朋輩モ臆ヲ潰シケリ。サテ彼ノ遊女ハソレヨリ二月程ハ病ミケル。其ノ後ハ彼ノ男モ來ラザリケルトナン此モ無下ニ近キコトナリ。愛執ノ深キコト女人ノミニアラス。男子モカク深キ例ニ多シ。恥ズンバアルベカラズ。

礦石集第三末

奥州馬槽大師ノ事

高祖弘法大師ハ高野山ニ入定シテ全身散ゼズ今現ニ住シ玉ヘリ。昔シ延喜帝ノ夢ニ見玉ヒテ衣ヲ乞ヒ玉ヒシカバ。觀賢僧正ヲ勅使トシテ衣ヲ贈リ玉ヒシヨリコノカタ。毎年三月二十一日ニ御衣ヲ更上ル。山上山下ノ士俗傳ラク。毎年改メ更ル衣ノ裳ニ土著ケリト。是レ全身今ニ住シテ十方ニ往來シ。有縁ヲ救濟シ玉フ徴シナリ。設ヒ其ノ衣ノ裳ニハ土著ズトモ。身ヲ百億ニ分チ變化等流ノ身。十方世界ニ現ジ玉フコト何ゾ疑ハシヤ。爰ニ中葉沙門ノ身ヲ現シテ奥州ヲ巡リ有縁ヲ度シ玉フ時。一ノ家ニ至テ宿シ玉フニ。一リノ處女アリ。妹好シテ人多ク慕ヒケリ。沙門ノ威儀閑雅ナルヲ見テ心ニ悦ビ。

凡人ナリト思テ隙ヲ伺テ情ヲ通ジケリ。沙門種種ニ説法シテ曉ストイヘ更ニ聞入ズ。若シ情ヲ遂ズンバ必ズ命ヲ断ベシト。種種ニ誨ケレバ沙門許シテ夜ニ入テ我カ臥セル處ニ來ルベシト約ス。處女悦ビテ夜ル來テ抱クニ。初メハ彼ノ僧カト思ヒシニ僧ニテハナクテ馬槽ナリ。處女コハ妖物ナリト思テ驚キ欲火稍靜マリヌ。夜旦テ見ルニ彼ノ沙門ハ行方ヲ知ズ。只馬槽ノ中ニ弘法大師ノ尊容明ニ描ケルアリ。處女驚キテサテハ大師ノ來リ玉ヘルナリ。アサマシクモ聖者ヲ汚シ奉ラントセリト。自ラ改悔シテ父母ニ其ノ由ヲ語りケレバ。即チ彼ノ馬槽ヲ以テ本尊トシテ一寺ヲ建立シ。馬槽大師ト号シ奉ル。今現ニ奥州ニアリトゾ。此モ處女ノ心甚ダ恐ロシキコトナリ。彼ノ道成寺ノ事思ヒ合サレテ悲シ。彼ハ凡人ナレバ終ニ苦趣

ニ墮ス。此レハ聖者ナレバ善趣ニ導キ玉ヘリ。舍利弗ハ聲聞ナレバ瞿伽離ガ諷ヲ受ケテ。瞿伽離阿鼻ニ墮シ。弥勒ハ菩薩ナレバ外道ヲシテ信ヲ生ゼシメシガ如シ。事異ナレバ頗ル相ヒ似タリ。○又昔シ新羅國ニ義湘法師ト云アリ。海東花嚴宗ノ鼻祖ナリ。天性英奇ニシテ早く出家セリ。唐土ノ教宗鼎ニ盛ナルコトヲ聞テ。元曉大師ト共ニ大唐ニ赴ク。元曉大師ハ道ヨリ。歸リ玉フ。義湘法師ハ獨リ退クコトナク。總章二年ニ登州ノ岸ニ達シ。分衛シテ一リノ信士ノ家ニ到テ留連ス。家ニ少女アリ善妙ト名ク。義湘ノ容色挺特タルヲ見テ。衣服ヲ飾リ靚粧シテ巧ニ媚情ヲ通シテ誨クニ。義湘ノ心石ノ如ニシテ轉ズベカラズ。少女種々調ケトモ答ヘズ。時ニ善妙女頓ニ道心ヲ發シ。義湘ノ前ニ於テ大願ヲ矢テ曰ク。我生々

凡人ナリト思テ隙ヲ伺テ情ヲ通ジケリ。沙門種種ニ説法シテ曉ストイヘトモ更ニ聞入ズ。若シ情ヲ遂ズンバ必ズ命ヲ断ベシト。種種ニ誨ケレバ沙門許シテ夜ニ入テ我カ臥セル處ニ來ルベシト約ス。處女悦ビテ夜ル來テ抱クニ。初メハ彼ノ僧カト思ヒシニ僧ニテハナクテ馬槽ナリ。處女コハ妖物ナリト思テ驚キ欲火稍靜マリヌ。夜旦テ見ルニ彼ノ沙門ハ行方ヲ知ズ。只馬槽ノ中ニ弘法大師ノ尊容明ニ描ケルアリ。處女驚キテサテハ大師ノ來リ玉ヘルナリ。アサマシクモ聖者ヲ汚シ奉ラントセリト。自ラ改悔シテ父母ニ其ノ由ヲ語りケレバ。即チ彼ノ馬槽ヲ以テ本尊トシテ一寺ヲ建立シ。馬槽大師ト号シ奉ル。今現ニ奥州ニアリトゾ。此モ處女ノ心甚ダ恐ロシキコトナリ。彼ノ道成寺ノ事思ヒ合サレテ悲シ。彼ハ凡人ナレバ終ニ苦趣

ニ墮ス。此レハ聖者ナレバ善趣ニ導キ玉ヘリ。舍利弗ハ聲聞ナレバ瞿伽離ガ諷ヲ受ケテ。瞿伽離阿鼻ニ墮シ。弥勒ハ菩薩ナレバ外道ヲシテ信ヲ生ゼシメシガ如シ。事異ナレトモ頗ル相ヒ似タリ。○又昔シ新羅國ニ義湘法師ト云アリ。海東花嚴宗ノ鼻祖ナリ。天性英奇ニシテ早く出家セリ。唐土ノ教宗鼎ニ盛ナルコトヲ聞テ。元曉大師ト共ニ大唐ニ赴ク。元曉大師ハ道ヨリ。歸リ玉フ。義湘法師ハ獨リ退クコトナク。總章二年ニ登州ノ岸ニ達シ。分衛シテ一リノ信士ノ家ニ到テ留連ス。家ニ少女アリ善妙ト名ク。義湘ノ容色挺特タルヲ見テ。衣服ヲ飾リ靚粧シテ巧ニ媚情ヲ通シテ誨クニ。義湘ノ心石ノ如ニシテ轉ズベカラズ。少女種々調ケトモ答ヘズ。時ニ善妙女頓ニ道心ヲ發シ。義湘ノ前ニ於テ大願ヲ矢テ曰ク。我生々

世々ニ和尚ニ歸命セシ。大乘ヲ習學シ大事ヲ成就シ玉ハ、
弟子必ズ檀越ト爲テ資縁ヲ供給セント。義湘ハソレヨリ
大唐ノ長安ニ赴キ。終南山ノ智儼三藏ノ所ニ於テ。康藏
國師ト同學ト成テ花嚴經ヲ學ビ。德瓶云ニ滿藏海ニ
遊戯シテ。後ニ新羅國ニ歸ル。善妙女ハ終ニ嫁セズ義湘ノ歸
ルヲ待チ。法服并ニ諸ノ什器ヲ辦集シテ篋笥ニ盈テ、供
養ゼンコトヲ期ス。義湘歸ル時ニ登州ノ善妙カ家ニ到リ。信士
ニ謙シテ即チ船ニ乗シテ去ル。善妙女海岸ニ到テ法衣等ヲ贈
ラントスルニ義湘ノ船已ニ遠ク出ヌ。善妙女即チ咒シテ曰ク。我
本眞實心ヲ以テ法師ニ供養ス。此ノ言妄ナクハ是ノ衣篋必ズ
飛テ船ニ入ト。言訖テ篋ヲ駭浪ニ投グ。其ノ志ノ深キヲ龍
神モ納受ヤシタリケン。時ニ疾風アツテ衣篋ヲ吹テ船中ニ送ル

鴻毛ノ如シ。善妙女衣篋ノ終ニ義湘ノ船ニ入ルヲ見テ
悦ビ。復誓テ曰ク我レ願ハクハ此ノ身大龍ト成テ。義湘ノ
船ヲ扶翼シテ恙ナク國ニ到ラシメ。大法ヲ傳ヘシメント言
訖テ身ヲ海中ニ投ルニ。忽ニ大龍ト成テ形ヲ伸テ天矯タ
リ。或ハ躍テ舟ノ底ニ蜿蜒タリ。其ノ船果シテ恙ナク終ニ新
羅國ニ著ヌ。義湘國ニ歸テ普ク名山靈區ヲ見ル。義湘念ハ
ク大華嚴ノ教福善ノ地ニアラズンバ興ルベカラズト。時ニ善妙龍
常ニ隨テ擁護セシガ。即チ義湘ノ心ヲ知テ乃チ大神變ヲ現
ス。虚空ノ中ニ於テ化シテ一里四方ノ大石ト成テ。伽藍ノ頂ニ蓋テ
マサニ墜ントス。諸僧驚駭シテ四方ニ奔走スレトモ。義湘ハ善妙ガ所
爲ナルコトヲ知テ遂ニ恐レズ。寺ニ入テ經ヲ講ズ。國王此ノ靈異ヲ
聞テ田莊及ビ奴僕ヲ施ス。義湘受ズシテ曰ク。我法ハ平等ニ高

世々ニ和尚ニ歸命セシ。大乘ヲ習學シ大事ヲ成就シ玉ハ、
弟子必ズ檀越ト爲テ資縁ヲ供給セント。義湘ハソレヨリ
大唐ノ長安ニ赴キ。終南山ノ智儼三藏ノ所ニ於テ。康藏
國師ト同學ト成テ花嚴經ヲ學ビ。德瓶云ニ滿藏海ニ
遊戯シテ。後ニ新羅國ニ歸ル。善妙女ハ終ニ嫁セズ義湘ノ歸
ルヲ待チ。法服并ニ諸ノ什器ヲ辦集シテ篋笥ニ盈テ、供
養ゼンコトヲ期ス。義湘歸ル時ニ登州ノ善妙カ家ニ到リ。信士
ニ謙シテ即チ船ニ乗シテ去ル。善妙女海岸ニ到テ法衣等ヲ贈
ラントスルニ義湘ノ船已ニ遠ク出ヌ。善妙女即チ咒シテ曰ク。我
本眞實心ヲ以テ法師ニ供養ス。此ノ言妄ナクハ是ノ衣篋必ズ
飛テ船ニ入ト。言訖テ篋ヲ駭浪ニ投グ。其ノ志ノ深キヲ龍
神モ納受ヤシタリケン。時ニ疾風アツテ衣篋ヲ吹テ船中ニ送ル

コト鴻毛ノ如シ。善妙女衣篋ノ終ニ義湘ノ船ニ入ルヲ見テ
悦ビ。復誓テ曰ク我レ願ハクハ此ノ身大龍ト成テ。義湘ノ
船ヲ扶翼シテ恙ナク國ニ到ラシメ。大法ヲ傳ヘシメント言
訖テ身ヲ海中ニ投ルニ。忽ニ大龍ト成テ形ヲ伸テ天矯タ
リ。或ハ躍テ舟ノ底ニ蜿蜒タリ。其ノ船果シテ恙ナク終ニ新
羅國ニ著ヌ。義湘國ニ歸テ普ク名山靈區ヲ見ル。義湘念ハ
ク大華嚴ノ教福善ノ地ニアラズンバ興ルベカラズト。時ニ善妙龍
常ニ隨テ擁護セシガ。即チ義湘ノ心ヲ知テ乃チ大神變ヲ現
ズ。虚空ノ中ニ於テ化シテ一里四方ノ大石ト成テ。伽藍ノ頂ニ蓋テ
マサニ墜ントス。諸僧驚駭シテ四方ニ奔走スレトモ。義湘ハ善妙ガ所
爲ナルコトヲ知テ遂ニ恐レズ。寺ニ入テ經ヲ講ズ。國王此ノ靈異ヲ
聞テ田莊及ビ奴僕ヲ施ス。義湘受ズシテ曰ク。我法ハ平等ニ高

下貴賤共ニ均シ。八不淨財何ノ莊田奴僕ヲカ用ニ。貧道
法界ヲ以テ家トシ。孟耕ヲ以テ稔ヲ待ツ。法身ノ慧命此
ニ藉テ生ズト。終ニ華嚴宗ヲ海東ニ廣メテ大ニ佛法ヲ弘
通ストイヘリ。故ニ沙門トナリテモ猶恐ルベキハ女人ノ媚態
ナリ。サレバ法華ニハ處女(スス)寡女(グワニヨ)ニ近カザレ。諸ノ優婆夷及ビ
比丘尼ノ戲笑ヲ好ム者ニ親近セザレト誠メ玉ヘリ。

大坂ノ女生身二人ノ妻ヲ噉殺セル事

大坂何ノ町トカヤニ一人ノ男アリ。或中年ノ女ト共ニ一家ニ
奴婢ト成リテ年ヲ送レリ。此ノ男彼女ト年シク契ラヒ
テ。我必ズ汝ヲ妻ト為ベシト常々ニ言ケリ。年期既ニ滿ジケ
レバ彼男其ノ家ヲ出デ、他町ニ家ヲ借りテ商賣セルニ。終ニ
初ノ約ヲ忘レテ新ニ年少キ女ヲ娶リテ棲ケリ。初ノ女此ノ

事ヲ聞テ身ヲ悶テ恨ミ瞋リ終ニ病トナレリ。或時午
後ニ臥シ居ケルガ。太息ツキテ遍體ニ汗シケルヲ。傍ナル人
何事ニカト問ケレバ。目ハ血ノ如クニ成テ曰ク。今暫ラク眠
ルニ憎キ男メガ家ヘ往テ思ノマニ。振舞テ歸ルト夢ミケ
リト云。口ヲ見ルニ血多ク著タリ。傍ナル人身毛豎テゾ
恐レケル。サテ其時ニ丁テ彼ノ男カ家ニ。夫ハ他行シテ妻唯
一人居タリシニ。アツト言テ死シヌ。死骸ヲ見ルニ何物ノ所
爲ヤラン。亢ヲ嚙切りテ殺シケリ。後ニ男歸リテ隣家ニ問
フ。隣家ノ人ノ言ク。四十可ノ女人家ノ戶外マデ來レルガ。
物ニ恐ル、氣色ニテ。予ガ家ノ土間ヲ通りテ裏ヘヌケ。君ガ
家ニ至ルカト思フトアツト云聲シケリト語ル。男聞テ正シク
我カ初メニ契ラヒシ女ノ所為ナルコトヲ知テ。即チ出家セリ。

下貴賤共ニ均シ。八不淨財何ノ莊田奴僕ヲカ用ニ。貧道
法界ヲ以テ家トシ。孟耕ヲ以テ稔ヲ待ツ。法身ノ慧命此
ニ藉テ生ズト。終ニ華嚴宗ヲ海東ニ廣メテ大ニ佛法ヲ弘
通ストイヘリ。故ニ沙門トナリテモ猶恐ルベキハ女人ノ媚態
ナリ。サレバ法華ニハ處女(スス)寡女(グワニヨ)ニ近カザレ。諸ノ優婆夷及ビ
比丘尼ノ戲笑ヲ好ム者ニ親近セザレト誠メ玉ヘリ。

大坂ノ女生身二人ノ妻ヲ噉殺セル事

大坂何ノ町トカヤニ一人ノ男アリ。或中年ノ女ト共ニ一家ニ
奴婢ト成リテ年ヲ送レリ。此ノ男彼女ト年シク契ラヒ
テ。我必ズ汝ヲ妻ト為ベシト常々ニ言ケリ。年期既ニ滿ジケ
レバ彼男其ノ家ヲ出デ、他町ニ家ヲ借りテ商賣セルニ。終ニ
初ノ約ヲ忘レテ新ニ年少キ女ヲ娶リテ棲ケリ。初ノ女此ノ

事ヲ聞テ身ヲ悶テ恨ミ瞋リ終ニ病トナレリ。或時午
後ニ臥シ居ケルガ。太息ツキテ遍體ニ汗シケルヲ。傍ナル人
何事ニカト問ケレバ。目ハ血ノ如クニ成テ曰ク。今暫ラク眠
ルニ憎キ男メガ家ヘ往テ思ノマニ。振舞テ歸ルト夢ミケ
リト云。口ヲ見ルニ血多ク著タリ。傍ナル人身毛豎テゾ
恐レケル。サテ其時ニ丁テ彼ノ男カ家ニ。夫ハ他行シテ妻唯
一人居タリシニ。アツト言テ死シヌ。死骸ヲ見ルニ何物ノ所
爲ヤラン。亢ヲ嚙切りテ殺シケリ。後ニ男歸リテ隣家ニ問
フ。隣家ノ人ノ言ク。四十可ノ女人家ノ戶外マデ來レルガ。
物ニ恐ル、氣色ニテ。予ガ家ノ土間ヲ通りテ裏ヘヌケ。君ガ
家ニ至ルカト思フトアツト云聲シケリト語ル。男聞テ正シク
我カ初メニ契ラヒシ女ノ所為ナルコトヲ知テ。即チ出家セリ。

彼戸外ニテ物ニ恐レタルハ祈禱ノ札ニ梵字アルヲ恐レタ
ルナリ。後ニ彼此聞合セテ諸人恐レ悲シメリ。此ノ事近比ノ
事ニテ。町ノ名モ聞カド忘レタリ。○又河内澀河郡久寶
寺ノ人平野ニ妻ヲ藏シ置テ夜々通ヒケルニ。或夜用事多
クテ夜半マデニ行クコトヲ得ズ。丑ノ上刻ニ平野へ行二前ヨリ
挑燈程ノ火來レルヲ見ル。人ノ來ルカト思フニ石橋ノ處ニテ
行合タレバ即チ消テ見ザリケリ。狐ノ火ニテヤアルラント思
テ。終ニ彼ノ妻ガ家へ到テ常ノ如クニ臥シケレバ。妾語テ曰ク
今夜ハ君アマリニ運カリツルマ。待疲レテ眠リタル夢ニ久
寶寺へ迎ニ行ケルガ。石橋ニテ君ニ逢テ嬉シクテ歸ルト見シ。
夢モ能ク圓モノナリト語りケレバ。男身毛堅テ彼ノ火ハ即チ妾
ナリト覺テ。其ノ後ハカレ／＼ニナリテ終ニ通ハザリケリ。是亦執

心ノ深キ故ナリ。又心ノ藏ハ火ヲ主ル密教ニ悉多心ハ白色圓
形ト建立セリ。サレバ夢ハ獨頭ノ意識ノ所為ナレバ。夫ヲ思フ第
六意識獨リ行シハ。火ニ見タルモ理ハリナリ。是白色圓形ノ
能キ證據ナリ。又人魂ノ飛モ白色ノ物ナリトイヘリ。是モ亦
同ジ意ナリ。○因ミニ記ス攝州昆陽ノ清兵衛ト云者。或夏
ノ夜山田村へ行ケレバ。道ニ火アリシヲ妖物ナリ打殺サバヤ
ト思ツテ追ケルニ。彼ノ火逃テ山田村ノ知己ノ家ニ到リ。二
階ノ窓ヨリ入レリ。清兵衛不思議ニ思ヒ戸ヲ扣キテ入り
ケレバ。主人遍體汗シ太息ツイテアラソノロシトイヘリ。清兵
衛何事ゾヤト問ニ。主人ノ曰ク夢ニ昆陽ニ行キシニ。何人ヤラン
我ヲ追テ家ノ前マデ追付タリ辛クシテ命ヲ延ベタリト云。清
兵衛シカ／＼ト語りケレバ大ニ恥ケリ。是モ近比ノ事ナリ。心ハ

彼戸外ニテ物ニ恐レタルハ祈禱ノ札ニ梵字アルヲ恐レタ
ルナリ。後ニ彼此聞合セテ諸人恐レ悲シメリ。此ノ事近比ノ
事ニテ。町ノ名モ聞シカド忘レタリ。○又河内澀河郡。久寶
寺ノ人平野ニ妻ヲ藏シ置テ夜々通ヒケルニ。或夜用事多
クテ夜半マデニ行クコトヲ得ズ。丑ノ上刻ニ平野へ行二前ヨリ
挑燈程ノ火來レルヲ見ル。人ノ來ルカト思フニ石橋ノ處ニテ
行合タレバ即チ消テ見ザリケリ。狐ノ火ニテヤアルラント思
テ。終ニ彼ノ妻ガ家へ到テ常ノ如クニ臥シケレバ。妾語テ曰ク
今夜ハ君アマリニ運カリツルマ。待疲レテ眠リタル夢ニ久
寶寺へ迎ニ行ケルガ。石橋ニテ君ニ逢テ嬉シクテ歸ルト見シ。
夢モ能ク圓モノナリト語りケレバ。男身毛堅テ彼ノ火ハ即チ妾
ナリト覺テ。其ノ後ハカレ／＼ニナリテ終ニ通ハザリケリ。是亦執

心ノ深キ故ナリ。又心ノ藏ハ火ヲ主ル密教ニ悉多心ハ白色圓
形ト建立セリ。サレバ夢ハ獨頭ノ意識ノ所為ナレバ。夫ヲ思フ第
六意識獨リ行シハ。火ニ見タルモ理ハリナリ。是白色圓形ノ
能キ證據ナリ。又人魂ノ飛モ白色ノ物ナリトイヘリ。是モ亦
同ジ意ナリ。○因ミニ記ス攝州昆陽ノ清兵衛ト云者。或夏
ノ夜山田村へ行ケレバ。道ニ火アリシヲ妖物ナリ。打殺サバヤ
ト思ツテ追ケルニ。彼ノ火逃テ山田村ノ知己ノ家ニ到リ。二
階ノ窓ヨリ入レリ。清兵衛不思議ニ思ヒ戸ヲ扣キテ入り
ケレバ。主人遍體汗シ太息ツイテアラソノロシトイヘリ。清兵
衛何事ゾヤト問ニ。主人ノ曰ク夢ニ昆陽ニ行キシニ。何人ヤラン
我ヲ追テ家ノ前マデ追付タリ辛クシテ命ヲ延ベタリト云。清
兵衛シカ／＼ト語りケレバ大ニ恥ケリ。是モ近比ノ事ナリ。心ハ

火ナルコト例證ニニアラス。又攝州六甲ノ郡ニ或人本妻アルニ
傍ニ妾ヲ持ケリ。妾事ノ外ニ嫉妬深クテ後ニハ病テ終ニ
死ス。其ノ死骸本妻ノ元ニ食付テ殺シケリ。無下ニ近キ
事ナレバ夫ノ名ヲ斥ズ。左右癡愛ノ執。嫉妬ノ念ホド恐口
ニキフハアラシ。慎マズンバアルベカラズ

下總國般若塚ノ事

昔シ中葉弘法大師。沙門ノ身ヲ現シテ關東ヲ巡リ。有縁ヲ
度シ玉フ次デ。或ル有徳ノ信士ノ家ニ屢來リ玉ヘリ。信士ハ
淨信決定ノ人ニテ常ニ快ク供養シ奉リヌ。或時沙門信士
ニ語テ曰ク大般若ハ功德莫大ノ經ナリ。況ヤ經ノ中ニモ末
世ニ東北方ノ衆生此經ヲ書寫シ轉讀シテ無量ノ福ヲ得ベ
シト説玉ヘリ。竺乾ヨリ扶桑國ハ東北方ニ當ルナレバ。信士若シ

此經ヲ書寫セバ即チ如來ノ懸記ニ叶ヘリ汝カ子孫苗
裔ニ至ルマデ富貴安穩ナルベシト。信士答テ曰ク欽テ仰ヲ
承リ侍レドモ。六百卷ノ經ナレバ多クノ僧ヲ請ジ奉ルトモ。
輒ク功ヲ成シ難カルベシト。其時沙門ノ曰ク憂慮スルコトナ
カレ。帛墨及ビ筆ハ我レ自ラ辦ズベシ。汝ハ唯機及ビ一字ノ
假屋並ニ六百挺ノ蠟燭ヲ辦備セヨ。我一人シテ書寫シ與
フベシトアリケレバ。信士歡喜シテ忽ギ假屋ヲ造リ蠟燭六百
挺ヲ調ヘケリ。沙門去テ自ラ經紙及ビ筆墨ヲ負來リ玉
ヘリ。サテ信士ニ告テ曰ク今夕ハ吉日ナリ。書寫シ始ムベシ。我
彼ノ假屋ノ中ニ入ナバ必ズ觀キ見コトナカレト。堅ク誠メテ六百
挺ノ蠟燭ヲ持シテ假屋ノ中ニ入り。堅ク扉ソヲ閉玉ヒケリ。信士
誠メテ蒙ルトイヘトモ心ニ疑フラク。一人シテ書寫ヲ初メ玉フニ燭ノ

火ナルコト例證ニニアラス。又攝州六甲ノ郡ニ或人本妻アルニ
傍ニ妾ヲ持ケリ。妾事ノ外ニ嫉妬深クテ後ニハ病テ終ニ
死ス。其ノ死骸本妻ノ元ニ食付テ殺シケリ。無下ニ近キ
事ナレバ夫ノ名ヲ斥ズ。左右癡愛ノ執。嫉妬ノ念ホド恐口
ニキフハアラシ。慎マズンバアルベカラズ

下總國般若塚ノ事

昔シ中葉弘法大師。沙門ノ身ヲ現シテ關東ヲ巡リ。有縁ヲ
度シ玉フ次デ。或ル有徳ノ信士ノ家ニ屢來リ玉ヘリ。信士ハ
淨信決定ノ人ニテ常ニ快ク供養シ奉リヌ。或時沙門信士
ニ語テ曰ク大般若ハ功德莫大ノ經ナリ。況ヤ經ノ中ニモ末
世ニ東北方ノ衆生此經ヲ書寫シ轉讀シテ無量ノ福ヲ得ベ
シト説玉ヘリ。竺乾ヨリ扶桑國ハ東北方ニ當ルナレバ。信士若シ

此經ヲ書寫セバ即チ如來ノ懸記ニ叶ヘリ汝カ子孫苗
裔ニ至ルマデ富貴安穩ナルベシト。信士答テ曰ク欽テ仰ヲ
承リ侍レドモ。六百卷ノ經ナレバ多クノ僧ヲ請ジ奉ルトモ。
輒ク功ヲ成シ難カルベシト。其時沙門ノ曰ク憂慮スルコトナ
カレ。帛墨及ビ筆ハ我レ自ラ辦ズベシ。汝ハ唯機及ビ一字ノ
假屋並ニ六百挺ノ蠟燭ヲ辦備セヨ。我一人シテ書寫シ與
フベシトアリケレバ。信士歡喜シテ忽ギ假屋ヲ造リ蠟燭六百
挺ヲ調ヘケリ。沙門去テ自ラ經紙及ビ筆墨ヲ負來リ玉
ヘリ。サテ信士ニ告テ曰ク今夕ハ吉日ナリ。書寫シ始ムベシ。我
彼ノ假屋ノ中ニ入ナバ必ズ觀キ見コトナカレト。堅ク誠メテ六百
挺ノ蠟燭ヲ持シテ假屋ノ中ニ入り。堅ク扉ソヲ閉玉ヒケリ。信士
誠メテ蒙ルトイヘトモ心ニ疑フラク。一人シテ書寫ヲ初メ玉フニ燭ノ

多キサヘアルニ。堅ク見ルコトナカレト誠メ玉フハ怪ガ中ノ奇怪ナリト思テ私カニ戸ノ隙ヨリ闚キ看ルニ。假屋ノ中變シテ廣大ニナリテ。六百挺ノ蠟燭ヲ悉ク然シ列ネ。彼僧分身シテ六百人トナリ。六百ノ机ノ前ニ坐シテ一時二書玉フ。アリガタク不思議ニ思フニ忽チニ六百挺ノ蠟燭皆ナ消ケリ。アサマシト思フ處ニ彼ノ沙門出テノ玉ハク。ノゾクコトナカレト誠メシニ。約フ垂テ見ルガ故ニ大般若成就セズ。然リトイヘトモ少シバカリ書初メタリ。此ヲモ供養ゼバ全部ノ功德ニ替ルコトベカラズトテ。其夜何クトモ去リ玉ヒテ再ビ來リ玉ハザリケリ。サテ彼ノ經ヲ拜見スルニ。正シク高祖ノ御筆ナルヲ濫レナシ。六百卷ノ各初ヲ三行ツ、書キ玉ヘリ。彼ノ信士約ヲ乖カズンバ皆満足成就スベキヲトテ。齋ヲ噬ケレトモ及バザリケリ。サテ彼ノ經ヲ藏

メテ一寺ヲ造シ般若寺ト号ス。般若ヲ書玉ヘル處ヲ今ニ般若塚ト名ク。近郷ノ疾疫災殃等ニ此ノ經ヲ請テ供養スルニ。利益掲焉ナルコト谷ノ響ノ空シカラザルガ如シ。其經今ニアリ。余來今ニ至ルマデ十九代家富ミ榮ヘケリ。延寶ノ比ノ主ヲ大圓道伯居士ト名ク。此ノ人ニ相見セシ僧ノ物語ヲ予面會リ聞リ。大師處々ノ利生勝テ計フベカラズ。中ニモ是ハ希有ノ事ナリ。因ニ記ス。今ノ人大般若ヲ轉讀スルニ。初メ七行。中五行。後三行。讀ヲ轉讀ト心得。一一ニ殘サズ讀ヲ眞讀ト号ス。大ナル僻ガ事ナリ。一一ニ讀ヲ轉讀ト名ヅクルナリ。眞讀ノ名目ハ經疏ノ中ニ未ダ出處ヲ見ズ。此ノ僻解ヨリゾ札ニモ轉越トモ轉繙トモ書キケル。片腹痛キ事トモナリ。○又次ニ大師遊行シテ河内ノ國木ノ本村ニ至リ。午時ニ或家ニ到テ齋ヲ

多キサヘアルニ。堅ク見ルコトナカレト誠メ玉フハ怪ガ中ノ奇怪ナリト思テ私カニ戸ノ隙ヨリ闚キ看ルニ。假屋ノ中變シテ廣大ニナリテ。六百挺ノ蠟燭ヲ悉ク然シ列ネ。彼僧分身シテ六百人トナリ。六百ノ机ノ前ニ坐シテ一時二書玉フ。アリガタク不思議ニ思フニ忽チニ六百挺ノ蠟燭皆ナ消ケリ。アサマシト思フ處ニ彼ノ沙門出テノ玉ハク。ノゾクコトナカレト誠メシニ。約フ垂テ見ルガ故ニ大般若成就セズ。然リトイヘトモ少シバカリ書初メタリ。此ヲモ供養ゼバ全部ノ功德ニ替ルコトベカラズトテ。其夜何クトモ去リ玉ヒテ再ビ來リ玉ハザリケリ。サテ彼ノ經ヲ拜見スルニ。正シク高祖ノ御筆ナルコト濫レナシ。六百卷ノ各初ヲ三行ツ、書キ玉ヘリ。彼ノ信士約ヲ乖カズンバ皆満足成就スベキヲトテ。齋ヲ噬ケレトモ及バザリケリ。サテ彼ノ經ヲ藏

メテ一寺ヲ造シ般若寺ト号ス。般若ヲ書玉ヘル處ヲ今ニ般若塚ト名ク。近郷ノ疾疫災殃等ニ此ノ經ヲ請テ供養スルニ。利益掲焉ナルコト谷ノ響ノ空シカラザルガ如シ。其經今ニアリ。余來今ニ至ルマデ十九代家富ミ榮ヘケリ。延寶ノ比ノ主ヲ大圓道伯居士ト名ク。此ノ人ニ相見セシ僧ノ物語ヲ予面會リ聞リ。大師處々ノ利生勝テ計フベカラズ。中ニモ是ハ希有ノ事ナリ。因ニ記ス。今ノ人大般若ヲ轉讀スルニ。初メ七行。中五行。後三行。讀ヲ轉讀ト心得。一一ニ殘サズ讀ヲ眞讀ト号ス。大ナル僻ガ事ナリ。一一ニ讀ヲ轉讀ト名ヅクルナリ。眞讀ノ名目ハ經疏ノ中ニ未ダ出處ヲ見ズ。此ノ僻解ヨリゾ札ニモ轉越トモ轉繙トモ書キケル。片腹痛キ事トモナリ。○又次ニ大師遊行シテ河内ノ國木ノ本村ニ至リ。午時ニ或家ニ到テ齋ヲ

乞玉フ。家主ノ曰ク今麥ヲ煮シ侍ル暫ク待玉ヘ。麥飯ハ二度煮ザレバ能ク熟セズ惜ムニハアラズト。大師ノ曰ク我今甚疲レタリ待テ得ジ。強テ食セシメヨトアリケレバ。即チ供養ニ奉レリ。サテ午齋竟テ家主ニ告玉ハク。此ノ世界アラン限リハ汝ガ家ニハ麥飯ヲ二度煮テ用ヒザレ。一度ニテ能ク熟スベシトテ去リ玉ヒヌ。其ノ後ニ彼家ニ麥飯一度ニ熟シケリ。河内ノ俗此ヲ木本ノタクク飯ト呼ベリ。其家今ニアリ。實ニ聖者ヲ供養シ奉ル功德無邊ナルヲヤ。今ノ世ニモ大師ノ世ニ應シテ攝化利生シ玉ヘルアルベシ。信敬セズンバアルベカラズ。

長州三隅村ニ大師稻ヲ蒔玉フ事
長門國大津ノ郡三隅ノ中村ニ喜右衛門ト云農夫アリ。片

夷中ノ事ナレバ佛法ヲ聞ルコトモナシ。何ヲ勤ムト云コトモナカリケレド。人ノユルシタル無欲正直ナル男ニテゾアリケル。寛文二年ノ十二月盡日ニ行脚ノ僧來リテ一宿ヲ乞玉フ。喜右衛門宿ヲカシケリ。明レバ正月元日ナリ。片夷中ノ風ハ元日ニ僧ヲ見ルコトヲ諱ニ。此男ノ心ヨク宿ヲカセルモ誠ニ奇特ノ志シナリ。彼僧元朝夙ニ興テ誦經シ玉フマ。喜右衛門語テ曰ク。我ハ苦シカラズトイヘト隣家ニ經ノ聲聞ヘナバ他人嫌フベシ。微音ニ誦ジ玉ヘト。僧ノ曰ク我誦經ノ音ハ壁外ニ聞ユルコトアラジ。憂慮シ玉フナトテ。久シク誦ジ玉ヒヌ。朝飯已ニ竟テ喫茶シ。昨夜ノ一宿主人ノ芳情忘レガタシ。春中ニ來リテ必ズ謝スベシトテ歸リ玉ヘリ。サテ寛文三年三月廿日ニ苗代ヲコシラヘ稻ヲ蒔バヤト思ヒ。二十一日ノ朝苗代ニ行テ見ルニ。

コヒユフ。家主ノ曰ク今麥ヲ煮シ侍ル暫ク待玉ヘ。麥飯ハ二度煮ザレバ能ク熟セズ惜ムニハアラズト。大師ノ曰ク我今甚疲レタリ待テ得ジ。強テ食セシメヨトアリケレバ。即チ供養ニ奉レリ。サテ午齋竟テ家主ニ告玉ハク。此ノ世界アラン限リハ汝ガ家ニハ麥飯ヲ二度煮コトヲ用ヒザレ。一度ニテ能ク熟スベシトテ去リ玉ヒヌ。其ノ後ニ彼家ニ麥飯一度ニ熟シケリ。河内ノ俗此ヲ木本ノタクク飯ト呼ベリ。其家今ニアリ。實ニ聖者ヲ供養シ奉ル功德無邊ナルヲヤ。今ノ世ニモ大師ノ世ニ應シテ攝化利生シ玉ヘルアルベシ。信敬セズンバアルベカラズ。

長州三隅村ニ大師稻ヲ蒔玉フ事
長門國大津ノ郡三隅ノ中村ニ喜右衛門ト云農夫アリ。片

夷中ノ事ナレバ佛法ヲ聞ルコトモナシ。何ヲ勤ムト云コトモナカリケレド。人ノユルシタル無欲正直ナル男ニテゾアリケル。寛文二年ノ十二月盡日ニ行脚ノ僧來リテ一宿ヲ乞玉フ。喜右衛門宿ヲカシケリ。明レバ正月元日ナリ。片夷中ノ風ハ元日ニ僧ヲ見ルコトヲ諱ニ。此男ノ心ヨク宿ヲカセルモ誠ニ奇特ノ志シナリ。彼僧元朝夙ニ興テ誦經シ玉フマ。喜右衛門語テ曰ク。我ハ苦シカラズトイヘト隣家ニ經ノ聲聞ヘナバ他人嫌フベシ。微音ニ誦ジ玉ヘト。僧ノ曰ク我誦經ノ音ハ壁外ニ聞ユルコトアラジ。憂慮シ玉フナトテ。久シク誦ジ玉ヒヌ。朝飯已ニ竟テ喫茶シ。昨夜ノ一宿主人ノ芳情忘レガタシ。春中ニ來リテ必ズ謝スベシトテ歸リ玉ヘリ。サテ寛文三年三月廿日ニ苗代ヲコシラヘ稻ヲ蒔バヤト思ヒ。二十一日ノ朝苗代ニ行テ見ルニ。

一夜ノ中ニ何人ノ時タルヤラン皆稻ヲ時タリ。喜右衛門怪シミテ諸人ニ問ニ知ル人ナシ。田ノ畔及ビ中ヲ見ルニ人ノ跡アルコトナシ。人々聚集リテ寔ニ凡人ノ所作ニアラスト不思議ニ思ヒケリ。或武士來テ見テ曰ク。四國ニハ弘法大師稻ヲ時玉ヘル例シアリ。今朝三月廿一日ナリ是レ當ニ大師ノ時玉ヘルナルベシト。喜右衛門驚テ曰ク。サルコトコソ候ハン。大盡日ニ宿カシ候御僧コソ不思議ノ僧ニテ侍ル。歸サニ春中ニ來リテ恩ヲ報ズベシトノ玉ヘリ。實ニ大師ノ來リ玉ヘルナルベシ。是モ大師ノ時玉フナラントテ。歡喜ノ涙ヲ流セリ。時ニ信ゼザル者アツテ曰ク。若シ大師ノ時玉ヘルナラバ神變ノ利益アルベシ。試ヨトテ瘞者彼ノ田ノ水ヲ飲ニ即チ善ク言フ盲者眼ヲ洗フニ兩眼忽ニ明ナリ。サテコソ大師ノ時玉ヘルナリ

ケルトテ。國中ノ貴賤男女羣リ集リテ拜シ。後ニハ誰カ言傳フトモシラヌ火ノ筑紫ノ人モ皆來リ。四國。中國。畿内。北國マテモ聞ヘテ。衆人參詣シテ利益ヲ得ルコト無邊ナリ。チンバ。イザリ。癩瘡。ツンボウ。疝氣。寸白。頭痛。目眩。凡ソアラユル痼疾愈スト云フナシ。唯シ人ノ信不信ニヨレリ。或ハ稻ノ穂ヲ拔テ去ル者アリ。或ハ水ヲ瓶及ビ竹筒ニ盛テ去ル人アリ。土ヲ裏ミテ歸ル人モアリケリ。喜右衛門ニハ諸人財寶ヲ與ヘケレハ俄ニ大富人トナレリ。アマリ夥シク人集リケレバ。大守大江ノ綱廣卿。江戸ニアツテ大對ヘ白シ。台使アリテ實否ヲ正サレケリ。喜右衛門ガ田ノ二町四方バカリ近處ハ。皆諸人踏ツブシテ堅場ノ如クニナシケリ。今茲ハ早魃ニテ五穀ミノラザレトモ。三隅ノ村ハ諸方ノ人ノ宿ヲセシマ。夥シク賑

一夜ノ中ニ何人ノ時タルヤラン皆稻ヲ時タリ。喜右衛門怪シミテ諸人ニ問ニ知ル人ナシ。田ノ畔及ビ中ヲ見ルニ人ノ跡アルコトナシ。人々聚集リテ寔ニ凡人ノ所作ニアラスト不思議ニ思ヒケリ。或武士來テ見テ曰ク。四國ニハ弘法大師稻ヲ時玉ヘル例シアリ。今朝三月廿一日ナリ是レ當ニ大師ノ時玉ヘルナルベシト。喜右衛門驚テ曰ク。サルコトコソ候ハン。大盡日ニ宿カシ候御僧コソ不思議ノ僧ニテ侍ル。歸サニ春中ニ來リテ恩ヲ報ズベシトノ玉ヘリ。實ニ大師ノ來リ玉ヘルナルベシ。是モ大師ノ時玉フナラントテ。歡喜ノ涙ヲ流セリ。時ニ信ゼザル者アツテ曰ク。若シ大師ノ時玉ヘルナラバ神變ノ利益アルベシ。試ヨトテ瘞者彼ノ田ノ水ヲ飲ニ即チ善ク言フ盲者眼ヲ洗フニ兩眼忽ニ明ナリ。サテコソ大師ノ時玉ヘルナリ

ケルトテ。國中ノ貴賤男女羣リ集リテ拜シ。後ニハ誰カ言傳フトモシラヌ火ノ筑紫ノ人モ皆來リ。四國。中國。畿内。北國マテモ聞ヘテ。衆人參詣シテ利益ヲ得ルコト無邊ナリ。チンバ。イザリ。癩瘡。ツンボウ。疝氣。寸白。頭痛。目眩。凡ソアラユル痼疾愈スト云フナシ。唯シ人ノ信不信ニヨレリ。或ハ稻ノ穂ヲ拔テ去ル者アリ。或ハ水ヲ瓶及ビ竹筒ニ盛テ去ル人アリ。土ヲ裏ミテ歸ル人モアリケリ。喜右衛門ニハ諸人財寶ヲ與ヘケレハ俄ニ大富人トナレリ。アマリ夥シク人集リケレバ。大守大江ノ綱廣卿。江戸ニアツテ大對ヘ白シ。台使アリテ實否ヲ正サレケリ。喜右衛門ガ田ノ二町四方バカリ近處ハ。皆諸人踏ツブシテ堅場ノ如クニナシケリ。今茲ハ早魃ニテ五穀ミノラザレトモ。三隅ノ村ハ諸方ノ人ノ宿ヲセシマ。夥シク賑

ハヒテ豊年ニアヘルヨリモ數倍ノ利ヲ得テ。皆ナ富人トナレリ。寔ニ大師利濟ノ御方便アリガタカリケル事ドモナリ。田中ニ集リシ青鳧過半ハ喜右衛門及ヒ村人分テ取り。殘ル財寶ニテ三隅ノ熊野權現ノ宮寺ニ於テ御影堂ヲ造立シ。新タニ尊像ヲ作りテ安置シ。並ビニ寺院ヲ造營シテ遍照山發光寺ト号ス。太守厚ク信シテ若干ノ供料ヲ寄附シテ彼ノ寺今ニアリ。第二世第三世ノ住持ハ予ガ莫逆ノ僧ナリ。故ニ面宥聞テ記スルノミ

河内ノ人高埜山ニ燈籠ヲ釣リシ事

河州錦部ノ郡星埜村ニ清兵衛ト云者アリ。馬ヲ養テ塚ヘ往來シ人ノ荷物ヲ駄セ。三日市ヘ通りテ産業トゾシケル寛永ノ比カトヨ東國ノ武士革囊ニ金子ヲ納テ馬ニ乘リ高野

山へ上リケルヲ。星埜村ノ駒子此ヲ乗セケリ。駒子金囊ヲ見テ忽チニ偷盜ノ心發リ武士ニ言テ曰ク。此ノ道ハ盜賊多シ。金銀ヲ齎持玉ハ能ク心ヲ付玉ヘ。紛失ストモ我レ如何トモスルナシ管ハジト。武士此ノ語ヲ聞トイヘトモヤサシキ人ニテ。比シモ五月ノ事ナレバ。井手ノ蝦蟇ノ聲ニ賞テ。早苗ト五月乙女ノ謠ヲ愛シ。三河ノ八橋ニアラナド杜若ノ笑ルヲ詠メテ。ハルトキヌル旅ヲシク。菅浦モシラ又思ヒニ。金囊ヲモ心ニ懸ザリケリ。駒子隙ヲ伺テ彼ノ金囊ヲ偷シ。深田ノ中へ踏入レテ藏シケリ。サテ三日市ノ宿ニ到テ武士金囊ヲ失ヘルコトヲ駒子ニ譴ルニ。サテコソ豫メ偷マレ玉フナト白シケリト詰ケレバ。武士道理ニ詰テ空手ニシテ高野へ登リケリ。本此ノ金ハ奥ノ院ニ燈籠ヲ釣リテ。大師ニ供養シ奉ラン

ハヒテ豊年ニアヘルヨリモ數倍ノ利ヲ得テ。皆ナ富人トナレリ。寔ニ大師利濟ノ御方便アリガタカリケル事ドモナリ。田中ニ集リシ青鳧過半ハ喜右衛門及ヒ村人分テ取り。殘ル財寶ニテ三隅ノ熊野權現ノ宮寺ニ於テ御影堂ヲ造立シ。新タニ尊像ヲ作りテ安置シ。並ビニ寺院ヲ造營シテ遍照山發光寺ト号ス。太守厚ク信シテ若干ノ供料ヲ寄附シテ彼ノ寺今ニアリ。第二世第三世ノ住持ハ予ガ莫逆ノ僧ナリ。故ニ面宥聞テ記スルノミ

河内ノ人高埜山ニ燈籠ヲ釣リシ事

河州錦部ノ郡星埜村ニ清兵衛ト云者アリ。馬ヲ養テ塚ヘ往來シ人ノ荷物ヲ駄セ。三日市ヘ通りテ産業トゾシケル寛永ノ比カトヨ東國ノ武士革囊ニ金子ヲ納テ馬ニ乘リ高野

山へ上リケルヲ。星埜村ノ駒子此ヲ乗セケリ。駒子金囊ヲ見テ忽チニ偷盜ノ心發リ武士ニ言テ曰ク。此ノ道ハ盜賊多シ。金銀ヲ齎持玉ハ能ク心ヲ付玉ヘ。紛失ストモ我レ如何トモスルコトナシ管ハジト。武士此ノ語ヲ聞トイヘトモヤサシキ人ニテ。比シモ五月ノ事ナレバ。井手ノ蝦蟇ノ聲ニ賞テ。早苗ト五月乙女ノ謠ヲ愛シ。三河ノ八橋ニアラナド杜若ノ笑ルヲ詠メテ。ハルトキヌル旅ヲシク。菅浦モシラ又思ヒニ。金囊ヲモ心ニ懸ザリケリ。駒子隙ヲ伺テ彼ノ金囊ヲ偷シ。深田ノ中へ踏入レテ藏シケリ。サテ三日市ノ宿ニ到テ武士金囊ヲ失ヘルコトヲ駒子ニ譴ルニ。サテコソ豫メ偷マレ玉フナト白シケリト詰ケレバ。武士道理ニ詰テ空手ニシテ高野へ登リケリ。本此ノ金ハ奥ノ院ニ燈籠ヲ釣リテ。大師ニ供養シ奉ラン

料ナリケルヲ。空シクナシテ本國ニゾ歸リケル。武士ノ心ノ
中何バカリ悔シカリケン。推量シテ哀ナリ。サテ驕子ハ夜ニ
入りテ彼ノ深田ヘ行キ。金囊ヲ取出シテ家ニ歸ヘリ。其ヨ
リゾ今ニ至ルマデ家富ケル。貞享ノ初メ清兵衛ハ他行シテ妻
家ニアリシニ。何クトモナク高貴僧來リテ言ハク。我ハ高
埜山ニ住スル僧ナリ。曾テ清兵衛ニ金ヲ預ケタリ。今ハ
利息數倍ニナレリ。少利上ヲセヨト仰アリケレバ。妻心得ズ
我が家ハ富メリ。他ノ財ヲ借リシコト覺ヘズ。但シ夫久シク借
ルナルベシト思テ。夫ハ他行イタシ候マ、歸リテ後仰ノ如ク
告ベシト答ヘケリ。サテ聖僧門外ヘ出玉フカト見ルト消失セ
玉ヘリ。清兵衛歸リテ後妻シカクノ由ヲ語リケレバ。吾曾テ
金ヲ偷ミシコト憶ヒ出シケレトモ。悵惜ノ情深クテ。金ヲ上ルベ

キ心モナカリケリ。又半月アマリヲ過テ先ノ僧來リ玉ヒテ。
何トテ利上ヲセズシ急ギ利上セヨ。然ラズンバ災殃アルベシト。
ラ、カニ仰アリケレバ。妻身ノ毛豎テ應諾シヌ。サテ夫ニモアリ
マ、ニ告ケレバ。夫モ不信ノ者ナレドモサテハ大師ノ乞玉フニヤト
驚キ。災殃ノ來ラシテ恐レテ急ギ高野山ニ登リテ奥ノ
院ニ燈籠ヲ釣リテ供シケリ。此ノ事近郷ニ隱レナク諸人
普ネク知レリ。佛財法財ヲ掠ムルコト無間ノ罪ナレバ。大師
哀愍シテ驚覺シ玉ヘリ。○又河内ノ高貴寺ニ寛文ノ初メ開
帳アリテ。散錢多クアリシヲ。或人看坊ノ他行ヲ知リテ顔
ニ墨ヲ塗夜ル來リテ。財寶悉ク取リテ懷ニシ出ントセシガ。
護法神ノ所爲ニヤアリケン。又ハ現ニ自罰ヲ蒙ルニヤ。棚ヲ
見ルニ大師ニ供ゼシ糞糞アマタアリケルヲ。一ツ取りテ食ヒケ

料ナリケルヲ。空シクナシテ本國ニゾ歸リケル。武士ノ心ノ
中何バカリ悔シカリケン。推量シテ哀ナリ。サテ驕子ハ夜ニ
入りテ彼ノ深田ヘ行キ。金囊ヲ取出シテ家ニ歸ヘリ。其ヨ
リゾ今ニ至ルマデ家富ケル。貞享ノ初メ清兵衛ハ他行シテ妻
家ニアリシニ。何クトモナク高貴僧來リテ言ハク。我ハ高
埜山ニ住スル僧ナリ。曾テ清兵衛ニ金ヲ預ケタリ。今ハ
利息數倍ニナレリ。少利上ヲセヨト仰アリケレバ。妻心得ズ
我が家ハ富メリ。他ノ財ヲ借リシコト覺ヘズ。但シ夫久シク借
ルナルベシト思テ。夫ハ他行イタシ候マ、歸リテ後仰ノ如ク
告ベシト答ヘケリ。サテ聖僧門外ヘ出玉フカト見ルト消失セ
玉ヘリ。清兵衛歸リテ後妻シカクノ由ヲ語リケレバ。吾曾テ
金ヲ偷ミシコト憶ヒ出シケレトモ。悵惜ノ情深クテ。金ヲ上ルベ

キ心モナカリケリ。又半月アマリヲ過テ先ノ僧來リ玉ヒテ。
何トテ利上ヲセズシ急ギ利上セヨ。然ラズンバ災殃アルベシト。
ラ、カニ仰アリケレバ。妻身ノ毛豎テ應諾シヌ。サテ夫ニモアリ
マ、ニ告ケレバ。夫モ不信ノ者ナレドモサテハ大師ノ乞玉フニヤト
驚キ。災殃ノ來ランコトヲ恐レテ急ギ高野山ニ登リテ奥ノ
院ニ燈籠ヲ釣リテ供シケリ。此ノ事近郷ニ隱レナク諸人
普ネク知レリ。佛財法財ヲ掠ムルコト無間ノ罪ナレバ。大師
哀愍シテ驚覺シ玉ヘリ。○又河内ノ高貴寺ニ寛文ノ初メ開
帳アリテ。散錢多クアリシヲ。或人看坊ノ他行ヲ知リテ顔
ニ墨ヲ塗夜ル來リテ。財寶悉ク取リテ懷ニシ出ントセシガ。
護法神ノ所爲ニヤアリケン。又ハ現ニ自罰ヲ蒙ルニヤ。棚ヲ
見ルニ大師ニ供ゼシ糞糞アマタアリケルヲ。一ツ取りテ食ヒケ

レバ喉ニツマリテ即時ニ死シケリ。明日諸人集リテ墨ヲ洗ヒテ見レバ近處ノ人ナリ。左右ノ評議ニ及バズ隱密シケリ。昔シ彼ノ實盛ガ討死セシ後ニ墨ヲ洗ヒテ見シハ。美名ヲ天下ニ施シ。今ノ世マデモヤサシク聞ユ。今此ノ人ノ顔ヲ墨ニ染テ糲糲ト討死セシハ。醜名ヲ今ノ世ニ傳ヘタリ。墨ニ染ルコトハ同シケレドモ。彼此ノ心操天地懸カニ隔レル者ナリ。是モ偷ミ得バ無間ノ罪イヨク重クテ。千万億劫流轉スベキヲ。大師ノ御方便ニヤ偷ミ得ズ。現ニ醜名ヲ得タレトモ。未來ノ苦患少シ輕カルベシ。アリガタキ御方便ナリ。凡ソ大師ニ歸依シ奉レバ現世安穩後生善處ヲ得ルコト例シ多シ。或ハ逆或ハ順或ハ罰ヲ與ヘ或ハ利生ヲ施シ玉フ。偏ニ地藏尊ノ悲願ニ異ナラズ。或説ニハ如意輪觀音ナリト傳フ。宗ニ南海ニ生ヲ

レバ喉ニツマリテ即時ニ死シケリ。明日諸人集リテ墨ヲ洗ヒテ見レバ近處ノ人ナリ。左右ノ評議ニ及バズ隱密シケリ。昔シ彼ノ實盛ガ討死セシ後ニ墨ヲ洗ヒテ見シハ。美名ヲ天下ニ施シ。今ノ世マデモヤサシク聞ユ。今此ノ人ノ顔ヲ墨ニ染テ糲糲ト討死セシハ。醜名ヲ今ノ世ニ傳ヘタリ。墨ニ染ルコトハ同シケレドモ。彼此ノ心操天地懸カニ隔レル者ナリ。是モ偷ミ得バ無間ノ罪イヨク重クテ。千万億劫流轉スベキヲ。大師ノ御方便ニヤ偷ミ得ズ。現ニ醜名ヲ得タレトモ。未來ノ苦患少シ輕カルベシ。アリガタキ御方便ナリ。凡ソ大師ニ歸依シ奉レバ現世安穩後生善處ヲ得ルコト例シ多シ。或ハ逆或ハ順或ハ罰ヲ與ヘ或ハ利生ヲ施シ玉フコト。偏ニ地藏尊ノ悲願ニ異ナラズ。或説ニハ如意輪觀音ナリト傳フ。宗ニ南海ニ生ヲ

③末11ウ

受ケテ。南天ノ教ヲ弘通シ。終ニ南山ニ入定シテ。寶珠ヲ室生山ニ納メ玉フ。彼此契當セルニアラズヤ。
河内ノ人大師ニ歸命シテ業病瘞ル事
河州古市ノ郡譽田村ニ極貧ナル匹夫アリ。一向宗ニテ善ヲ修スルコトヲモシラズ。日ニ十惡ヲ造スルヨリ外ノ事ハナカリケリ。妻ヲ娶テ一子ヲ生ズルニ海月ナドノ如クニ五體骨ナクテ。三四年ヲ經テ遂ニ死シヌ。夫妻悲ムトイヘトモ甲斐ナシ。然ルニ妻復懷妊セシカバ夫貧苦ノ中ニモ殊ニ嬉シク思ヒシニ。妻下産セシヲ見レバ男子ナリ。夫是ニテ始メノ憂ヲ忘レテイタハリ養育スルニ復海月ノ如クニ骨ナク十二歳ニナルマデ歩ムコトアタハザレバ。夫妻俱ニ悲シムコト限リナシ。貧苦ト子ノ病トノ悲シミノアマリニ。或時夫婦互相ニ瞋リテ惡口罵詈ス。

受ケテ。南天ノ教ヲ弘通シ。終ニ南山ニ入定シテ。寶珠ヲ室生山ニ納メ玉フ。彼此契當セルニアラズヤ。
河内ノ人大師ニ歸命シテ業病瘞ル事
河州古市ノ郡譽田村ニ極貧ナル匹夫アリ。一向宗ニテ善ヲ修スルコトヲモシラズ。日ニ十惡ヲ造スルヨリ外ノ事ハナカリケリ。妻ヲ娶テ一子ヲ生ズルニ海月ナドノ如クニ五體骨ナクテ。三四年ヲ經テ遂ニ死シヌ。夫妻悲ムトイヘトモ甲斐ナシ。然ルニ妻復懷妊セシカバ夫貧苦ノ中ニモ殊ニ嬉シク思ヒシニ。妻下産セシヲ見レバ男子ナリ。夫是ニテ始メノ憂ヲ忘レテイタハリ養育スルニ復海月ノ如クニ骨ナク十二歳ニナルマデ歩ムコトアタハザレバ。夫妻俱ニ悲シムコト限リナシ。貧苦ト子ノ病トノ悲シミノアマリニ。或時夫婦互相ニ瞋リテ惡口罵詈ス。

③末12オ

時ニ妻彼ノ子ヲ嘗テ曰ク。カク宿世ツタナク貧窮下賤ノ身ヲ受ルサヘアルニ。汝ガ如キ業病人ヲ子トスルコトアサマシキカナ。子チコロサンモ不便ナリ。早く出去テ乞食セヨトテ音ヲ惜マズ啼カコチケレバ。彼ノ子悲シク思ヒ俱ニ啼哭テ思ハク。父母ノ瞋レルコト道理ナリ。子トシテハ父母ヲ養フベキニ。我今十二歳ニナレモ立居サヘナラデ空シク食物ヲ費シ。イト、父母ノ愁苦ヲ増ス。嗚呼如何セン淵瀨ニヤ身ヲ投シ。縊レテヤ死ナン。乞食スルモ父母ノ辱ナリト思ヒシガ。又思ハク高野山ハ古佛ノ淨土ニテ弘法大師今現ニ住シ玉フト聞ケリ。イツクニテ死スルモ同じナリ。匍匐マハリテナリトモ高野ニ詣リナバ宿業ヲ消滅シ。未來モ善趣ニ生ズベシ。設ヒ詣リ得ズ途中ニテ死ストモ心ハ高野へ詣ルベシ。況ヤ路程才カ二十里

③末12ウ

アマリナレバ。五六日ノ中ニハ到ラン。ソノ中ニハヨモ命ハ盡ジト思ヒ。父母ニ向テ曰ク。我レ子トナルトイヘトモ父母ヲ養フコトアタハズ。今暇ヲタマハレ高野山ニ詣シテ此ノ業障ノ重キ身ヲ大師ニ奉リテ懺悔スベシト言ケレバ。父母瞋ノアマリニイツクヘナリユケトテ戶外推出シケリ。サテ彼ノ蹇タル童子ニ施シ玉ヘトイフ。姨母アハレミテ鉢袋ヲ與ヘケレバ喜ビテ其ノ家ヲニジリ出デ、行ホドニ。次ノ日ニ四里ハガリヲ行テ鵠原村ノ辻堂ニ到リテ臥シヌ。童子ノ事ナレバ貧苦病苦ノ切ナルサヘニ。恩愛ノ情忘レガタク。竟夜ラ古郷ノ事ヲ思ヒテ。泣々大師ノ寶号ヲ唱ヘケリ。夜明ニ現ノ如クニ何クトモナク高貴キ僧來リ玉ヒテ問玉ハク汝ハ何人ゾト。童子ノ曰ク我ハ譽田ノ

③末13オ

トキ妻彼ノ子ヲ嘗テ曰ク。カク宿世ツタナク貧窮下賤ノ身ヲ受ルサヘアルニ。汝ガ如キ業病人ヲ子トスルコトアサマシキカナ。ネチコロサンモ不便ナリ。早く出去テ乞食セヨトテ音ヲ惜マズ啼カコチケレバ。彼ノ子悲シク思ヒ俱ニ啼哭テ思ハク。父母ノ瞋レルコト道理ナリ。子トシテハ父母ヲ養フベキニ。我今十二歳ニナレトモ立居サヘナラデ空シク食物ヲ費シ。イト、父母ノ愁苦ヲ増ス。嗚呼如何セン淵瀨ニヤ身ヲ投シ。縊レテヤ死ナン。乞食スルモ父母ノ辱ナリト思ヒシガ。又思ハク高野山ハ古佛ノ淨土ニテ弘法大師今現ニ住シ玉フト聞ケリ。イツクニテ死スルモ同じナリ。匍匐マハリテナリトモ高野ニ詣リナバ宿業ヲ消滅シ。未來モ善趣ニ生ズベシ。設ヒ詣リ得ズ途中ニテ死ストモ心ハ高野へ詣ルベシ。況ヤ路程才カ二十里

アマリナレバ。五六日ノ中ニハ到ラン。ソノ中ニハヨモ命ハ盡ジト思ヒ。父母ニ向テ曰ク。我レ子トナルトイヘトモ父母ヲ養フコトアタハズ。今暇ヲタマハレ高野山ニ詣シテ此ノ業障ノ重キ身ヲ大師ニ奉リテ懺悔スベシト言ケレバ。父母瞋ノアマリニイツクヘナリトモユケトテ戶外推出シケリ。サテ彼ノ蹇タル童子ニ施シ玉ヘトイフ。姨母アハレミテ鉢袋ヲ與ヘケレバ喜ビテ其ノ家ヲニジリ出デ、行ホドニ。次ノ日ニ四里ハガリヲ行テ鵠原村ノ辻堂ニ到リテ臥シヌ。童子ノ事ナレバ貧苦病苦ノ切ナルサヘニ。恩愛ノ情忘レガタク。竟夜ラ古郷ノ事ヲ思ヒテ。泣々大師ノ寶号ヲ唱ヘケリ。夜明ニ現ノ如クニ何クトモナク高貴キ僧來リ玉ヒテ問玉ハク汝ハ何人ゾト。童子ノ曰ク我ハ譽田ノ

者ナリ。高野山ニ詣ラント思ヒ侍ルナリト。僧ノ玉ハク一不便ナリ。高野山ハ此路ヲ行ベカラズ。是ヨリ小西見村ニ出デ。ソレヨリ。岩瀬清水。天見ヲ越ヘテ行ベシトテ去リ玉ヒヌ。童子ウレシクテ思ハク。只今ノ御僧ハ大師ノ來リ玉ヘルナランニ。我が足ノ蹇タルヲ加持シテタベト白スベカリシヲ。アラカナン南無遍照金剛ト唱ヘテ泣ケリ。ソレヨリ小西見ヘ出ント思ヒ堂ノ柱ニトリツキテ不圖立ケレバ。忽チ足タチテケリ。童子ハ夢ノ心地シテウレシクアリガタク。泣々大師ノ寶号ヲ唱ヘ足バヤニ歩ミテ。終ニ高野山ニ詣リ。或寺ヲ頼テ二三年ノ間タ給仕セシガ。又思ハク我當山ニ登リシコトモ父母ノ心ヲ安ンゼン為ナリ。石ノ上古郷ノ事ヲ思ヘバ。父母ハイカニ哀レト念フラン。三年ニナリヌ。足タ、ズシテアリヤ。死セリヤトワビ玉ハンモ

悲シ。我既ニ病瘳テ健ニナレリ。蓋ゾ譽田ニ歸ラザルトテ。即チ大師ニ御暇ヲ乞ヒテ古郷ヘ歸ヘリ。父母ニ相見シテ始末ノ因縁ヲ語り。俱ニ涙ヲ流シテソレヨリ後ハ。能ク父母ヲ養ヒテ今現ニ譽田ニ居ヌ鍛冶屋ナリ。是モ近キ天和年中ノ事ニテ。近郷ノ人々普ネク知レリ。京ニ童子ノ志シ殊勝ニ哀レナレバ。大師ノ納受シ玉フモ理ハリナリ。彼ノ唐ノ阿足師ノ神變ヲ現セルト。今ノ大師ノ御利生ト。古今時殊ニ和漢域異ナレドモ。蹇者ヲ救ヒ玉フコトハ一般ナル者ナリ

河内ノ人死シテ後ニ追福ヲ乞フ事

河内錦部郡太井村ニ七郎右衛門ト云者アリ。平生正直ニシテ妄語綺語ヲ言コトナク。殺生偷盜ヲ犯セルコトモナカリケリ。或時薪ヲ樵ケルガ我が家ノ邊ニ神祠ノ林アリ。圖ラザルニ小木

者ナリ。高野山ニ詣ラント思ヒ侍ルナリト。僧ノ玉ハク一不便ナリ。高野山ハ此路ヲ行ベカラズ。是ヨリ小西見村ニ出デ。ソレヨリ。岩瀬清水。天見ヲ越ヘテ行ベシトテ去リ玉ヒヌ。童子ウレシクテ思ハク。只今ノ御僧ハ大師ノ來リ玉ヘルナランニ。我が足ノ蹇タルヲ加持シテタベト白スベカリシヲ。アラカナン南無遍照金剛ト唱ヘテ泣ケリ。ソレヨリ小西見ヘ出ント思ヒ堂ノ柱ニトリツキテ不圖立ケレバ。忽チ足タチテケリ。童子ハ夢ノ心地シテウレシクアリガタク。泣々大師ノ寶号ヲ唱ヘ足バヤニ歩ミテ。終ニ高野山ニ詣リ。或寺ヲ頼テ二三年ノ間タ給仕セシガ。又思ハク我當山ニ登リシコトモ父母ノ心ヲ安ンゼン為ナリ。石ノ上古郷ノ事ヲ思ヘバ。父母ハイカニ哀レト念フラン。三年ニナリヌ。足タ、ズシテアリヤ。死セリヤトワビ玉ハンモ

悲シ。我既ニ病瘳テ健ニナレリ。蓋ゾ譽田ニ歸ラザルトテ。即チ大師ニ御暇ヲ乞ヒテ古郷ヘ歸ヘリ。父母ニ相見シテ始末ノ因縁ヲ語り。俱ニ涙ヲ流シテソレヨリ後ハ。能ク父母ヲ養ヒテ今現ニ譽田ニ居ヌ鍛冶屋ナリ。是モ近キ天和年中ノ事ニテ。近郷ノ人々普ネク知レリ。京ニ童子ノ志シ殊勝ニ哀レナレバ。大師ノ納受シ玉フモ理ハリナリ。彼ノ唐ノ阿足師ノ神變ヲ現セルト。今ノ大師ノ御利生ト。古今時殊ニ和漢域異ナレドモ。蹇者ヲ救ヒ玉フコトハ一般ナル者ナリ

河内ノ人死シテ後ニ追福ヲ乞フ事

河内錦部郡太井村ニ七郎右衛門ト云者アリ。平生正直ニシテ妄語綺語ヲ言コトナク。殺生偷盜ヲ犯セルコトモナカリケリ。或時薪ヲ樵ケルガ我が家ノ邊ニ神祠ノ林アリ。圖ラザルニ小木

三四本ヲ伐リケリ。サテ程ナク病テ死シヌ。宮寺ニ秀音ト云
僧アリ。菩薩戒ヲ受持シテ如法ニ勤メケリ。或夜彼ノ死セシ男
夢ニモアラス。現ニモアラス來リテ曰ク。我一生邪マナシトイヘト
度小木ヲ偷ミ伐リタル罪ニテ。今日夜ニ三度ヅ、身ノ肉ヲ
削リ血ヲ搆ラル、苦ルシミヲ受ク。苦痛具サニノベガタシ。願ハクハ
經咒ヲ誦シテ回向シ玉ヘト。秀音聞トイヘト。此ヲ信ゼズ。唯狐
狸ノ妖タルニヤト思ヘリ。然ルニ又次ノ夜モ來リ。又次ノ夜モ
來テ上ノ如クニ言ケルマ。問テ曰ク何クノ木ゾヤト。彼ノ靈
魂ノ曰ク我が偷ミシ木ハ人普ネク知レリ。他人ニ問ヒ玉ヘ。唯慈
悲ヲ以テ早く追善ヲ垂玉ハ。未來際マデ恩恵ヲ忘レジト。
其時秀音涙ヲ流シテ回向スベキ由諾ヒケレバ。喜ビテ歸リケリ。
サテ即チ大佛頂陀羅尼及ビ理趣經等ヲ誦シテ回向シケレバ。苦

患ヲヤ免レケン次ノ夜ヨリハ來ラザリケリ。此事村ノ人ニ問ヒ
偷ミ伐リシ木ハ氏神ノ木ニシテ普ネク知リ。其ノ株机猶新ニゾ
アリケル。既ニ來リ告シコト妄ナラザレバ苦ヲ免レケンコトモ實ナ
ルベシ瑜伽論ノ第一ニモ中有ヲ健達縛ト名ク。香ヲ尋ネテ
行ガ故ニトイヘリ。今秀音弟子ニ行法サセテ。名香ヲ焼ルユヘ
香ヲ尋ネテ來レルナルベシ。サレバ少シノ罪モ必ズ苦報ヲ受ル
ガ故ニ慎シムベキ事ナリ

浪蒼ノ人死シテ後夜々來ル事

貞享ノ初メ大坂安道寺町ノ三休橋スデニ。庄左衛門ト云
者アリ。針鐵ヲ伸ルヲ産業トセリ。此者カ僕死シテ其夜ヨリ。
庄左衛門ガ方ヘ毎夜來レリ。言語モ常ノ人ノ如シ。サテ庄左
衛門ニ向テ言ク。我レ一生惡事ヲナセルコトナシ。然ルニ先年醫

三四本ヲ伐リケリ。サテ程ナク病テ死シヌ。宮寺ニ秀音ト云
僧アリ。菩薩戒ヲ受持シテ如法ニ勤メケリ。或夜彼ノ死セシ男
夢ニモアラス。現ニモアラス來リテ曰ク。我一生邪マナシトイヘト
度小木ヲ偷ミ伐リタル罪ニテ。今日夜ニ三度ヅ、身ノ肉ヲ
削リ血ヲ搆ラル、苦ルシミヲ受ク。苦痛具サニノベガタシ。願ハクハ
經咒ヲ誦シテ回向シ玉ヘト。秀音聞トイヘト。此ヲ信ゼズ。唯狐
狸ノ妖タルニヤト思ヘリ。然ルニ又次ノ夜モ來リ。又次ノ夜モ
來テ上ノ如クニ言ケルマ。問テ曰ク何クノ木ゾヤト。彼ノ靈
魂ノ曰ク我が偷ミシ木ハ人普ネク知レリ。他人ニ問ヒ玉ヘ。唯慈
悲ヲ以テ早く追善ヲ垂玉ハ。未來際マデ恩恵ヲ忘レジト。
其時秀音涙ヲ流シテ回向スベキ由諾ヒケレバ。喜ビテ歸リケリ。
サテ即チ大佛頂陀羅尼及ビ理趣經等ヲ誦シテ回向シケレバ。苦

患ヲヤ免レケン次ノ夜ヨリハ來ラザリケリ。此事村ノ人ニ問ヒ
偷ミ伐リシ木ハ氏神ノ木ニシテ普ネク知リ。其ノ株机猶新ニゾ
アリケル。既ニ來リ告シコト妄ナラザレバ苦ヲ免レケンコトモ實ナ
ルベシ瑜伽論ノ第一ニモ中有ヲ健達縛ト名ク。香ヲ尋ネテ
行ガ故ニトイヘリ。今秀音弟子ニ行法サセテ。名香ヲ焼ルユヘ
香ヲ尋ネテ來レルナルベシ。サレバ少シノ罪モ必ズ苦報ヲ受ル
ガ故ニ慎シムベキ事ナリ

浪蒼ノ人死シテ後夜々來ル事

貞享ノ初メ大坂安道寺町ノ三休橋スデニ。庄左衛門ト云
者アリ。針鐵ヲ伸ルヲ産業トセリ。此者カ僕死シテ其夜ヨリ。
庄左衛門ガ方ヘ毎夜來レリ。言語モ常ノ人ノ如シ。サテ庄左
衛門ニ向テ言ク。我レ一生惡事ヲナセルコトナシ。然ルニ先年醫

者ノ方ヨリ米一石借テ御邊へ進セタリ。其ノ直ヒ未ダ渡ラズ。必ラス忘レ玉入フナカレ。早ク償ヒ金子ヲ與シ玉ヘト。庄左衛門身ノ毛豎テ恐レケリ。カクノ如ク毎夜來レル故ニ甚ダ懼レテ。友人市郎兵衛ニ語ル。市郎兵衛ハ心剛テ何事ニモ恐怖セヌ者ナレバ聞テ曰ク。何ゾ死シタル人ノ來ルヤハアル是レ狐ノ妖タルベシ。我一太刀ニ斬殺スベシト云テ。我友ノ内血氣ノ勇アル者ヲ伴ナヒ。共ニ小刀帶テ行ケリ。夏ノ事ナリケレバ一ツノ蚊帳ニ三人臥シテ。庄左衛門ヲハ中ニ臥サシメ。今夜ハ恐レアルベカラズ。若シ來ラハ我等刺殺スベシト。サモ頼モシゲニ言ケリ。サテ子ノ刻バカリニ何トナク三人共ニ擱ミ立ルヤウニ恐怖ナリケリ。小刀拔テ持ケレドモ猶オソロシキコト言バカリナシ。時ニ庄左衛門ハ市郎兵衛ニ抱キツキ戰慄ケリ。家ノ中メキ／＼ト鳴リテ。彼ノ

③末15ウ

死セシ者ノ聲シテ庄左衛門ト前夜ノ如ク言語ケリソノ形煙ノ如ク霧ノ如クニテ現ニ見ユ。市郎兵衛平生トハ相違シテ。以ノ外ニ臆病神付テ中々討殺スコトハサテヲキ。鼻息モ得セズ直ミ居テ。寐ヌニ明ヌトカナシム夏ノ夜ヲ。年ヲモ經ルヤウニ思ヒテ。且ルト即時歸リケリ。サテ庄左衛門モ其家ニ堪カネテヤガテ宿ヲ替ケリ。此事ハ其ノ處へ伴ナヒ行テ現ニ見聞セシ人ノ説ヲ予面ガリ聞ケリ。有徳ノ僧ヲ請シテ回向追福セバ來ルマジキヲ。金ヲ伸ス産業セシカドモ。名ト實ト相違シテ甚ハダ貧シカリシ故ニ。追福セザレバ久シク來レルナリ。一アハレナル事ナリ。地藏本願經ニ七七日ノ間ニ追福回向セザレバ。中有ノ間ニモ無量千万ノ愁苦アリテ追福ヲ望ムト説ケリ。サレバ因縁アル人ニハ必ズ廻向スベキナリ。又少シノ

③末16オ

者ノ方ヨリ米一石借テ御邊へ進セタリ。其ノ直ヒ未ダ渡ラズ。必ラス忘レ玉フコトナカレ。早ク償ヒ金子ヲ與シ玉ヘト。庄左衛門身ノ毛豎テ恐レケリ。カクノ如ク毎夜來レル故ニ甚ダ懼レテ。友人市郎兵衛ニ語ル。市郎兵衛ハ心剛ニシテ何事ニモ恐怖セヌ者ナレバ。聞テ曰ク。何ゾ死シタル人ノ來ルコトヤハアル是レ狐ノ妖タルベシ。我一太刀ニ斬殺スベシト云テ。我友ノ内血氣ノ勇アル者ヲ伴ナヒ。共ニ小刀帶テ行ケリ。夏ノ事ナリケレバ一ツノ蚊帳ニ三人臥シテ。庄左衛門ヲハ中ニ臥サシメ。今夜ハ恐レアルベカラズ。若シ來ラハ我等刺殺スベシト。サモ頼モシゲニ言ケリ。サテ子ノ刻バカリニ何トナク三人共ニ擱ミ立ルヤウニ恐怖ナリケリ。小刀拔テ持ケレドモ猶オソロシキコト言バカリナシ。時ニ庄左衛門ハ市郎兵衛ニ抱キツキ戰慄ケリ。家ノ中メキ／＼ト鳴リテ。彼ノ

死セシ者ノ聲シテ庄左衛門ト前夜ノ如ク言語ケリソノ形煙ノ如ク霧ノ如クニテ現ニ見ユ。市郎兵衛平生トハ相違シテ。以ノ外ニ臆病神付テ中々討殺スコトハサテヲキ。鼻息モ得セズ直ミ居テ。寐ヌニ明ヌトカナシム夏ノ夜ヲ。年ヲモ經ルヤウニ思ヒテ。且ルト即時歸リケリ。サテ庄左衛門モ其家ニ堪カネテヤガテ宿ヲ替ケリ。此事ハ其ノ處へ伴ナヒ行テ現ニ見聞セシ人ノ説ヲ予面ガリ聞ケリ。有徳ノ僧ヲ請シテ回向追福セバ來ルマジキヲ。金ヲ伸ス産業セシカドモ。名ト實ト相違シテ甚ハダ貧シカリシ故ニ。追福セザレバ久シク來レルナリ。一アハレナル事ナリ。地藏本願經ニ七七日ノ間ニ追福回向セザレバ。中有ノ間ニモ無量千万ノ愁苦アリテ追福ヲ望ムト説ケリ。サレバ因縁アル人ニハ必ズ廻向スベキナリ。又少シノ

米ヲ偷ミ少ノ木ヲ伐リシハ。其ノ報ヒナシアルベキト愚人ハ思ヘドモ小罪モ必ズ報アリ。地藏本願經ニモ小惡ヲ輕シテ罪ナシトスルコトナカレ死後ニ報アリ。織毫モ必ズ受ク。父子至テ親シケレドモ岐路各別ナリ。縦ヒ相逢フトモ敢テ代リ受ルコトナシト説キ玉ヘリ。○昔シ求那跋摩三藏幼シテ酒肉五辛ヲ食セズ母教ヘテ曰ク汝チ若シ酒肉五辛ヲ食シテ未來ニ報アリトモ我レ代テ受クベシト賺シテ食セシメラレタリ。或時油煎スルニ三藏誤テ手ヲ燒玉ヒテ。母ニ向テ曰ク我今手甚ダ痛我ガ苦ニ代リ玉ヘト。母答ヘテ曰ク痛ミハ汝ガ身ニアリ。何ゾ代ルコトヲ得ンヤ。余時ニ三藏詰シ曉シテ曰ク。酒肉五辛ノ苦報モ我身ニアリ。現世ノ小苦スラ代リ玉フコトナシ。況ヤ未來ノ大苦ヲヤト。アリケレバ母言ナク恥ラレケリ。世ニ愚カナル人アリ。

人ニ肉食ヲ勸メ。或ハ飲酒ヲ勸メ。或ハ持齋ノ者ヲ勸メテ非時食セシメテ。其ノ罪ハ我負ト言者アリ。然ルニ誤リテ勸ムル人アルヲ幸ニ破齋シ。飲酒食肉スルコト亦哀シカラズヤ。親子ノ至テ親シキスラ苦ニ代ルコトアタハズ。況ヤ他人ヲヤ。本願經ノ明文。三藏ノ金言ニテ迷ヒテ改ムベシ。又世間ノ人多ク小惡ヲ輕シテ數々作りテ罪ナシト言。小善ヲ輕シテ功德ナシトテ捨ツ。大ナル愚癡ナリ。持律ノ人ヲ見テハ小乘ノ戒ナリ何ゾ持セントテ捨テ毀ル。其ノ實ヲ檢スレバ不信放逸ニシテ如來ノ制戒ヲ守ルコトアタハザルナリ。サラバ餘ノ大乘ノ行アルカト檢スルニ。吁テ興晏ク食シテ。羣リ集ツテ諸欲ノ境ヲ談話シテ慚愧アルコトナク。禮佛誦經坐禪學問ハ廢レハテ。筆硯ニ塵堆カク。書籍ニ蠹屯ス。堂ノ内ニ八鼠ノ糞沙ノ如ク。佛ノ前

米ヲ偷ミ少ノ木ヲ伐リシハ。其ノ報ヒナシアルベキト愚人ハ思ヘドモ小罪モ必ズ報アリ。地藏本願經ニモ小惡ヲ輕シテ罪ナシトスルコトナカレ死後ニ報アリ。織毫モ必ズ受ク。父子至テ親シケレドモ岐路各別ナリ。縦ヒ相逢フトモ敢テ代リ受ルコトナシト説キ玉ヘリ。○昔シ求那跋摩三藏幼シテ酒肉五辛ヲ食セズ母教ヘテ曰ク汝チ若シ酒肉五辛ヲ食シテ未來ニ報アリトモ我レ代テ受クベシト賺シテ食セシメラレタリ。或時油煎スルニ三藏誤テ手ヲ燒玉ヒテ。母ニ向テ曰ク我今手甚ダ痛我ガ苦ニ代リ玉ヘト。母答ヘテ曰ク痛ミハ汝ガ身ニアリ。何ゾ代ルコトヲ得ンヤ。余時ニ三藏詰シ曉シテ曰ク。酒肉五辛ノ苦報モ我身ニアリ。現世ノ小苦スラ代リ玉フコトナシ。況ヤ未來ノ大苦ヲヤト。アリケレバ母言ナク恥ラレケリ。世ニ愚カナル人アリ。

人ニ肉食ヲ勸メ。或ハ飲酒ヲ勸メ。或ハ持齋ノ者ヲ勸メテ非時食セシメテ。其ノ罪ハ我負ト言者アリ。然ルニ誤リテ勸ムル人アルヲ幸ニ破齋シ。飲酒食肉スルコト亦哀シカラズヤ。親子ノ至テ親シキスラ苦ニ代ルコトアタハズ。況ヤ他人ヲヤ。本願經ノ明文。三藏ノ金言ニテ迷ヒテ改ムベシ。又世間ノ人多ク小惡ヲ輕シテ數々作りテ罪ナシト言。小善ヲ輕シテ功德ナシトテ捨ツ。大ナル愚癡ナリ。持律ノ人ヲ見テハ小乘ノ戒ナリ何ゾ持セントテ捨テ毀ル。其ノ實ヲ檢スレバ不信放逸ニシテ如來ノ制戒ヲ守ルコトアタハザルナリ。サラバ餘ノ大乘ノ行アルカト檢スルニ。吁テ興晏ク食シテ。羣リ集ツテ諸欲ノ境ヲ談話シテ慚愧アルコトナク。禮佛誦經坐禪學問ハ廢レハテ。筆硯ニ塵堆カク。書籍ニ蠹屯ス。堂ノ内ニ八鼠ノ糞沙ノ如ク。佛ノ前

ニハ萎メル花芥ノ如クナルヲモ顧ミズ。或ハ圍碁テ日ヲ昏シ。或ハ酒ヲ飲ミテ夜ヲ白ス。甚ダシキ人ハ博奕スルアリ。此ヲ大乗ノ行トイハバ。一切世間ノ愚童凡夫誰カ大乗ノ行人ナラザラ。悲ンデモ猶餘リアリ。關尹子ニ曰ク勿レ輕シ小事ノ小隙沈レ舟勿レ輕シ小物ノ小蟲毒身ト俗士スラ猶小事ヲ輕ゼズ。況ヤ沙門ヲヤ。又易ニ曰善不積不足。以成名。惡不積不足。以滅身。小人ハ以小善為無益而弗為也。以小惡為無傷而弗去也。故惡積而不可掩。罪大而不可解。文今時ノ人皆ナ是レナリ。小善ヲバ益ナシト言テ作サズ。大善ハ猶作ストアタハズ。サラバ小惡ヲモナサヌカト思ヘバ所有惡事作スト云コトナシ。儒士スラ既ニ是ノ如クイヘリ。況ヤ釋氏トシテ慎マザルコト悲ヒカナ痛ヒカナ。又儻人目ヲ愧ル人モ。陰ニテハ諸惡ヲ作

人知ズト思ヘリ。豈知ラズヤ。人間ノ私語天聞コト雷ノ如ク。暗室ノ欺ク意口神目ルコト電ノ若クナルコトヲ。況ヤ俱生神アリテ。人生ル、ト同ジク左右ノ肩上ニ常ニ住メ。我が念々作々ノ善惡ヲ記ルスヤ。又莊子曰為不善乎顯明之中者人得而誅之。為不善乎幽暗之中者鬼得而誅之。文人ニ知ラシメズシテ惡ヲ作ル者ハ。鬼神罰スルガ故ニ種々ノ災殃ノミアリ。自ラ省ミテ慎ムベシ。又小善ヲモ輕シムベカラズ。本願經ニ二毛一滯一沙一塵毫髮バカリノ善根モアラバ。地藏菩薩漸ク度シ玉フベシト誓ヒ玉ヘリ。又花嚴經ニ人ノ金剛ヲ飲ム喻ヲ説ク。儒釋道異ナリトイヘトモ。趣キ同ジキコト頗ル多シ。慎シムベシ恐ルベシ。省ミ修セズンバアルベカラズ。

幽靈現ハレテ回向ヲ望ム事

ニハ萎メル花芥ノ如クナルヲモ顧ミズ。或ハ圍碁テ日ヲ昏シ。或ハ酒ヲ飲ミテ夜ヲ白ス。甚ダシキ人ハ博奕スルアリ。此ヲ大乗ノ行トイハバ。一切世間ノ愚童凡夫誰カ大乗ノ行人ナラザラン。悲ンデモ猶餘リアリ。關尹子ニ曰ク勿レ輕シ小事ノ小隙沈レ舟勿レ輕シ小物ノ小蟲毒身ト俗士スラ猶小事ヲ輕ゼズ。況ヤ沙門ヲヤ。又易ニ曰善不積不足。以成名。惡不積不足。以滅身。小人ハ以小善為無益而弗為也。以小惡為無傷而弗去也。故惡積而不可掩。罪大而不可解。文今時ノ人皆ナ是レナリ。小善ヲバ益ナシト言テ作サズ。大善ハ猶作ストアタハズ。サラバ小惡ヲモナサヌカト思ヘバ所有惡事作スト云コトナシ。儒士スラ既ニ是ノ如クイヘリ。況ヤ釋氏トシテ慎マザルコト悲ヒカナ痛ヒカナ。又儻人目ヲ愧ル人モ。陰ニテハ諸惡ヲ作

人知ズト思ヘリ。豈知ラズヤ。人間ノ私語天聞コト雷ノ如ク。暗室ノ欺ク意口神目ルコト電ノ若クナルコトヲ。況ヤ俱生神アリテ。人生ル、ト同ジク左右ノ肩上ニ常ニ住シテ。我が念々作々ノ善惡ヲ記ルスヤ。又莊子曰為不善乎顯明之中者人得而誅之。為不善乎幽暗之中者鬼得而誅之。文人ニ知ラシメズシテ惡ヲ作ル者ハ。鬼神罰スルガ故ニ種々ノ災殃ノミアリ。自ラ省ミテ慎ムベシ。又小善ヲモ輕シムベカラズ。本願經ニ二毛一滯一沙一塵毫髮バカリノ善根モアラバ。地藏菩薩漸ク度シ玉フベシト誓ヒ玉ヘリ。又花嚴經ニ人ノ金剛ヲ飲ム喻ヲ説ク。儒釋道異ナリトイヘトモ。趣キ同ジキコト頗ル多シ。慎シムベシ恐ルベシ。省ミ修セズンバアルベカラズ。

幽靈現ハレテ回向ヲ望ム事

播州姫路ノ町ニ大原屋次郎太夫ト云信士アリ。常ニ眞
言ヲ念誦シ持齋ナド勤メテ。淨信決定ノ人ナリ。天和年
中ニ高野ニ詣セントテ。一人ノ僕ヲ具シテ登リケル因ニ。河内
小西見村延命寺へ來リテ我ガ親族ノ亡者ニ追福ヲ頼
ケリ。淨嚴和尚光明三昧ヲ修シテ回向セラレケレバ其夜播
州ノ親族ノ夢ニ法事ノアリサマヲ見。死セシ女人喜悅ノ色
ヲ含ミテ。我高僧ノ回向ニ依リテ今諸苦ヲ免レタリ。憂慮ス
スルコトナカレトイヘリ。又大原氏具シテ來リシ僕。夜起テ人ト言
及ビ相撲トル様ナリ。大原氏目覺テ問何事ゾヤト。僕ノ曰ク
予ガ朋輩三年已前二人ト口論シテ人ニ斬レケリ。其者今天井
ヨリ簀ニ乘リテ下リテ曰ク。我レ餓鬼趣ニ墮シテ苦シシ無量
ナリ。今先我ニ食ヲ與ヘヨ。又今善キ處へ來レリ我為ニ回向

ヲ頼ミ奉レト。イロクニ誨キケルヲ。我肯ハズ組合侍ルナリト。
大原氏モ其ノ幽靈ノ聲ヲ聞ケリ。侷子翌日昨夜ハ暫クモ
眠ラザル由ヲイヘリ。次ノ日ハ高野ニ登ルトテ。紙谷ノ宿ニ泊
リケルニ。又彼ノ靈來リテ種々ニ誨キケリ。高野ニ宿セシ
夜ハ來ラズ。結果ノ地ナル故ナルベシ。歸ルサニ河根ニ宿スルニ
又來リヌ。次ニ小西見ニ宿スルニ又同ジク來リテ種々ニ
頼ミシヲ。彼ノ侷子慈愍ナクテ終ニ回向ヲ請マザリケリ。
彼大原氏後ニハ出家シテ印空觀明ト号シテ延命寺ニ住ス。曾
テ此事ヲ予ニ語りケリ。又印空未ダ出家セザリシ時。弘
法大師ノ尊像ヲ安置シテ供養ジケルニ。夢中ニ度々汝早ク
河内小西見ニ行キ出家セヨト告玉ヘリ。其外種々ノ靈異
ヲ得タレトモ。謹愿ノ人ニテ叨リ二人ニハ語ラザリ。サレバ本願

播州姫路ノ町ニ大原屋次郎太夫ト云信士アリ。常ニ眞
言ヲ念誦シ持齋ナド勤メテ。淨信決定ノ人ナリ。天和年
中ニ高野ニ詣セントテ。一人ノ僕ヲ具シテ登リケル因ニ。河内
小西見村延命寺へ來リテ我ガ親族ノ亡者ニ追福ヲ頼
ケリ。淨嚴和尚光明三昧ヲ修シテ回向セラレケレバ其夜播
州ノ親族ノ夢ニ法事ノアリサマヲ見。死セシ女人喜悅ノ色
ヲ含ミテ。我高僧ノ回向ニ依リテ今諸苦ヲ免レタリ。憂慮ス
スルコトナカレトイヘリ。又大原氏具シテ來リシ僕。夜起テ人ト言
及ビ相撲トル様ナリ。大原氏目覺テ問何事ゾヤト。僕ノ曰ク
予ガ朋輩三年已前二人ト口論シテ人ニ斬レケリ。其者今天井
ヨリ簀ニ乘リテ下リテ曰ク。我レ餓鬼趣ニ墮シテ苦シシ無量
ナリ。今先我ニ食ヲ與ヘヨ。又今善キ處へ來レリ我為ニ回向

ヲ頼ミ奉レト。イロクニ誨キケルヲ。我肯ハズ組合侍ルナリト。
大原氏モ其ノ幽靈ノ聲ヲ聞ケリ。侷子翌日昨夜ハ暫クモ
眠ラザル由ヲイヘリ。次ノ日ハ高野ニ登ルトテ。紙谷ノ宿ニ泊
リケルニ。又彼ノ靈來リテ種々ニ誨キケリ。高野ニ宿セシ
夜ハ來ラズ。結果ノ地ナル故ナルベシ。歸ルサニ河根ニ宿スルニ
又來リヌ。次ニ小西見ニ宿スルニ又同ジク來リテ種々ニ
頼ミシヲ。彼ノ侷子慈愍ナクテ終ニ回向ヲ請マザリケリ。
彼大原氏後ニハ出家シテ印空觀明ト号シテ延命寺ニ住ス。曾
テ此事ヲ予ニ語りケリ。又印空未ダ出家セザリシ時。弘
法大師ノ尊像ヲ安置シテ供養ジケルニ。夢中ニ度々汝早ク
河内小西見ニ行キ出家セヨト告玉ヘリ。其外種々ノ靈異
ヲ得タレトモ。謹愿ノ人ニテ叨リ二人ニハ語ラザリ。サレバ本願

經ノ所説ノ如ク經咒ヲ誦シテ亡者ニ回向スレバ。必ズ苦患ヲ免ルコト。一モ虚妄ニアラズ。又亡者モ回向ヲ望ムコト昔シヨリ今ニ至ルマデ例シ多シ。心アラン人ハ有縁無縁ニヨラス回向スベキナリ。○中古高野山何ガシノ阿闍梨トカヤ。轎子ニ乗テ和州ノ室生山ノ邊リヲ通ラレケリ。人ヲ葬スル見ヘケレバ。肩輿ノ中ニテ持戒清淨ノ印明ヲ結誦シテ回向セラレケリ。其ノ夜其ノ亡者其ノ子ノ夢ニ見テ曰ク。我レ今日高野山某ノ阿闍梨ノ回向ニ依テ。苦趣ヲ脱シテ淨土ニ往生セリ。汝チ必ズ高野ニ登リテ厚ク恩ヲ謝シ奉レト告タリ。此事古キ記録ニ載テ正シキ事ナリ。電覽日久シケレバ人ノ名ヲバ忘レタリ。且ツ回向ヲ望ムトモ持戒ノ珠瑕ナク。觀念ノ月圓ナル人ニ請ナバマス。善ルベシ。心佛衆生三平等ノ理ニ住シテ回向スル時ハ。我が

誦ズル真言ハ即チ亡者ノ誦ズルナリ。乃至我が所修ノ功德ト。十方法界ノ一切如來ノ三無數大劫ノ所修ノ功德ト。一切ノ三乗ノ賢聖ノ所修ノ功德ト。平等一如ニシテ共ニ亡者ノ功德トナルガ故ニ。速疾ニ天及ビ淨土ニ生ズルナリ。宜ナルカナ高野ノ阿闍梨ノ回向ヲ喜ビ。延命寺ノ和尚ニ追福ヲ望ム。フ。サレバ回向ノ中ニハ真言ノ力最モ勝レタリ。寶篋印陀羅尼。尊勝隨求大佛頂光明真言等ノ經ノ中ニ明カニ説カ如シ。讚岐ノ人回向ヲ蒙リテ他化自在天ニ生ゼシ事。延寶七年ノ春。吾ガ和尚讚州高松ニ齋屋ノ梵網經ヲ講ジ玉ヘリ。余時ニ西濱ノ人我が父ノ百個日ニ丁リテ。精米若干升。青鳥若干縷ヲ持來リテ。追福回向ヲ請ケリ。和尚五六口ノ伴僧ヲ帥テ。大隨求陀羅尼一七遍誦シテ回向シ玉ヘリ。

經ノ所説ノ如ク經咒ヲ誦シテ亡者ニ回向スレバ。必ズ苦患ヲ免ルコト。一モ虚妄ニアラズ。又亡者モ回向ヲ望ムコト昔シヨリ今ニ至ルマデ例シ多シ。心アラン人ハ有縁無縁ニヨラス回向スベキナリ。○中古高野山何ガシノ阿闍梨トカヤ。轎子ニ乗テ和州ノ室生山ノ邊リヲ通ラレケリ。人ヲ葬スル見ヘケレバ。肩輿ノ中ニテ持戒清淨ノ印明ヲ結誦シテ回向セラレケリ。其ノ夜其ノ亡者其ノ子ノ夢ニ見テ曰ク。我レ今日高野山某ノ阿闍梨ノ回向ニ依テ。苦趣ヲ脱シテ淨土ニ往生セリ。汝チ必ズ高野ニ登リテ厚ク恩ヲ謝シ奉レト告タリ。此事古キ記録ニ載テ正シキ事ナリ。電覽日久シケレバ人ノ名ヲバ忘レタリ。且ツ回向ヲ望ムトモ持戒ノ珠瑕ナク。觀念ノ月圓ナル人ニ請ナバマス。善ルベシ。心佛衆生三平等ノ理ニ住シテ回向スル時ハ。我が

誦ズル真言ハ即チ亡者ノ誦ズルナリ。乃至我が所修ノ功德ト。十方法界ノ一切如來ノ三無數大劫ノ所修ノ功德ト。一切ノ三乗ノ賢聖ノ所修ノ功德ト。平等一如ニシテ共ニ亡者ノ功德トナルガ故ニ。速疾ニ天及ビ淨土ニ生ズルナリ。宜ナルカナ高野ノ阿闍梨ノ回向ヲ喜ビ。延命寺ノ和尚ニ追福ヲ望ム。コト。サレバ回向ノ中ニハ真言ノ力最モ勝レタリ。寶篋印陀羅尼。尊勝隨求大佛頂。光明真言等ノ經ノ中ニ明カニ説カ如シ。讚岐ノ人回向ヲ蒙リテ他化自在天ニ生ゼシ事。延寶七年ノ春。吾ガ和尚讚州高松ニ齋屋シテ。梵網經ヲ講ジ玉ヘリ。余時ニ西濱ノ人我が父ノ百個日ニ丁リテ。精米若干升。青鳥若干縷ヲ持來リテ。追福回向ヲ請ケリ。和尚五六口ノ伴僧ヲ帥テ。大隨求陀羅尼一七遍誦シテ回向シ玉ヘリ。

予モ其ノ席末ニ居テ同ジク誦セリ。其夜彼者ノ夢ニ死セシ
父美麗ナル珍服ヲ著テ。面テニ喜悅ノ色アリ。子ニ告テ曰ク
我今日高僧ノ回向ヲ蒙リテ他化自在天ニ生ゼリ喜ブ
ベシト。彼者踊躍シテ明日即チ吾ガ師ノ所ヘ來リ。シカクノ由
ヲ語リテ禮謝シケリ。此事予面尙聞シカバ殊ニ記スルモノナ
リ。宗ニ眞言陀羅尼ハ醍醐ノ妙藥ニテ。現當ノ利益ヲ得ル
ヲ速疾ナリ。中ニモ大隨求ハ極重惡人モ此ヲ帶シテ守リトス
レバ。一切ノ罪障消滅シテ必ズ天ニ生ズベシ。若シ心ヲ致シテ供養
スレバ。必ズ極樂淨土ニ往生スト説玉ヘリ。凡ソ自ラ經ヲ誦
シ佛名ヲ唱ヘテコソ淨土ニ生ズル法ナルニ。密乘ノ諸乘ニ
超過セルハ是ナリ。自ラ誦ズルニアラザレドモ唯守リトシテ禮
拜供養スルニ必ズ往生シ。又ハ他人ノ回向ヲ受。又ハ加持土

沙ノ結縁ヲ得ルニ。地獄頓ニ破レテ淨土ニ往生スルコト。奇ガ中
ノ大奇妙ナリ。佛説既ニ疑ヒナキニ又現ニ生天ノ靈應アル
ヲヤ。信ゼズンバアルベカラズ。他人ノ回向ヲ受ルスラ猶天ニ生ズ。
況ヤ自ラ讀誦センヤヤ。
兄ミヲ殺シテ現報ヲ受ル事
河州丹南郡太井村ニ善兵衛ト云者アリ。兄二人アリ。其中
子性惡クテ人ニ害多ク。父母ニモ不孝ナリケレバ。兄弟俱ニ
憎ミケリ。寛文ノ末ニ少シノ惡事アリシニ托シテ。兄弟二人圖リ
テ中子ヲ殺セリ。其ヨリ彼ノ弟善兵衛狂人ノ如クニナリテ。
西ニ向テ立チヤイクト呼フ。人其ノユヘヲ問ヘトモ答ヘズ。晝夜ヲ
分タズ呼ケリ食物モ常ノ如ク言語モ居常ニ異ナラズ。只ヤイ
クトヨブノミ病ナリ。其聲太ハダ高クシテ四十町アマリハ聞ケリ。高

眞言佛石集卷三末

三

予モ其ノ席末ニ居シテ同ジク誦セリ。其夜彼者ノ夢ニ死セシ
父美麗ナル珍服ヲ著テ。面テニ喜悅ノ色アリ。子ニ告テ曰ク
我今日高僧ノ回向ヲ蒙リテ他化自在天ニ生ゼリ喜ブ
ベシト。彼者踊躍シテ明日即チ吾ガ師ノ所ヘ來リ。シカクノ由
ヲ語リテ禮謝シケリ。此事予面尙聞シカバ殊ニ記スルモノナ
リ。宗ニ眞言陀羅尼ハ醍醐ノ妙藥ニテ。現當ノ利益ヲ得ル
ヲ速疾ナリ。中ニモ大隨求ハ極重惡人モ此ヲ帶シテ守リトス
レバ。一切ノ罪障消滅シテ必ズ天ニ生ズベシ。若シ心ヲ致シテ供養
スレバ。必ズ極樂淨土ニ往生スト説玉ヘリ。凡ソ自ラ經ヲ誦
シ佛名ヲ唱ヘテコソ淨土ニ生ズル法ナルニ。密乘ノ諸乘ニ
超過セルハ是ナリ。自ラ誦ズルニアラザレドモ唯守リトシテ禮
拜供養スルニ必ズ往生シ。又ハ他人ノ回向ヲ受。又ハ加持土

沙ノ結縁ヲ得ルニ。地獄頓ニ破レテ淨土ニ往生スルコト。奇ガ中
ノ大奇妙ナリ。佛説既ニ疑ヒナキニ又現ニ生天ノ靈應アル
ヲヤ。信ゼズンバアルベカラズ。他人ノ回向ヲ受ルスラ猶天ニ生ズ。
況ヤ自ラ讀誦センヤヤ。
兄ミヲ殺シテ現報ヲ受ル事
河州丹南郡太井村ニ善兵衛ト云者アリ。兄一人アリ。其中
子性惡クテ人ニ害多ク。父母ニモ不孝ナリケレバ。兄弟俱ニ
憎ミケリ。寛文ノ末ニ少シノ惡事アリシニ托シテ。兄弟二人圖リ
テ中子ヲ殺セリ。其ヨリ彼ノ弟善兵衛狂人ノ如クニナリテ。
西ニ向テ立チヤイクト呼フ。人其ノユヘヲ問ヘトモ答ヘズ。晝夜ヲ
分タズ呼ケリ食物モ常ノ如ク言語モ居常ニ異ナラズ。只ヤイ
クトヨブノミ病ナリ。其聲太ハダ高クシテ四十町アマリハ聞ケリ。高

③末21オ

③末20ウ

僧等來リテ種々ニ諭シ。念佛誦咒ヲ勸ムレトモ聞入レズ。狂人ノ如クナレモ亦狂セルモアラズ。後ニハ漸ク聲モ下クナリヌ。人其ノ呼ブ因縁ヲ問ヘハ曰ク。我兄ト共ニ殺セシ兄船ニ乗テ來ルヲ見ニ。此ノ處即變シテ大海ト成ル。我即チ海ヘ沈ムガ故ニ其ノ船ノ兄ニ我ヲ救ヘテ呼ブナリト。言モ訖ズ早今海ニ沈ムゾ。ヤイノト呼ケリ。此ヨリ外ノ事ハナシ。年ヲ經テ後ハ其聲モ漸ク下クナリヌ。予延審三年ノ春小寺村ニ居シテ。其ノ聲ヲ聞ケリ。其後程ナク死シケルトナン。是彼ガ兄ニハ酬ハズシテ弟ニ酬ヘリ。兄トシテハ若シ弟ニ大過アラバ殺スベキ理モアルガ故ナルベシ。弟トシテ兄ノ罪過大ナリトモ殺スベキ理ナケレハ。現ニ報ヒヲ得タルナラ。兄ニハ我が父ノ如ク事フベキニ。却テ殺セルハ逆罪ト同ジケレバ。現報ヲ得タル亦宜ナラズヤ

③末21ウ

大ヲ殺シテ生身ニ大トナリシ事
泉州忠岡村ニ作藏ト云者アリ。堺邑ノ松屋ノ作右衛門ガカトナリテ久シク仕ヘケリ。或人赤犬ノ心ハ妙藥ナリト云ヲ聞テ。即チ赤犬ヲ殺シテ食ハントス。犬ヲ捉ヘテ四辻ノ井ノ中ヘ擲入。竿ヲ以テ撞殺シテ。終ニ其ノ心ヲ取テ食セリ。食シテ後身心忙然トシテ醒ミノ如クニナリヌ。即チ忠岡ニカヘリ。家兄ノ所ヘ往テ場ノ隅ニ躊躇マル。嫂婦善ク來リ玉ヘリ是ヘトテ座敷ヲ開キテ呼ドモ答ヘズ。唯犬ノ如クニ場ノ隅ニウツクマレリ。家兄怪シミテ思ハク氣色アシクテ座敷ヘハ上ラヌナラント。即チ食物ヲ與フルニ手ニ取リテ即チ場ヘ寫シテ。自ラ口吻ヲサシ付テ食フコト犬ニ異ナルコトナシ。親族仰天シテ左右セシカトモ力及バザリケリ。其ヨリ終ニ人語アルコトナク。ベウノトノミ吠テ形モ犬ノ如クニナリ。

③末22オ

僧等來リテ種々ニ諭シ。念佛誦咒ヲ勸ムレトモ聞入レズ。狂人ノ如クナレトモ亦狂ゼルエモアラズ。後ニハ漸ク聲モ下クナリヌ。人其ノ呼ブ因縁ヲ問ヘハ曰ク。我兄ト共ニ殺セシ兄船ニ乗テ來ルヲ見ニ。此ノ處即變シテ大海ト成ル。我即チ海ヘ沈ムガ故ニ其ノ船ノ兄ニ我ヲ救ヘテ呼ブナリト。言モ訖ズ早今海ニ沈ムゾ。ヤイノト呼ケリ。此ヨリ外ノ事ハナシ。年ヲ經テ後ハ其聲モ漸ク下クナリヌ。予延審三年ノ春小寺村ニ居シテ。其ノ聲ヲ聞ケリ。其後程ナク死シケルトナン。是彼ガ兄ニハ酬ハズシテ弟ニ酬ヘリ。兄トシテハ若シ弟ニ大過アラバ殺スベキ理モアルガ故ナルベシ。弟トシテ兄ノ罪過大ナリトモ殺スベキ理ナケレハ。現ニ報ヒヲ得タルナラ。兄ニハ我が父ノ如ク事フベキニ。却テ殺セルハ逆罪ト同ジケレバ。現報ヲ得タル亦宜ナラズヤ

大ヲ殺シテ生身ニ大トナリシ事
泉州忠岡村ニ作藏ト云者アリ。堺邑ノ松屋ノ作右衛門ガカトナリテ久シク仕ヘケリ。或人赤犬ノ心ハ妙藥ナリト云ヲ聞テ。即チ赤犬ヲ殺シテ食ハントス。犬ヲ捉ヘテ四辻ノ井ノ中ヘ擲入。竿ヲ以テ撞殺シテ。終ニ其ノ心ヲ取テ食セリ。食シテ後身心忙然トシテ醒ミノ如クニナリヌ。即チ忠岡ニカヘリ。家兄ノ所ヘ往テ場ノ隅ニ躊躇マル。嫂婦善ク來リ玉ヘリ是ヘトテ座敷ヲ開キテ呼ドモ答ヘズ。唯犬ノ如クニ場ノ隅ニウツクマレリ。家兄怪シミテ思ハク氣色アシクテ座敷ヘハ上ラヌナラント。即チ食物ヲ與フルニ手ニ取リテ即チ場ヘ寫シテ。自ラ口吻ヲサシ付テ食フコト犬ニ異ナルコトナシ。親族仰天シテ左右セシカトモ力及バザリケリ。其ヨリ終ニ人語アルコトナク。ベウノトノミ吠テ形モ犬ノ如クニナリ。

食物ハ必ズ土ノ上ニ寫テ食ヒケリ。後ニ吾孫子ノ豊中村ニ
來リテ。晝ハ野邊ヲ獨リ歩ミテ糞アレバ即チ食ヒ夜ハ常福
寺ノ門前ニ臥ス。羣犬ノ中ニアレドモ餘犬怪シミ吠ズ。二三年
ヲ經テ万治二年九月十五日ニ野邊ニテ死シケリ。法名道
喜ト号ス。正シキ事ナリ。○近比大坂ニ夫妻アリ。妻久シク煩ヒ
テ瘡ベクモ見ヘザリケリ。或人來リテ曰ク。此ノ病ニハ赤犬ノ心ヲ
食スレバ即チ平愈スト。其ノ家ニ赤犬アリ。此ノ語ヲ聞彼ノ人ノ
顔ヲツラク見テ。即チ何方トモナク失ケリ。彼ノ人懼レテ曰ク。
我赤犬ノ心コソ藥ナリケルト言シテ彼ノ犬聞テ去リ又定メテ
路ニテ待テ我ヲ食殺サント思フナルベシ。唯シ此病ニハ雉ノ鳥ヲ
食テモヨシ。赤犬ニハ限ラズ。我獨リ歸ルコトアタハジトテ。二人伴ナヒ
テ歸リケルニ路ニ待テヲラズ。二三日カ程ハ其犬往方知レズ

ナリヌ。四日ヲ經テ彼犬歸リシニ。雉ノ鳥ヲ一羽銜ミ來リテ。
主人ノ前ニ置テ甚ダ疲レテ臥シヌ。主人悦ビ感シテ曰ク汝畜
生ニアラス。先日ノ客ノ言ヲ聞テ此ノ雉ヲ取り來レルナ
ラントテ。犬ヲ撫摩食ヲ與ヘケレトモ。四日ノ間食セザレバ甚ダ
疲レタル體ニテ臥シヌ。サテソロソロト力付テ初ノ如クニナレリ。
彼男其雉ヲ妻ニ食セシメズシテ我が知己ノ方ヘ餵リケリ。其後
妻カ病ヒ重クナリケレバ。彼ノ犬ヲ賺シスマシテ殺シ心ヲ妻ニ
食ハシメタリ。其日ヨリ彼男慄ヒ付テ二三日病テ死シヌ。其妻
モ亦病イヨク重リテ犬ノ如クニナリ。口バシリテ曰ク。初ヨ
リ我ヲ殺サンコトハ能ク知レリ。故ニ此雉ヲ取り來リヌ。雉ヲ
取り來ルコトカリソメノ辛苦ニアラズ。晝ハ他所ノ犬ニ責ラル、
ガ故ニ忍ビ伏シテ夜々ヒソカニ銜ミ來レリ。然ルヲ我が志ヲモ省

食物ハ必ズ土ノ上ニ寫テ食シケリ。後ニ吾孫子ノ豊中村ニ
來リテ。晝ハ野邊ヲ獨リ歩ミテ糞アレバ即チ食ヒ。夜ハ常福
寺ノ門前ニ臥ス。羣犬ノ中ニアレドモ餘犬怪シミ吠ズ。二三年
ヲ經テ万治二年九月十五日ニ野邊ニテ死シケリ。法名道
喜ト号ス。正シキ事ナリ。○近比大坂ニ夫妻アリ。妻久シク煩ヒ
テ瘡ベクモ見ヘザリケリ。或人來リテ曰ク。此ノ病ニハ赤犬ノ心ヲ
食スレバ即チ平愈スト。其ノ家ニ赤犬アリ。此ノ語ヲ聞彼ノ人ノ
顔ヲツラク見テ。即チ何方トモナク失ケリ。彼ノ人懼レテ曰ク。
我赤犬ノ心コソ藥ナリケルト言シテ彼ノ犬聞テ去リヌ。定メテ
路ニテ待テ我ヲ食殺サント思フナルベシ。唯シ此病ニハ雉ノ鳥ヲ
食テモヨシ。赤犬ニハ限ラズ。我獨リ歸ルコトアタハジトテ。二人伴ナヒ
テ歸リケルニ路ニ待テヲラズ。二三日カ程ハ其犬往方知レズ

ナリヌ。四日ヲ經テ彼犬歸リシニ。雉ノ鳥ヲ一羽銜ミ來リテ。
主人ノ前ニ置テ甚ダ疲レテ臥シヌ。主人悦ビ感シテ曰ク汝畜
生ニアラス。先日ノ客ノ言ヲ聞テ此ノ雉ヲ取り來レルナ
ラントテ。犬ヲ撫摩食ヲ與ヘケレトモ。四日ノ間食セザレバ甚ダ
疲レタル體ニテ臥シヌ。サテソロソロト力付テ初ノ如クニナレリ。
彼男其雉ヲ妻ニ食セシメズシテ我が知己ノ方ヘ餵リケリ。其後
妻カ病ヒ重クナリケレバ。彼ノ犬ヲ賺シスマシテ殺シ心ヲ妻ニ
食ハシメタリ。其日ヨリ彼男慄ヒ付テ二三日病テ死シヌ。其妻
モ亦病イヨク重リテ犬ノ如クニナリ。口バシリテ曰ク。初ヨ
リ我ヲ殺サンコトハ能ク知レリ。故ニ此雉ヲ取り來リヌ。雉ヲ
取り來ルコトカリソメノ辛苦ニアラズ。晝ハ他所ノ犬ニ責ラル、
ガ故ニ忍ビ伏シテ夜々ヒソカニ銜ミ來レリ。然ルヲ我が志ヲモ省

ミズ情ナク殺サル。我何ゾ怒ヲ酬ヒザラントテ。終ニ其ノ妻モ死ニストゾ。此又正シキ事ナリ。其町其人ノ名モ聞シカド今ハ忘レタリ。肉ヲ食スルモノハ大慈悲ノ性種子ヲ断ト佛ハ誠メ玉ヘリ。中ニモ心ヲ食フコトナカレ。心ハ神靈ノ窟宅ナレバマノ罪深シト。唐ノ高僧ハ教ヲノコセリ。朝露電光ノ命ヲ養ハシガ為メニ。阿僧祇耶長時ノ苦シミヲ招キ。現ニモカク醜名ヲ流布ス。悲ヒカナ欽メヤ

大能ク人ノ語ヲ知リ人ノ恩ヲ知ル事

河州ニ一リノ浪人アリ。家ニ犬ヲ養ケリ。或年ノ冬塚ノ人來リテ犬ヲ買フニ錢六百元ニ賣ヌ。彼ノ買者ノ曰ク我捉ヘナバ定メテ食付ベシ。捉ヘテ與ヘ玉ヘト。主人犬ニ近付テ曰ク我貧乏逼リテ命ヲ續コトヲ得ズ。故ニ汝ヲ賣リテ直ヲ得タリ。

必ズ彼ノ處ニ至リナバ逃テ歸レ復汝ヲ賣ラジト。人ニ言如クニ言テ捉ヘ縛リケレバ。居常ハ猛キ犬ナレトモヤス〜ト縛ラレケリ。犬買牽テ歸リヌ。然ルニ其ノ夜彼ノ犬逸テ歸レリ。主人悦ビテ食物ヲ與ヘケリ。サテ五七日經テ後ニ又彼ノ犬買來リテ犬ヲ望ミシニ。今般ハ與フマジキ道理ナルヲ。又錢ヲ與フベク言ケレバ。主人欲心發リ繩ヲ持テ犬ノ傍ニヨルト。犬即チ主人ガ亢ニ食付テ殺シケリ。ソレ犬ハ人近キ獸ナレバ能ク人語ヲ聞知リ。人ノ恩ヲ知リ。人ノ邪正ヲ知ル。故ニ此ノ怨ヲ報ヒタリ。○昔シ陸機ガ犬ヲ黃耳ト云。書簡ヲ結付テ數百里ニ使价セシムルニ。能ク往來シテ返簡ヲ取り來ルトイヘリ。○又智度論ニ曰ク佛舍利弗ト共ニ乞食シ玉フ。舍利弗一鉢ノ飯ヲ以テ佛ニ供養シ奉ル。佛受テ即チ狗ニ施シ

犬能ク人ノ語ヲ知リ人ノ恩ヲ知ル事

三

ミズ情ナク殺サル。我何ゾ怒ヲ酬ヒザラントテ。終ニ其ノ妻モ死ニストゾ。此又正シキ事ナリ。其町其人ノ名モ聞シカド今ハ忘レタリ。肉ヲ食スルモノハ大慈悲ノ性種子ヲ断ト佛ハ誠シメ玉ヘリ。中ニモ心ヲ食フコトナカレ。心ハ神靈ノ窟宅ナレバマノ罪深シト。唐ノ高僧ハ教ヲノコセリ。朝露電光ノ命ヲ養ハシガ為メニ。阿僧祇耶長時ノ苦シミヲ招キ。現ニモカク醜名ヲ流布ス。悲ヒカナ欽メヤ

大能ク人ノ語ヲ知リ人ノ恩ヲ知ル事

河州ニ一リノ浪人アリ。家ニ犬ヲ養ケリ。或年ノ冬塚ノ人來リテ犬ヲ買フニ錢六百元ニ賣ヌ。彼ノ買者ノ曰ク我捉ヘナバ定メテ食付ベシ。捉ヘテ與ヘ玉ヘト。主人犬ニ近付テ曰ク我貧乏逼リテ命ヲ續コトヲ得ズ。故ニ汝ヲ賣リテ直ヲ得タリ。

必ズ彼ノ處ニ至リナバ逃テ歸レ復汝ヲ賣ラジト。人ニ言如クニ言テ捉ヘ縛リケレバ。居常ハ猛キ犬ナレトモヤス〜ト縛ラレケリ。犬買牽テ歸リヌ。然ルニ其ノ夜彼ノ犬逸テ歸レリ。主人悦ビテ食物ヲ與ヘケリ。サテ五七日經テ後ニ又彼ノ犬買來リテ犬ヲ望ミシニ。今般ハ與フマジキ道理ナルヲ。又錢ヲ與フベク言ケレバ。主人欲心發リ繩ヲ持テ犬ノ傍ニヨルト。犬即チ主人ガ亢ニ食付テ殺シケリ。ソレ犬ハ人近キ獸ナレバ能ク人語ヲ聞知リ。人ノ恩ヲ知リ。人ノ邪正ヲ知ル。故ニ此ノ怨ヲ報ヒタリ。○昔シ陸機ガ犬ヲ黃耳ト云。書簡ヲ結付テ數百里ニ使价セシムルニ。能ク往來シテ返簡ヲ取り來ルトイヘリ。○又智度論ニ曰ク佛舍利弗ト共ニ乞食シ玉フ。舍利弗一鉢ノ飯ヲ以テ佛ニ供養シ奉ル。佛受テ即チ狗ニ施シ

③末24オ

③末23ウ

三ツ。而モ舍利弗ニ問玉ハク。汝ハ我ニ供ズ。我ハ狗ニ施ス。是ノ功
徳何レカ勝レタルヤ。舍利弗ノ曰ク。佛狗ニ施シ玉フ功德甚
大ナリ。佛ノ曰ク善哉汝ガ所言ノ如シ。慈心ヲ以テ餓狗ニ
食ヲ施スハ佛ヲ供スルヨリモ勝レタリト取意サレバ佛三界
天人ノ所供養ナレバ乏シキコトナシ。餓狗ハ現ニ苦シミテ救
フ人ナシ。故ニ勝レタリ。又涅槃經ニハ比丘ノ牛羊象馬驢騾
猪猫狗等ノ鳥獸ヲ養ヒ畜フコトヲ戒メ玉ヘト菩薩婆多部律
攝ニハ。大寺ノ内ニ盜賊ヲ防ンガ為ニ犬ヲ養フヲ許シ玉ヘリ。
又高野明神ハ犬ヲ眷屬トシ玉フ。神明ノ所使ナレバ啖リニ
殺シ。啖リニ打擲スベカラズ。又江戸ノ風俗犬ハ不動明王ノ使者
ナリトイヘリ。經論ノ説ナシトイヘトモ昔ヨリ言ナラハセルコト。
定メテ憑據アルカ。又犬ハ行者ノ殘食ヲ食セル故ニヤ。上古ヨ

リ神僧ノ犬ヲ愛シ養ヘルコト例シ多シ。僧史ノ中ニ見ヘタリ。
具ニ記スルコトアタバス。○又昔シ蘆入鹿大ニ兵士ヲ集メテ。上宮
太子ノ屬ヲ亡ス。時ニ播州ニ枚夫ト云者アリ。世々雄武ノ
名アリ。召レテ軍ニ從フ。枚夫妻アリ若シテ姝好。枚夫ガ僕密
通セリ。後ニ枚夫歸ル。僕事ノ露レシコトヲ恐レテ主ニ語テ曰ク。
山中ニ一所アリ猪鹿ノ集ル所ナリ。諸人知ラズ只我ノミ知レリ。
願クハ君ト二人ヒソカニ往テ獵セン亦快カラザランヤ。若シ人ニ
知ラシメバ君ノ有ニアラジト。枚夫大ニ喜フ。枚夫ハ本ヨリ弓
ノ上手ナリ。曾テヨリ二匹ノ黑狗ヲ養フ。二犬ト僕ト山中ニ
入ルコト四五里ニシテ。僕弓ヲ彎矢ヲ架テ曰ク。我昔ハ君ヲ主人ト
ス。然レトモ君ガ妻我ヲ夫トシテ今君ヲ殺サシム。故ニ今ハ敵ナリ。
此山獵所ナシ我君ヲ給ヒテ此ニ至レリ。此ノ一箭ニ君ガ命ヲ

玉フ。而モ舍利弗ニ問玉ハク。汝ハ我ニ供ズ。我ハ狗ニ施ス。是ノ功
徳何レカ勝レタルヤ。舍利弗ノ曰ク佛狗ニ施シ玉フ功德甚
大ナリ。佛ノ曰ク善哉汝ガ所言ノ如シ。慈心ヲ以テ餓狗ニ
食ヲ施スハ佛ヲ供ズルヨリモ勝レタリト取意サレバ佛ハ三界
天人ノ所供養ナレバ乏シキコトナシ。餓狗ハ現ニ苦シミテ救
フ人ナシ。故ニ勝レタリ。又涅槃經ニハ比丘ノ牛羊象馬驢騾
猪猫狗等ノ鳥獸ヲ養ヒ畜フコトヲ戒メ玉ヘト菩薩婆多部律
攝ニハ。大寺ノ内ニ盜賊ヲ防ンガ為ニ犬ヲ養フヲ許シ玉ヘリ。
又高野明神ハ犬ヲ眷屬トシ玉フ。神明ノ所使ナレバ啖リニ
殺シ。啖リニ打擲スベカラズ。又江戸ノ風俗犬ハ不動明王ノ使者
ナリトイヘリ。經論ノ説ナシトイヘトモ昔ヨリ言ナラハセルコト。
定メテ憑據アルカ。又犬ハ行者ノ殘食ヲ食セル故ニヤ。上古ヨ

リ神僧ノ犬ヲ愛シ養ヘルコト例シ多シ。僧史ノ中ニ見ヘタリ。
具ニ記スルコトアタバス。○又昔シ蘆入鹿大ニ兵士ヲ集メテ。上宮
太子ノ屬ヲ亡ス。時ニ播州ニ枚夫ト云者アリ。世々雄武ノ
名アリ。召レテ軍ニ從フ。枚夫妻アリ若シテ姝好。枚夫ガ僕密
通セリ。後ニ枚夫歸ル。僕事ノ露レシコトヲ恐レテ主ニ語テ曰ク。
山中ニ一所アリ猪鹿ノ集ル所ナリ。諸人知ラズ只我ノミ知レリ。
願クハ君ト二人ヒソカニ往テ獵セン亦快カラザランヤ。若シ人ニ
知ラシメバ君ノ有ニアラジト。枚夫大ニ喜フ。枚夫ハ本ヨリ弓
ノ上手ナリ。曾テヨリ二匹ノ黑狗ヲ養フ。二犬ト僕ト山中ニ
入ルコト四五里ニシテ。僕弓ヲ彎矢ヲ架テ曰ク。我昔ハ君ヲ主人ト
ス。然レトモ君ガ妻我ヲ夫トシテ今君ヲ殺サシム。故ニ今ハ敵ナリ。
此山獵所ナシ我君ヲ給ヒテ此ニ至レリ。此ノ一箭ニ君ガ命ヲ

得ベシ。知ラズ君思フ所アリヤ。我君ガ命ヲ奪フ能ク君ガ
身後ヲ濟ント。枚夫カ曰ク。甚カナ我が衰ヘタルコト。我未ダ此
事ヲ知ラス。餘ハ又何ヲカ言シヤ。但一事アリ願クハ汝且ク待
ト。枚夫腰ニ食ヲ包ミテ帶セルアリ。即チ二犬ヲ呼テ食ヲ分
テ二トシテ各與ヘテ。二犬ヲ撫テ曰ク。我汝等ヲ畜フ多年。
愛スルコト子弟ノ如シ。此ノ飯ハ是我ガ餐ナリ。今汝等ニ與フ。
是一生ノ最後ノ食ナリ。我死セバ誰カ又汝等ヲ養ハナン。我今
死シテ後ニ汝二犬一時ニ我カ屍骸ヲ嚙テ盡セ。遺餘アラシム
ルコトナカレ。然ルユハ我少壯ヨリ雄武ノ譽ヲ得テ。蕪氏ノ軍ニ
從ヘリ。恥ラクハ今僕隸ノ為ニ給カレテ空シク山中ニ死セン國
人競ヒ來リテ我ガ屍ヲ見テ嘲リ笑ハシ。是死後ノ大ナル患
ナリ。汝二犬必ズ我ガ屍骸ヲ食盡セト。二犬涙ヲ流シ耳ヲ垂テ

得ベシ。知ラズ君思フ所アリヤ。我君ガ命ヲ奪フトモ能ク君ガ
身後ヲ濟ント。枚夫カ曰ク。甚カナ我が衰ヘタルコト。我未ダ此
事ヲ知ラス。餘ハ又何ヲカ言シヤ。但一事アリ願クハ汝且ク待
ト。枚夫腰ニ食ヲ包ミテ帶セルアリ。即チ二犬ヲ呼テ食ヲ分
テ二トシテ各與ヘテ。二犬ヲ撫テ曰ク。我汝等ヲ畜フ多年。
愛スルコト子弟ノ如シ。此ノ飯ハ是我ガ餐ナリ。今汝等ニ與フ。
是一生ノ最後ノ食ナリ。我死セバ誰カ又汝等ヲ養ハナン。我今
死シテ後ニ汝二犬一時ニ我カ屍骸ヲ嚙テ盡セ。遺餘アラシム
ルコトナカレ。然ルユハ我少壯ヨリ雄武ノ譽ヲ得テ。蕪氏ノ軍ニ
從ヘリ。恥ラクハ今僕隸ノ為ニ給カレテ空シク山中ニ死セン國
人競ヒ來リテ我ガ屍ヲ見テ嘲リ笑ハシ。是死後ノ大ナル患
ナリ。汝二犬必ズ我ガ屍骸ヲ食盡セト。二犬涙ヲ流シ耳ヲ垂テ

③末25ウ

キ、其ノ飯ヲ食ハズ。一犬高ク躍テ僕ノ持テル弓ノ弦ヲ嚙
断ル。一犬又躍テ僕ノ亢ヲ嚙テ殺ス。枚夫涙ヲ流シテ二犬ヲ
牽テ家ニ返リ。乃チ妻ヲ逐出シ。親族ヲ聚メテ曰ク。我二
犬ニ因テ命ヲ全フセリ。我子ナシ。今ヨリ二狗ヲ立テ我ガ子
トセン。我莊田資財皆ナシ。是二犬ノ有ナリト。犬ノ壽ハ短促ナレ
バ大幾ナラズ死ス。枚夫カ曰ク我向ニ二犬ヲ以テ子トシテ資財
ヲ付ス。今其レ死シタリトイヘ。前言變ズベケンヤ。ト。即チ田貨
ヲ捨テ、伽藍ヲ建立シ。千手大悲ノ像ヲ安ジテ二犬ガ菩
提ヲ資ケ。二犬ヲ祠テ地主神トスト。此ノ像靈感日ニ新ナリ。
野火四面ニ來レトモ伽藍恙ガナキコト凡ソ三度ナリ。桓武帝
聞シメシテ官寺トシ。田數頃ヲ寄附シ玉フ。播州ノ犬寺是ナリ
釋書ノ昔シ唐ノ慧安師ノ休璟ヲ教ヘテ二犬ヲ養シメ。終ニ

キ、其ノ飯ヲ食ハズ。一犬高ク躍テ僕ノ持テル弓ノ弦ヲ嚙
断ル。一犬又躍テ僕ノ亢ヲ嚙テ殺ス。枚夫涙ヲ流シテ二犬ヲ
牽テ家ニ返リ。乃チ妻ヲ逐出シ。親族ヲ聚メテ曰ク。我二
犬ニ因テ命ヲ全フセリ。我子ナシ。今ヨリ二狗ヲ立テ我ガ子
トセン。我莊田資財皆ナシ。是二犬ノ有ナリト。犬ノ壽ハ短促ナレ
バ大幾ナラズ死ス。枚夫カ曰ク我向ニ二犬ヲ以テ子トシテ資財
ヲ付ス。今其レ死シタリトイヘ。前言變ズベケンヤ。ト。即チ田貨
ヲ捨テ、伽藍ヲ建立シ。千手大悲ノ像ヲ安ジテ二犬ガ菩
提ヲ資ケ。二犬ヲ祠テ地主神トスト。此ノ像靈感日ニ新ナリ。
野火四面ニ來レトモ伽藍恙ガナキコト凡ソ三度ナリ。桓武帝
聞シメシテ官寺トシ。田數頃ヲ寄附シ玉フ。播州ノ犬寺是ナリ
釋書ノ昔シ唐ノ慧安師ノ休璟ヲ教ヘテ二犬ヲ養シメ。終ニ

③末26オ

元難ヲ免レシメシコトト頗ル相似タリ。サレバ犬ハ能ク人ノ語ヲ
聞知リ。主人ノ恩ヲ報ズルコトヲ知レリ。餘ノ畜類ノ如クニハ思ハ
サルベシ。

犬ヲ殺シテ現報ヲ受シ事

延寶ノ始大坂久太郎町ノ堺筋ニ。長門屋ノ甚左衛門ト云
者アリ。薩州太守ノ轎子屋ナリ。家富テ家内ニ三十人モ住
セリ。然レモ長者富ニアカナラヒナレバ。蠟燭ヲ賣テ利ヲ貪ボ
リケリ。近處ニ白犬二匹アリ。或夜ヒソカニ入りテ蠟ヲ少シバ
カリ食ヒケルヲ。犬ニ瞋リテ白狗ヲ捕ヘ。居間ノ前ニテ殺サント
シケルニ。犬吠サケビケレバ。隣家ニ福吉庄右衛門ト云筆師アリ。
來リテ曰ク。カク吠ルニハ口中ヘ灰ヲ打コミタルガヨシトテ。灰ヲ多
ク打コミテ共々ニ殺シケリ。犬死スル時ニ吠ルコトアタハズ。二人ヲ

ニラミツメテ死セリ。サテ三十日餘ヲ經テ。甚左衛門二三
病ミテ即チ死セリ。又七日ヲ經テ福吉氏モ死セリ。其後漸々
ニ其家貧シクナリヌ。甚左衛門子ヲ甚右衛門ト云リ。家衰
ヲ贊テ薩摩殿ノ轎子屋ナリケルガ。或時念ヲ入テ造リタル肩
輿ヲ獻ジケルニ。故ナクテ摧ケレバ。ソレヨリ薩摩殿ノ轎子ヲ
スルコトモナラズ万事不如意ニナリモテユキテ。十年餘ノ内ニ
家衰ヘテ家宅ヲ沽却シヌ。甚右衛門ハ住處モナク逐電シテ。今
ハ茶店ナドシテ活命セリトカヤ。其子甚太郎ハ淨瑠璃カタリ
トナリ活命アルカナキカノ風情ニテ暮ストナン。○又大坂或
町ニ圓清ト云目醫師アリ。其ノ借屋ニ居ケル女房少年ヨリ
油虫ヲキラヒニクミテ。常ニ熱キ湯ヲ灌テ是ヲ殺セリ。後ニ
死スル時ニ身ノ邊ニ無量ノ油蟲生ゼリ。ヲメキサケテ曰ク。

其書卷六十五 雜談三 七

死難ヲ免レシメシコトト頗ル相似タリ。サレバ犬ハ能ク人ノ語ヲ
聞知リ。主人ノ恩ヲ報ズルコトヲ知レリ。餘ノ畜類ノ如クニハ思ハ
サルベシ。

犬ヲ殺シテ現報ヲ受シ事

延寶ノ始大坂久太郎町ノ堺筋ニ。長門屋ノ甚左衛門ト云
者アリ。薩州太守ノ轎子屋ナリ。家富テ家内ニ三十人モ住
セリ。然レトモ長者富ニアカナラヒナレバ。蠟燭ヲ賣テ利ヲ貪ボ
リケリ。近處ニ白犬二匹アリ。或夜ヒソカニ入りテ蠟ヲ少シバ
カリ食ヒケルヲ。犬ニ瞋リテ白狗ヲ捕ヘ。居間ノ前ニテ殺サント
シケルニ。犬吠サケビケレバ。隣家ニ福吉庄右衛門ト云筆師アリ。
來リテ曰ク。カク吠ルニハ口中ヘ灰ヲ打コミタルガヨシトテ。灰ヲ多
ク打コミテ共々ニ殺シケリ。犬死スル時ニ吠ルコトアタハズ。二人ヲ

ニラミツメテ死セリ。サテ三十日餘ヲ經テ。甚左衛門二三
病ミテ即チ死セリ。又七日ヲ經テ福吉氏モ死セリ。其後漸々
ニ其家貧シクナリヌ。甚左衛門子ヲ甚右衛門ト云リ。家衰
ヲ贊テ薩摩殿ノ轎子屋ナリケルガ。或時念ヲ入テ造リタル肩
輿ヲ獻ジケルニ。故ナクテ摧ケレバ。ソレヨリ薩摩殿ノ轎子ヲ
スルコトモナラズ万事不如意ニナリモテユキテ。十年餘ノ内ニ
家衰ヘテ家宅ヲ沽却シヌ。甚右衛門ハ住處モナク逐電シテ。今
ハ茶店ナドシテ活命セリトカヤ。其子甚太郎ハ淨瑠璃カタリ
トナリ活命アルカナキカノ風情ニテ暮ストナン。○又大坂或
町ニ圓清ト云目醫師アリ。其ノ借屋ニ居ケル女房少年ヨリ
油虫ヲキラヒニクミテ。常ニ熱キ湯ヲ灌テ是ヲ殺セリ。後ニ
死スル時ニ身ノ邊ニ無量ノ油蟲生ゼリ。ヲメキサケテ曰ク。

③末27オ

③末26ウ

ヤレ油蟲カツ、キコロスハトテ死セリ。好テ油蟲ヲ殺セル
現報ナリトゾ人皆ナ恐レカナシメケリ。小蟲ナリトテア
ドリナバ現報ヲ受テ後ニ悔ムベシ。況ヤ犬ハ能ク恩ヲ報ジ
怨ヲ酬ユル獸ナルヲヤ。泉州及ビ大坂ノ事ハ無下ニ近キ
コトニテ。見聞セル。今尚現在セリ。少シモ虚誕ニアラズ。恐ルベシ
慎シムベシ

蛇ヲ害シテ即時ニ報ヲ受ントセシ人ノ事
攝州河邊郡友行村ニ宗圓ト云者アリ。晝田ヘ往テ鋏ニテ
謬マツテ毒蛇ヲ打殺セリ。其ノ夜大熱病ヲ受テ苦シミ臥シヌ。
カツテ養シ僕久シク他所ニアリシガ。其夜宗圓ガ家ニ忍ビ入り
テ場ノ隅ニ隠レ居テ。人皆ナ眠ラバ物偷ニ思ヘリ。月夜ナル
ニ水棚ヲ見レバ毒蛇ノ切レタルガハヒ來リテ水壺ノ中ヘ入り

ケリ。然ルニ宗圓ハ大熱ヲ受テアマリニ喉渴キケレハ。獨リ
起テ水棚ニ至リ水ヲ飲ントス。時ニ彼ノ盗人思ハク。我今貧
シキガ故ニ偷盜ヲナストイヘトモ。今宗圓ガ毒蛇ニ螫レンヲ
見シニ忍ビズト。即チ出テ、曰ク其ノ水ヲ飲マフナカレト。宗
圓驚キテ汝ハ何ガ故ニ來ルヤト問フ。彼ノ賊ノ曰ク先ヅ火
ヲ然シテ見玉ヘトテ。諸人皆起テ火ヲ然シテ水壺ヲ見ル
ニ。宗圓ガ晝切リシ毒蛇ノ半分來リテ中ニアリ。諸人駭
ロキ恐レテ即チ又殺セリ。宗圓ガ熱病モ尋テ痊ヌ。サテ
汝ハ何事ニ來レルヤト問ニ。彼者アリノマ、ニ語リケレバ宗
圓モ不便ニ思ヒテ呵嘖セズシテ歸シケリ。蛇ハ臆恨深キ蟲
ナレバ晝ノ怨ヲ報シテ來レルナリ。熱病モ蛇ノ所為ナルベシ。
今時ノ人毒蛇及ビ蜈蚣等ヲ見テハ。殺シテモ罪ナシ。昔シ佛

ヤレ油蟲カツ、キコロスハトテ死セリ。好テ油蟲ヲ殺セル
現報ナリトゾ人皆ナ恐レカナシメケリ。小蟲ナリトテア
ドリナバ現報ヲ受テ後ニ悔ムベシ。況ヤ犬ハ能ク恩ヲ報ジ
怨ヲ酬ユル獸ナルヲヤ。泉州及ビ大坂ノ事ハ無下ニ近キ
コトニテ。見聞セル。今尚現在セリ。少シモ虚誕ニアラズ。恐ルベシ
慎シムベシ

蛇ヲ害シテ即時ニ報ヲ受ントセシ人ノ事
攝州河邊郡友行村ニ宗圓ト云者アリ。晝田ヘ往テ鋏ニテ
謬マツテ毒蛇ヲ打殺セリ。其ノ夜大熱病ヲ受テ苦シミ臥シヌ。
カツテ養シ僕久シク他所ニアリシガ。其夜宗圓ガ家ニ忍ビ入り
テ場ノ隅ニ隠レ居テ。人皆ナ眠ラバ物偷ニ思ヘリ。月夜ナル
ニ水棚ヲ見レバ毒蛇ノ切レタルガハヒ來リテ水壺ノ中ヘ入り

ケリ。然ルニ宗圓ハ大熱ヲ受テアマリニ喉渴キケレハ。獨リ
起テ水棚ニ至リ水ヲ飲ントス。時ニ彼ノ盗人思ハク。我今貧
シキガ故ニ偷盜ヲナストイヘトモ。今宗圓ガ毒蛇ニ螫レンヲ
見シニ忍ビズト。即チ出テ、曰ク其ノ水ヲ飲マフナカレト。宗
圓驚キテ汝ハ何ガ故ニ來ルヤト問フ。彼ノ賊ノ曰ク先ヅ火
ヲ然シテ見玉ヘトテ。諸人皆起テ火ヲ然シテ水壺ヲ見ル
ニ。宗圓ガ晝切リシ毒蛇ノ半分來リテ中ニアリ。諸人駭
ロキ恐レテ即チ又殺セリ。宗圓ガ熱病モ尋テ痊ヌ。サテ
汝ハ何事ニ來レルヤト問ニ。彼者アリノマ、ニ語リケレバ宗
圓モ不便ニ思ヒテ呵嘖セズシテ歸シケリ。蛇ハ臆恨深キ蟲
ナレバ晝ノ怨ヲ報シテ來レルナリ。熱病モ蛇ノ所為ナルベシ。
今時ノ人毒蛇及ビ蜈蚣等ヲ見テハ。殺シテモ罪ナシ。昔シ佛

テ螫シガ故ニト云テ必ズ殺ス。然モ嘔ニ。ハミ。ノミ。シラミ。ネヅミ
ヌスミ。是ヲ五味ト号シテ殺ス法ナリトイヘリ。是家ニ大邪見
ナリ。天竺ノ外道ノ計ニ相似タリ。無益ノ事ヲナシテ却テ
其ノ害ヲ蒙ルヘシ。釋書及ビ沙石集等ニ蛇ノ害ヲナセルコトヲ
多ク記セリ。今ハ宗圓カ事ニ於テ見ツ。是レ日者ノ事ニテ
ゾアリケル

或人疱瘡ノ鬼ヲ追出ス事

江戸ニ東和田道瑞ト云浪人アリ。性ナリ卓犖ニシテ射ヲ
善ス。貞享年中ニ疱瘡流行リテ人多ク死シケリ。或時道
瑞出テ夜ル歸リシニ其ノ娘五六歳ナルアリ俄カニ熱シテ。乳
母抱クニ堪ガタキバカリナリ。乳母道瑞ニ言テ曰ク。令嬢大
熱出侍リ定メテ疱瘡ナルベシ。醫師ハ誰ニ見セ侍ランヤト。道

瑞カ曰ク明日コソ醫師ニモ見セメ。比來疱瘡ニテ人多ク死ス。
然レトモ我が弱息ヲバ痘神モ容易ニハ殺スコトアタハジト終ニ
寐ヌ。夜半過ニ夢ニ道瑞大ニ忿リテ躍リ騰ルバカリナリ。痘
神ニ云テ曰ク。汝何ゾ我が子ヲバタヤスク取ントスル。今形ヲ
現メ來レ。我汝カ頭ヲ一太刀ニ打破ルベシ。汝今形ヲ現ハサル
ハ豈鄙狹ニアラズヤト。其ノ時次ノ間ヨリ痘神六十バカリノ
老父ノ形ヲ現シテ出テ。頭ヲ低手ヲツキテ曰ク。君忿リ玉
フコト道理ニテ候。我門イカデカ君ノ令嬢ヲバ殺スベキト。其
時ニ道瑞平生覺アル小刀ヲ執テ。柄ニ手ヲカケ忿テ曰ク。
汝我が前ニ於テ盟ヘ。若シ向後人ノ子ヲ切ニ殺サランカ若
殺サバ今汝カ頭ヲ碎カント。痘神甚ハダ恐レテ向後人ヲ殺サ
ジト約シケリ。道瑞ガ曰ク然ラバ手形ヲセヨトテ筆硯ヲ出ス。

ヲ螫シガ故ニト云テ必ズ。殺ス。然モ嘔ニ。ハミ。ノミ。シラミ。ネヅミ
ヌスミ。是ヲ五味ト号シテ殺ス法ナリトイヘリ。是家ニ大邪見
ナリ。天竺ノ外道ノ計ニ相似タリ。無益ノ事ヲナシテ却テ
其ノ害ヲ蒙ルヘシ。釋書及ビ沙石集等ニ蛇ノ害ヲナセルコトヲ
多ク記セリ。今ハ宗圓カ事ニ於テ見ツ。是レ日者ノ事ニテ
ゾアリケル

或人疱瘡ノ鬼ヲ追出ス事

江戸ニ東和田道瑞ト云浪人アリ。性ナリ卓犖ニシテ射ヲ
善ス。貞享年中ニ疱瘡流行リテ人多ク死シケリ。或時道
瑞出テ夜ル歸リシニ其ノ娘五六歳ナルアリ俄カニ熱シテ。乳
母抱クニ堪ガタキバカリナリ。乳母道瑞ニ言テ曰ク。令嬢大
熱出侍リ定メテ疱瘡ナルベシ。醫師ハ誰ニ見セ侍ランヤト。道

瑞カ曰ク明日コソ醫師ニモ見セメ。比來疱瘡ニテ人多ク死ス。
然レトモ我が弱息ヲバ痘神モ容易ニハ殺スコトアタハジト終ニ
寐ヌ。夜半過ニ夢ニ道瑞大ニ忿リテ躍リ騰ルバカリナリ。痘
神ニ云テ曰ク。汝何ゾ我が子ヲバタヤスク取ントスル。今形ヲ
現シテ來レ。我汝カ頭ヲ一太刀ニ打破ルベシ。汝今形ヲ現ハサル
ハ豈鄙狹ニアラズヤト。其ノ時次ノ間ヨリ痘神六十バカリノ
老父ノ形ヲ現シテ出テ。頭ヲ低手ヲツキテ曰ク。君忿リ玉
フコト道理ニテ候。我門イカデカ君ノ令嬢ヲバ殺スベキト。其
時ニ道瑞平生覺アル小刀ヲ執テ。柄ニ手ヲカケ忿テ曰ク。
汝我が前ニ於テ盟ヘ。若シ向後人ノ子ヲ切ニ殺サランカ若
殺サバ今汝カ頭ヲ碎カント。痘神甚ハダ恐レテ向後人ヲ殺サ
ジト約シケリ。道瑞ガ曰ク然ラバ手形ヲセヨトテ筆硯ヲ出ス。

痘神即チ帝ノ偶ニ一ツノ符ヲ書テ曰ク。若シ此ノ符ヲ持セ
ル人アラバ我レ必ズ殺サジ。設ヒ必死ノ人ナリトモ此ノ符ヲ得バ。
必ズ平愈スベシト云テ足早ニ走り去リヌ。道瑞夢サメテ怪
シミ乳母ニ問ハク弱息ハ如何ント。乳母今少シ眠リ玉ヘリト
答フ。道瑞モ亦眠リヌ。夜旦テ小女ヲ問ニ熱サメテ病瘳ヌ
乳母ノ曰ク昨夜問玉ヒシヨリ熱サメ侍リト。道瑞夢ノ事ヲ
思出シテ不思議ニ思ヒ。彼ノ符ヲ書テ見ルニ記ヘタリ。試ニ疱瘡
ヲ病者ニ與フルニ即時ニ瘳ルコト神ノ如シ。其ヨリ多ク人ニ與フ。
設ヒ重クテ今死スルト云程ノ疱瘡モ即時ニ瘳ヌ。予元祿二
年ノ夏道瑞ニ荆識シテ面方リ此事ヲ聞リ。其時ニ語ラク
既ニ五百人ニ與ルニ一人モ死スル者ナシト。諺ニ鬼神ニ横道ナ
シトイヘリ。京ナルカナ此ノ言。既ニ符ヲ書テ盟ガ故ニ永ク約ヲ

痘神即チ帝ノ偶ニ一ツノ符ヲ書テ曰ク。若シ此ノ符ヲ持セ
ル人アラバ我レ必ズ殺サジ。設ヒ必死ノ人ナリトモ此ノ符ヲ得バ。
必ズ平愈スベシト云テ足早ニ走り去リヌ。道瑞夢サメテ怪
シミ乳母ニ問ハク弱息ハ如何ント。乳母今少シ眠リ玉ヘリト
答フ。道瑞モ亦眠リヌ。夜旦テ小女ヲ問ニ熱サメテ病瘳ヌ
乳母ノ曰ク昨夜問玉ヒシヨリ熱サメ侍リト。道瑞夢ノ事ヲ
思出シテ不思議ニ思ヒ。彼ノ符ヲ書テ見ルニ記ヘタリ。試ニ疱瘡
ヲ病者ニ與フルニ即時ニ瘳ルコト神ノ如シ。其ヨリ多ク人ニ與フ。
設ヒ重クテ今死スルト云程ノ疱瘡モ即時ニ瘳ヌ。予元祿二
年ノ夏道瑞ニ荆識シテ面方リ此事ヲ聞リ。其時ニ語ラク
既ニ五百人ニ與ルニ一人モ死スル者ナシト。諺ニ鬼神ニ横道ナ
シトイヘリ。京ナルカナ此ノ言。既ニ符ヲ書テ盟ガ故ニ永ク約ヲ

乖カザルヘシ。道瑞ハ本ヨリ勇悍ナリ。又能ク眞言ヲ誦ス
故ニ痘神伏セラレタルナランカ。
或人疫神ニ逢テ談話セシ事
遠州何ノ郡トカヤニ弥右衛門ト云者アリ。或所ヘ往テ歸ル
ニ。道ニテ山伏ト同道シケリ。行々四方山ノ談話ニテ或茶
店ニ憩フ。弥右衛門糴粃及ビ酒ヲ沽テ山伏ニ蓋ムルニ。山伏
喜ビテ食シケリ。サテ伴ナヒ行テ種々ノ物語スルニ。弥右衛
門問テ曰ク。公ハ何國ノ人ニテ何ノ處ヘ往玉フヤト。山伏曰ク
我ハ疫神ナリ。我が長ノ命ニテ某村ノ弥右衛門ト云者ヲ取
ニ往ナリト。弥右衛門驚愕テ曰ク某ハ我が事ナリ。何ノ罪ニ
取リ玉フゾヤ山伏無然トシテ曰ク我ハ長ノ命ニテ行ク。其ノ由ヲ
知ルコトナシ。今日君ガ恩惠ヲ蒙ルガ故ニ君ガ命ヲ取ルコトアタハズ

乖カザルヘシ。道瑞ハ本ヨリ勇悍ナリ。又能ク眞言ヲ誦ス
故ニ痘神伏セラレタルナランカ。
或人疫神ニ逢テ談話セシ事
遠州何ノ郡トカヤニ弥右衛門ト云者アリ。或所ヘ往テ歸ル
ニ。道ニテ山伏ト同道シケリ。行々四方山ノ談話ニテ或茶
店ニ憩フ。弥右衛門糴粃及ビ酒ヲ沽テ山伏ニ蓋ムルニ。山伏
喜ビテ食シケリ。サテ伴ナヒ行テ種々ノ物語スルニ。弥右衛
門問テ曰ク。公ハ何國ノ人ニテ何ノ處ヘ往玉フヤト。山伏曰ク
我ハ疫神ナリ。我が長ノ命ニテ某村ノ弥右衛門ト云者ヲ取
ニ往ナリト。弥右衛門驚愕テ曰ク某ハ我が事ナリ。何ノ罪ニ
取リ玉フゾヤ山伏無然トシテ曰ク我ハ長ノ命ニテ行ク。其ノ由ヲ
知ルコトナシ。今日君ガ恩惠ヲ蒙ルガ故ニ君ガ命ヲ取ルコトアタハズ

若シ君ガ村ニ君ト同年同日ニ生レタル人ハナキヤト問ニ。弥右衛門ガ朋輩ニ同年同日ニ生レタル人アリ。ソレヲ教ヘケレバ山伏其ノ家ニ入りヌ。弥右衛門家ニ歸リテ。翌日彼ノ人ノ家ニ往ク。主人ハ昨日ヨリ風ノ心地ニテ頭痛發熱アル由ヲイベリ。弥右衛門イヨク不思議ニ思ヒ相見スルニ。山伏モ猶彼ノ人ノ背ニ住セリ。弥右衛門ヲ見テ手ヲ以テ去ト云勢ヲナセリ。弥右衛門來レバ彼ノ人ノ氣色ヨシ。去レバ又病重リヌ。故ニ時々ニ問病ケルニ。山伏餘人ノ目ニハ見ヘネトモ。弥右衛門ガ目ニミ見テ去レト云勢ヲナセリ。終ニ彼ノ人ヲ殺シケルトナン。弥右衛門ハ少シバカリ芳心故ニ疫神ノ難ヲ免レケル。一奇怪ノ事ナリ。○因ニ記ス泉州堺ノ浦ノ漁人。或時ニ網ヲ引ケルニ魚ハ一モカ、ラデ。蛙蛤ホドノ石四五斗ハカリ羅リテアガリヌ。其ノ石ヲ見ルニ或ハ梵字

或ハ漢字ヲ一字ツ、書ルナリ。徳ノ字。得ノ字。勝ノ字。觀ノ字等ニテ皆妙筆ナリ。文字ノ數四五万モアルベシ。何人所為ナルコトヲ知ラズ。既ニ石ナレバ海底ニアルベケレバ網ニ入ルベキ由ナシ。昔シノ高僧ノ經ヲ書テ沈シテ玉フカ。魚ノ變シテ文字トナルカ。文字變シテ石トナルカ。諸人聚リテ見レトモ知ル人ナシ。各拾ヒテ家ニ歸リケリ。上古ヨリ是ノ如キ怪アルコト著聞集ニ記セリ。來由ヲ知レル人アラバ幸ニ辨セヨ
世伯死シテ多ク舍利ヲ得ル事
播州魚ノ橋村ニ三右衛門ト云者アリ。父ヲ七郎兵衛ト号ス。禪宗ニ歸依シテ常ニ坐禪ヲ勤メケリ。初メ沽酒家ニテ家富ケルガ吾ガ和上延寶五年ノ春播州國分寺ニテ。梵網經ヲ講セラル、ヲ聞テ沽酒ヲ止ケリ。世間ノ沽酒ヲ止ル

若シ君ガ村ニ君ト同年同日ニ生レタル人ハナキヤト問ニ。弥右衛門ガ朋輩ニ同年同日ニ生レタル人アリ。ソレヲ教ヘケレバ山伏其ノ家ニ入りヌ。弥右衛門家ニ歸リテ。翌日彼ノ人ノ家ニ往ク。主人ハ昨日ヨリ風ノ心地ニテ頭痛發熱アル由ヲイベリ。弥右衛門イヨク不思議ニ思ヒ相見スルニ。山伏モ猶彼ノ人ノ背ニ住セリ。弥右衛門ヲ見テ手ヲ以テ去ト云勢ヲナセリ。弥右衛門來レバ彼ノ人ノ氣色ヨシ。去レバ又病重リヌ。故ニ時々ニ問病ケルニ。山伏餘人ノ目ニハ見ヘネトモ。弥右衛門ガ目ニミ見テ去レト云勢ヲナセリ。終ニ彼ノ人ヲ殺シケルトナン。弥右衛門ハ少シバカリ芳心故ニ疫神ノ難ヲ免レケル。一奇怪ノ事ナリ。○因ニ記ス泉州堺ノ浦ノ漁人。或時ニ網ヲ引ケルニ魚ハ一モカ、ラデ。蛙蛤ホドノ石四五斗ハカリ羅リテアガリヌ。其ノ石ヲ見ルニ或ハ梵字

或ハ漢字ヲ一字ツ、書ルナリ。徳ノ字。得ノ字。勝ノ字。觀ノ字等ニテ皆妙筆ナリ。文字ノ數四五万モアルベシ。何人所為ナルコトヲ知ラズ。既ニ石ナレバ海底ニアルベケレバ網ニ入ルベキ由ナシ。昔シノ高僧ノ經ヲ書テ沈シテ玉フカ。魚ノ變シテ文字トナルカ。文字變シテ石トナルカ。諸人聚リテ見レトモ知ル人ナシ。各拾ヒテ家ニ歸リケリ。上古ヨリ是ノ如キ怪アルコト著聞集ニ記セリ。來由ヲ知レル人アラバ幸ニ辨セヨ
世伯死シテ多ク舍利ヲ得ル事
播州魚ノ橋村ニ三右衛門ト云者アリ。父ヲ七郎兵衛ト号ス。禪宗ニ歸依シテ常ニ坐禪ヲ勤メケリ。初メ沽酒家ニテ家富ケルガ吾ガ和上延寶五年ノ春播州國分寺ニテ。梵網經ヲ講セラル、ヲ聞テ沽酒ヲ止ケリ。世間ノ沽酒ヲ止ル

人ハ沽酒ノ名代ヲ人ニ賣テ止ム。是レ教他ノ沽酒ナリトテ。名代ヲ滅シテ賣ラザリケリ。後ニ剃髮シテ隱居シ世伯ト号ス。子二人ヲモ曾テ出家セシメタリ。自ラ家富ミケレバ乞人ヲモ憐レミテ能ク施ス。サレトモ思ハク我富ミテ施スハ眞宗ノ施ニハアラズトテ。我が平生三椀食スル飯ヲ。一椀減シテ此ヲ乞食ニ施ス。猶思ハク我ハ餓ルコトナシトテ。又一椀減シテ此レバ。我が食ハ一椀ノミニナリケリ。天和ノ末ニ少シ所勞ノ事アリケレバ。子ドモヲ呼ビ集メテ曰ク。我レ死セバ茶毗ノ後ニ其灰ヲ皆集メテ海中ヘ流セ。若シ此ノ遺言ニ違セバ我が子ニアラズ。我が茶毗ノ後設ヒ舍利ヲ得トモ取ルコトナカレ。他人ニ見セシムルコトナカレト。三右衛門遺言ヲ聞テ涙ヲ流シケリ。サテ貞享元年五月十三日ニ正念ニシテ命終シヌ。茶毗スルニ舍利

③末31ウ

數千粒アリ。黃白赤色ヲ殊ニス。三右衛門遺言ニ任セテ人ニ與ヘズ。世伯カ弟ニ源左衛門ト云者アリ。火中ニ手ヲ指入テ一抄取りケリ。其ノ餘ハ皆海中ニ投グ。其ノ子蘭庭尼其ノ舍利少シ及ヒ骨佛ヲ持ス。餘人ノ骨佛トハ相違シテ宛モ觀音ノ像ニ似タリ。三右衛門モ剃髮シテ法泉ト号ス。世伯父子及ヒ源左衛門ハ予ガ知已ナレバ。面旁源左衛門ガ物語ヲ聞ケリ。源左衛門モ後ニ出家シテ諸國ヲ行脚セリ。世伯我が食ヲ減シテ乞食ニ施ス志シナレバ。舍利ヲ得タルモ理ハリナレバ預メ知リテ遺言セシハ且ツ不思議ナリ。○又近比或人ノ母平生淨信ニシテ光明眞言及ヒ觀音經ヲ誦シテ怠ラズ。貞享三年ニ死セリ。七年忌ニ子孫集リテ曰ク淨信ノ人ニハ舍利アリト聞。我母勤メテ經ヲ誦ジ眞言ヲ持ス。定テ不思議アラント。骨佛ヲ

③末32オ

人ハ沽酒ノ名代ヲ人ニ賣テ止ム。是レ教他ノ沽酒ナリトテ。名代ヲ滅シテ賣ラザリケリ。後ニ剃髮シテ隱居シ世伯ト号ス。子二人ヲモ曾テ出家セシメタリ。自ラ家富ミケレバ乞人ヲモ憐レミテ能ク施ス。サレトモ思ハク我富ミテ施スハ眞宗ノ施ニハアラズトテ。我が平生三椀食スル飯ヲ。一椀減シテ此ヲ乞食ニ施ス。猶思ハク我ハ餓ルコトナシトテ。又一椀減シテ此レバ。我が食ハ一椀ノミニナリケリ。天和ノ末ニ少シ所勞ノ事アリケレバ。子ドモヲ呼ビ集メテ曰ク。我レ死セバ茶毗ノ後ニ其灰ヲ皆集メテ海中ヘ流セ。若シ此ノ遺言ニ違セバ我が子ニアラズ。我が茶毗ノ後設ヒ舍利ヲ得トモ取ルコトナカレ。他人ニ見セシムルコトナカレト。三右衛門遺言ヲ聞テ涙ヲ流シケリ。サテ貞享元年五月十三日ニ正念ニシテ命終シヌ。茶毗スルニ舍利

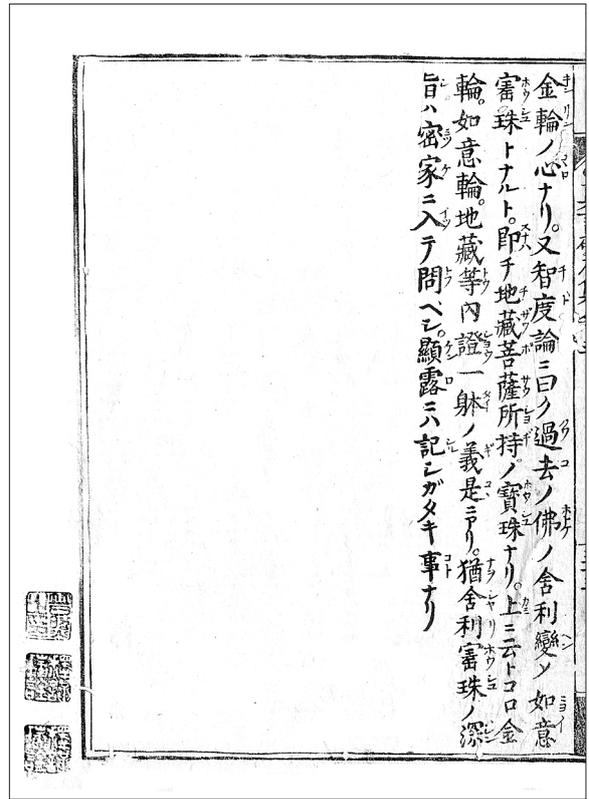
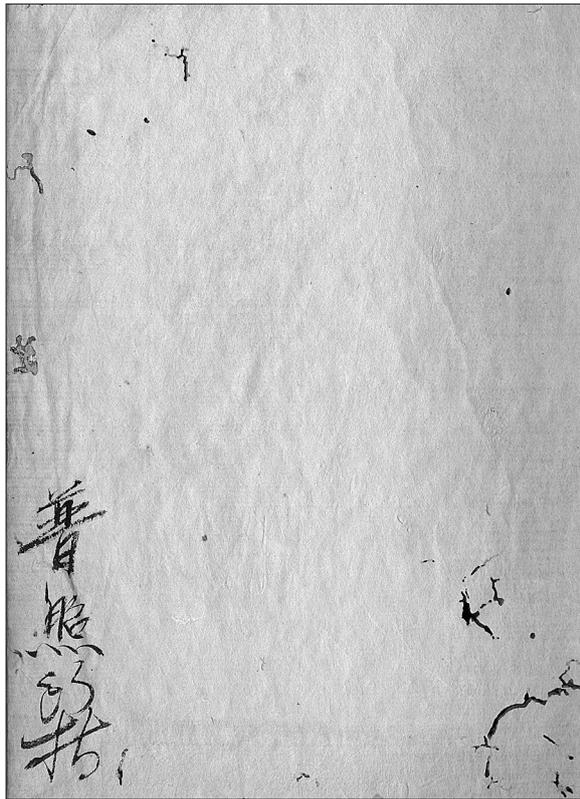
數千粒アリ。黃白赤色ヲ殊ニス。三右衛門遺言ニ任セテ人ニ與ヘズ。世伯カ弟ニ源左衛門ト云者アリ。火中ニ手ヲ指入テ一抄取りケリ。其ノ餘ハ皆海中ニ投グ。其ノ子蘭庭尼其ノ舍利少シ及ヒ骨佛ヲ持ス。餘人ノ骨佛トハ相違シテ宛モ觀音ノ像ニ似タリ。三右衛門モ剃髮シテ法泉ト号ス。世伯父子及ヒ源左衛門ハ予ガ知已ナレバ。面旁源左衛門ガ物語ヲ聞ケリ。源左衛門モ後ニ出家シテ諸國ヲ行脚セリ。世伯我が食ヲ減シテ乞食ニ施ス志シナレバ。舍利ヲ得タルモ理ハリナレトモ預メ知リテ遺言セシハ且ツ不思議ナリ。○又近比或人ノ母平生淨信ニシテ光明眞言及ヒ觀音經ヲ誦シテ怠ラズ。貞享三年ニ死セリ。七年忌ニ子孫集リテ曰ク淨信ノ人ニハ舍利アリト聞。我母勤メテ經ヲ誦ジ眞言ヲ持ス。定テ不思議アラント。骨佛ヲ

取出シテ拜スルニ。右ノ肩ト思フ處ヨリ舍利ニ粒分ジタリ。予
前ニ全身壞セザルハ上ナリ。舌壞セズ印壞セザルハ其ノ次ナ
リ。舍利ヲ得ルハ又其ノ次ナリトイヘルハ是ナリ。本朝ニモ昔
ハ法燈國師。湛然法師。道海法師。昭元法師等皆茶毗ノ
後ニ舍利アリ近比モ正信ノ老婆。生身ニ耳中ヨリ舍利ヲ
得タルアリ又怪ナリ。震旦ノ諸師舍利ヲ得タル人甚タ多
シ。具ニ記シガタシ。唯シ舌壞セズ印壞セザルハ希ナリ。全身
壞セザルハ支那ニハ善無畏及ビ慧持法師等ナリ。日域ニハ惟
弘法大師及ビ越後ノ高智法印ノミナリ。問全身壞セザル
ヲ上トセバ如來何ゾ碎身ノ八斛四斗ノ舍利トナリ玉フヤ。
答經ニイハズヤ法身ハ不生不滅ナリト。法花ニモ亦常在靈鷲
山ト説リ。是ヲ全身不壞トイフ。但シ碎身ノ舍利トナリ玉フ

ヲハ。釋迦如來ハ北方ノ不空成就佛大涅槃ノ德ニシテ。涅槃
ヲ以テ衆生ヲ度シ玉フ。法花ニ曰ク為凡夫顛倒實在而言
滅。以常見我故而生憍恣心ト是ナリ。分別聖位經ニモ亦
明ニ説リ。故ニ八斛四斗。或ハ三斛ノ舍利トナリ玉フ。八國ノ王
及ビ諸天龍王皆ナ舍利ヲ評フニ。優婆塞大臣ト云者アリ。舍利
ヲ三分トシテ一分ハ諸天ニ與ヘ。一分ハ龍宮。一分ハ八國ノ王分チ
持シテ歸リケリ。今ノ世ニ至ルマデ舍利アルハ皆是ナリ。淨信ヲ
起シテ供養ズレバ多ク分ジ。或ハ又感得スルガ故ニ。世ニ多クシテ
諸ノ福ヲ植ユ。智度論ニ曰ク。若シ芥子許ノ舍利ヲ供養ズ
ル功德無量無邊ニシテ。天上人間ニ於テ無量劫ノ間福樂ヲ
受ケ。乃至成佛ニ至ルマデ猶盡スト。又末法中一字心咒經
ニハ如來ノ舍利末世ニハ變シテ赤字トナルトイヘリ。即チ釋迦

取出シテ拜スルニ。右ノ肩ト思フ處ヨリ舍利ニ粒分ジタリ。予
前ニ全身壞セザルハ上ナリ。舌壞セズ印壞セザルハ其ノ次ナ
リ。舍利ヲ得ルハ又其ノ次ナリトイヘルハ是ナリ。本朝ニモ昔
ハ法燈國師。湛然法師。道海法師。昭元法師等皆茶毗ノ
後ニ舍利アリ近比モ正信ノ老婆。生身ニ耳中ヨリ舍利ヲ
得タルアリ又怪ナリ。震旦ノ諸師舍利ヲ得タル人甚タ多
シ。具ニ記シガタシ。唯シ舌壞セズ印壞セザルハ希ナリ。全身
壞セザルハ支那ニハ善無畏及ビ慧持法師等ナリ。日域ニハ惟
弘法大師及ビ越後ノ高智法印ノミナリ。問全身壞セザル
ヲ上トセバ如來何ゾ碎身ノ八斛四斗ノ舍利トナリ玉フヤ。
答經ニイハズヤ法身ハ不生不滅ナリト。法花ニモ亦常在靈鷲
山ト説リ。是ヲ全身不壞トイフ。但シ碎身ノ舍利トナリ玉フ

コトハ。釋迦如來ハ北方ノ不空成就佛大涅槃ノ德ニシテ。涅槃
ヲ以テ衆生ヲ度シ玉フ。法花ニ曰ク為凡夫顛倒實在而言
滅。以常見我故而生憍恣心ト是ナリ。分別聖位經ニモ亦
明ニ説リ。故ニ八斛四斗。或ハ三斛ノ舍利トナリ玉フ。八國ノ王
及ビ諸天龍王皆ナ舍利ヲ評フニ。優婆塞大臣ト云者アリ。舍利
ヲ三分トシテ一分ハ諸天ニ與ヘ。一分ハ龍宮。一分ハ八國ノ王分チ
持シテ歸リケリ。今ノ世ニ至ルマデ舍利アルハ皆是ナリ。淨信ヲ
起シテ供養ズレバ多ク分ジ。或ハ又感得スルガ故ニ。世ニ多クシテ
諸ノ福ヲ植ユ。智度論ニ曰ク。若シ芥子許ノ舍利ヲ供養ズ
ル功德無量無邊ニシテ。天上人間ニ於テ無量劫ノ間福樂ヲ
受ケ。乃至成佛ニ至ルマデ猶盡スト。又末法中一字心咒經
ニハ如來ノ舍利末世ニハ變シテ赤字トナルトイヘリ。即チ釋迦



金輪ノ心ナリ。又智度論ニ曰ク過去ノ佛ノ舍利變シテ如意
 宝珠トナルト。即チ地藏菩薩所持ノ寶珠ナリ。上ニ云トコロ金
 輪。如意輪。地藏等内證一躰ノ義是ニアリ。猶舍利寶珠ノ深
 旨ハ密家ニ入テ問ベシ。顯露ニハ記シガタキ事ナリ。

金輪ノ心ナリ。又智度論ニ曰ク過去ノ佛ノ舍利變シテ如意
 宝珠トナルト。即チ地藏菩薩所持ノ寶珠ナリ。上ニ云トコロ金
 輪。如意輪。地藏等内證一躰ノ義是ニアリ。猶舍利寶珠ノ深
 旨ハ密家ニ入テ問ベシ。顯露ニハ記シガタキ事ナリ。

(印) 普照之印

(印) 瑞釋

(印) 瑞釋

普照所持

㊦ 裏表紙見返

㊦ 末33ウ



③裏表紙

(せきぐち しずお 歴史文化学科)
(てらつ まりえ 生活機構研究科生活文化史研究専攻修了生)